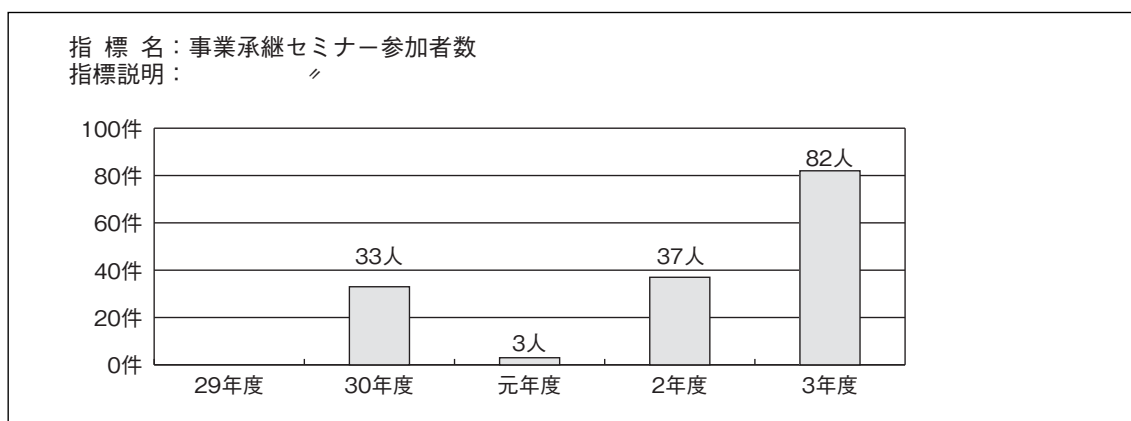


科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,288,480,784	442,870,150	0	1,485,028,939	1,360,581,695
1 項 商 工 費	3,288,480,784	442,870,150	0	1,485,028,939	1,360,581,695
2 目 経営力強化支援費 <経営基盤の強化と人材育成への支援>	2,136,839,345	377,555,000	0	1,470,154,500	289,129,845
1 中小企業振興事業費 468,187,987 円 (産業政策課・商工業振興課)					
[総括]					
<p>中小企業の経営基盤強化のため、事業承継や人材育成などの事業継続に向けた支援を行った。また、企業BCP (事業継続計画) 等の普及・啓発を目的として、策定を促すためのセミナーや策定に係る経費に対して支援を行った。今後も継続して中小企業の経営基盤の強化を図るとともに、業態転換などの新たなチャレンジを支援していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 設備投資等支援事業費 166,419,880 円					
(ア) 中小企業振興助成金 165,849,880 円					
助 成 金		令和2年度		令和3年度	
		200件	171,908,430円	194件	165,849,880円
(2) 事業承継支援事業費 74,582 円					
セミナー受講者数		令和2年度		令和3年度	
		会場受講	延 22人	会場受講	延 46人
		WEB受講	延 15	WEB受講	延 36
(3) 企業BCP策定支援事業費 208,000 円					
(ア) 企業BCP等策定推進事業費 58,000 円					
内 容		令和2年度		令和3年度	
		セミナー開催	延 97人	セミナー開催	延 95人
		地域連携BCPモデル事業委託			
(イ) 企業BCP等策定支援事業費補助金 150,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		2件	60,000円	5件	150,000円
(4) 中小企業関係団体等補助金 8,297,217 円					
(ア) 商業団体共同事業補助金 643,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		3団体	253,000円	6団体	643,000円
(5) 商業振興事業費 24,004,000 円					
(ア) がんばる個店応援事業補助金 2,824,000 円					
補 助 金		令和2年度		令和3年度	
		11件	2,190,000円	10件	2,824,000円
(6) マイナポイントを活用した消費活性化事業費 25,185,994 円					
内 容		令和2年度		令和3年度	
		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施		マイナポイント支援コーナーを設置 事業周知のための広報活動を実施	

[指標]



2 制度融資事業費 1,617,470,926 円（商工業振興課）

[総括]

中小企業に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小企業が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や小規模企業等振興資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資資金預託金 1,468,000,000 円

[預託金合計]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 額		1,269,000,000円	1,468,000,000円	15.7%
融 資 枠		4,797,000,000円	5,244,000,000円	—
融 資 実 績	件数	403件	780件	93.5
	金額	1,854,214,000円	3,199,601,000円	72.6
融 資 実 績 率		38.7%	61.0%	22.3ポイント

(ア) 小口事業資金預託金 508,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		512,000,000円	508,000,000円	△ 0.8%
融 資 枠		1,536,000,000円	1,524,000,000円	—
融 資 実 績	件数	61件	149件	2.4倍
	金額	428,014,000円	953,380,000円	2.2
融 資 実 績 率		27.9%	62.6%	34.7ポイント

(イ) 経営安定資金預託金 560,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額		258,000,000円	560,000,000円	2.2倍
融 資 枠		774,000,000円	1,680,000,000円	—
融 資 実 績	件数	58件	30件	△48.3%
	金額	364,000,000円	210,200,000円	△42.3
融 資 実 績 率		47.0%	12.5%	△34.5ポイント

(ウ) 小規模企業等振興資金預託金 280,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか16金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額		330,000,000円	280,000,000円	△15.2%
融 資 枠		1,980,000,000円	1,680,000,000円	—
融 資 実 績	件数	220件	457件	2.1倍
	金額	804,670,000円	1,515,671,000円	88.4%
融 資 実 績 率		40.6%	90.2%	49.6ポイント

(エ) 中心市街地商業活性化資金預託金 32,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊川信用金庫ほか12金融機関	豊川信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		23,000,000円	32,000,000円	39.1%
融 資 枠		69,000,000円	96,000,000円	—
融 資 実 績	件数	3件	2件	△33.3
	金額	15,300,000円	10,000,000円	△34.6
融 資 実 績 率		22.2%	10.4%	△11.8ポイント

(オ) 創業支援資金預託金 67,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか7金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		124,000,000円	67,000,000円	△46.0%
融 資 枠		372,000,000円	201,000,000円	—
融 資 実 績	件数	60件	136件	2.3倍
	金額	234,330,000円	492,350,000円	2.1
融 資 実 績 率		63.0%	245.0%	182.0ポイント

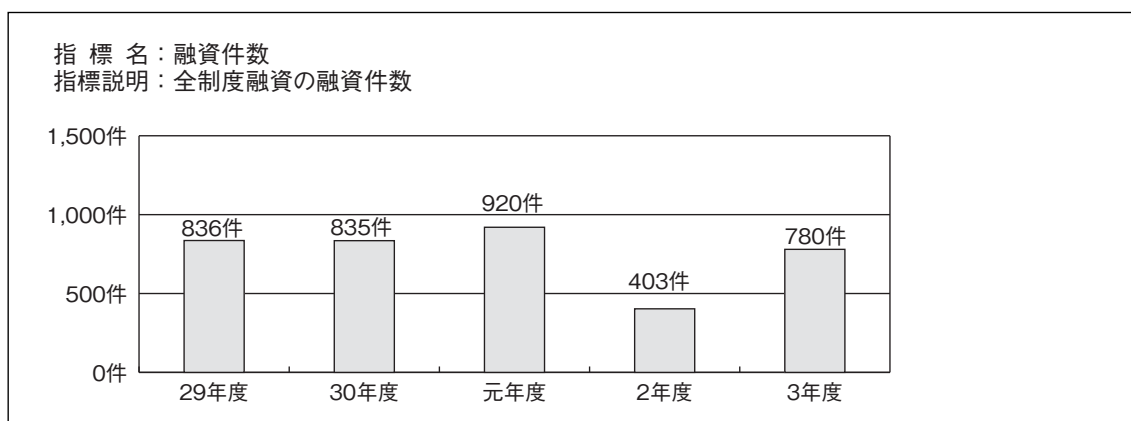
(カ) 中小企業団体共同事業資金預託金 7,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		8,000,000円	7,000,000円	△12.5%
融 資 枠		24,000,000円	21,000,000円	—
融 資 実 績	件数	0件	0件	0.0
	金額	0円	0円	0.0
融 資 実 績 率		0.0%	0.0%	0.0ポイント

(キ) 小規模事業資金預託金 14,000,000 円

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		14,000,000円	14,000,000円	0.0%
融 資 枠		42,000,000円	42,000,000円	—
融 資 実 績	件数	1件	6件	6.0倍
	金額	7,900,000円	18,000,000円	2.3
融 資 実 績 率		18.8%	42.9%	24.1ポイント

[指 標]



3 人材育成事業費 44,537,433円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総 括]

市内企業の事業活動を支えるため、情報関連技術や生産関連技術等に関する研修を実施した。また、本市をはじめ様々な機関が一体となって行う人材育成事業等の取組みに対して助成したほか、南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援した。今後も産業を支える人材の育成や交流を進める取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 人材育成支援事業費 35,251,292円

(ア) 中小企業人材育成支援研修事業費 33,699,930円

セミナー受講者数	令和2年度	令和3年度
	256人	197人

(2) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 3,150,000円

補助金	令和2年度	令和3年度
	3,500,000円	3,150,000円

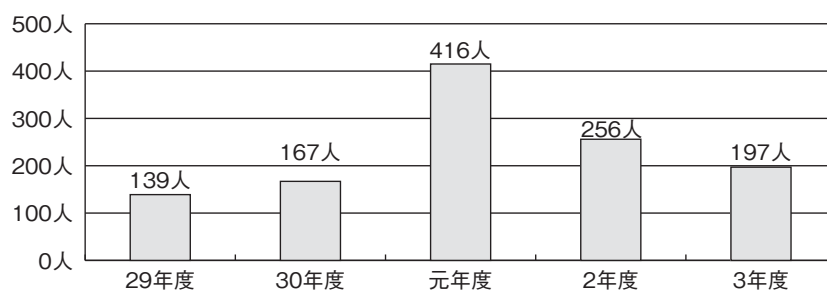
(3) 学生の学びと交流空間運営事業費 6,136,141円

内 容	令和2年度	令和3年度
	南部窓口センター2階に大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を開設し、学生の意欲的な自主活動を支援	南部窓口センター2階で大学生・高校生の交流スペース「ガクラボ」を運営し、学生の意欲的な自主活動を支援

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加者数

指標説明：中小企業人材育成支援研修参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 新事業創出費 〈スタートアップの促進と新たなビジネスモデルの創出支援〉	167,526,609	0	0	4,950,000	162,576,609

1 新事業創出事業費 167,526,609円 (産業政策課・地域イノベーション推進室・商工業振興課)

[総括]

海外ECサイト等を活用した販路の構築支援、衛星データを活用したサービス創出のための実証実験への支援、スタートアップと市職員の協働による地域課題の解決に向けた実証実験の実施、ものづくり・夢づくり支援事業による起業支援などの、新たなビジネス創出につながる様々な取組みを行った。また、特色ある技術を持った事業者が活躍し、地域における新産業を創出するため、産学連携等による新技術または新製品の研究開発の取組みに対して助成した。今後も地域での新事業創出に向けた取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 海外ECサイト販路構築事業費 1,999,800円

内 容	令和2年度	令和3年度
		—

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 35,651,703円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		35,504,893円

(3) オープンデータビジネス創出事業費 18,769,800円

内 容	令和2年度	令和3年度
		データポータルサイト及びデジタルサイネージの運用管理、公共交通運行情報システムの機能拡張及び運用管理

(4) 衛星データ利活用促進支援事業補助金 6,696,161円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		7,950,000円

(5) 官民一体型新ビジネス創出事業費 8,000,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
		スタートアップと市職員が協働して、地域や行政の抱える課題の解決に資するプロダクトの開発・実装のための実証実験を実施

(6) 地域産業支援施設整備事業補助金 20,800,000円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
		20,800,000円

(7) 豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金 52,599,480 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		53,300,000円		52,599,480円

(8) ものづくり・夢づくり支援事業費 14,819,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,931,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		21件	1,489,000円	18件

(イ) 販路開拓支援事業費補助金 5,199,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		28件	5,086,000円	27件

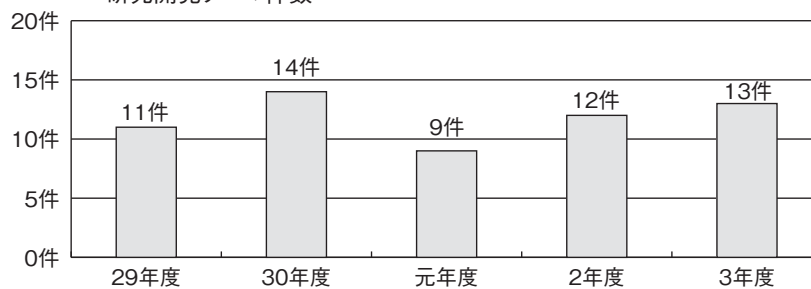
(ウ) 起業支援事業費補助金 6,827,000 円

補 助 金	令和 2 年度		令和 3 年度	
		5件	1,370,000円	26件

[指 標]

指 標 名：研究開発に対する支援件数

指標説明：イノベーション創出等支援事業及び衛星データ利活用促進支援事業(令和2年度～)の研究開発テーマ件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 <産業集積の促進>	470,533,604	29,007,000	0	3,930,000	437,596,604

1 企業誘致推進事業費 470,533,604 円 (産業政策課)

[総括]

市外、県外の企業へ本市に立地する利点をPRするため、東京と大阪で開催された県主催の産業立地セミナーや、東三河5市連携により首都圏で開催された展示会に出展した。また、コロナ禍においても企業訪問を効果的かつ継続的に行うため、オンライン会議システムを活用するなどして、積極的に企業の活動状況やニーズの把握に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、テレワークの導入や都市部のオフィスから地方への分散といった「新しい働き方」の動きが加速していることから、サテライトオフィスの誘致を図った。このほか、豊橋三弥地区工業用地及び豊橋東インターチェンジ工業用地の整備を進めた。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 5,253,548 円

内 容		令和2年度		令和3年度	
立地企業情報交換会	開催日	7.20	9.25	7.13	7.16
	場 所	二川地区	若松地区	リサーチパーク	石巻地区
	出席企業数	9社	13社	6社	9社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	○企業誘致PR用品の製作		○メッセナゴヤ出展 11.10~11.13 ポートメッセ名古屋 ○2022国際ロボット展出展 3.9~3.12 東京ビッグサイト	
サテライトオフィス誘致補助金		—		4社	3,930,000円

(2) 企業立地促進奨励金 352,903,000 円

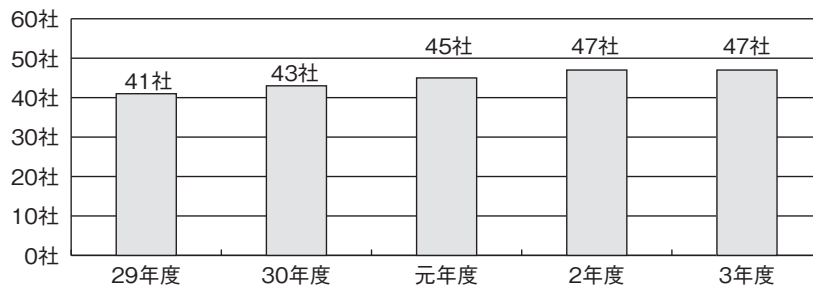
奨 励 金	令和2年度		令和3年度	
		34件	322,340,000円	45件

(3) 産業拠点形成事業費 112,377,056 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		—

[指 標]

指 標 名：産業用地における立地企業数(累計)
指標説明：市内8か所の産業用地に立地した企業数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなかにぎわい創出費 <まちなかのにぎわいの創出>	35,959,950	11,562,500	0	0	24,397,450

1 まちなかにぎわい創出事業費 25,913,950円 (まちなか活性課)

[総括]

中心市街地のにぎわい創出及び消費促進のため、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で感染拡大防止に対応したまちなかマルシェ、クリスマスマーケットを引き続き開催した。また、令和3年10月に供用開始したまちなか広場において、まちなか広場JAMを開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキ等でイルミネーション装飾を行った。今後も中心市街地で活躍する様々な団体と連携・協力しながら、まちなかに人の流れを生み出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 23,918,950円

内 容	令和2年度		令和3年度	
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数	11.13~2.14 94日間	点灯期間・日数	11.12~2.14 95日間
	装飾電球数	約 147,000球	装飾電球数	約 200,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数・日数	8回・17日間	実施回数・日数	13回・22日間
	来場者数	延 24,800人	来場者数	延 41,930人
豊橋駅南口駅前広場、まちなか広場使用実績	使用件数	50件	使用件数	67件
	使用日数	63日	使用日数	91日

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000円

負 担 金	令和2年度		令和3年度	
		1,000,000円		1,000,000円

(3) イルミネーションフェスティバル補助金 500,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		1件	500,000円	1件

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 0円

内 容	令和2年度		令和3年度	
歩行者天国の実施	実施回数	1回	実施回数	0回
	来場者数	延 18,000人	来場者数	0人

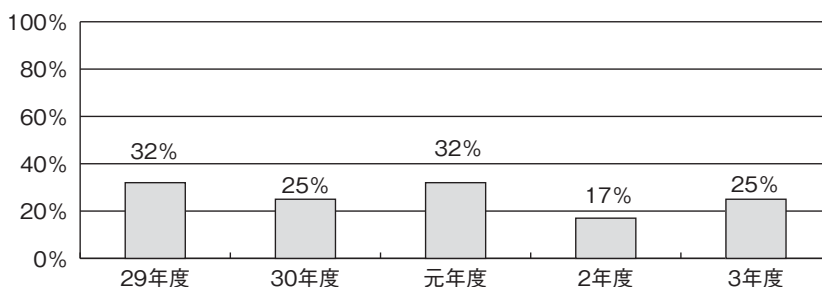
(5) リノベーションまちづくり推進事業費 495,000円

内 容	令和2年度		令和3年度	
講演会等の実施	実施回数	2回	実施回数	4回
	参加者数	延 155人	参加者数	延 141人

[指 標]

指 標 名：公共空間の年間稼働率

指標説明：豊橋駅南口駅前広場または豊橋市まちなか広場が稼働している日の年間稼働率



2 TMO支援事業費

10,046,000円（まちなか活性課）

[総 括]

中心市街地の商業・サービス業の振興を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する共通駐車券事業のほか、新規創業者の出店経費の負担軽減を図る、まちなかインキュベーション事業への支援を行った。今後も魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 共通駐車券事業補助金 466,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		2件	3,065,000円	1件

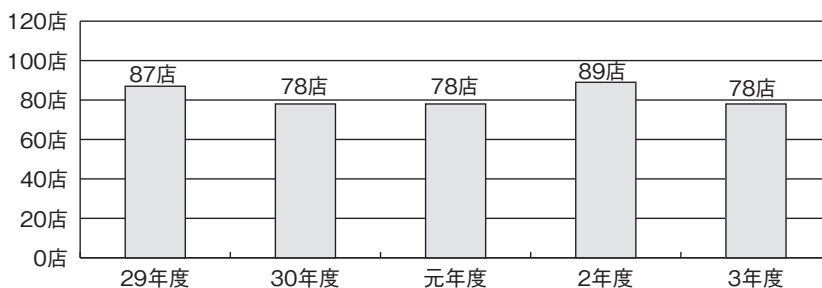
- (2) まちなかインキュベーション事業補助金 9,580,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		21件	9,954,000円	19件

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 観光振興費 <観光資源の魅力づくり>	16,227,562	0	0	4,434,700	11,792,862

1 まつり・イベント支援事業費 6,274,039円 (観光プロモーション課)

[総括]

交流人口の拡大による観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりの支援を行った。豊橋まつりは、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、令和4年度の開催に向け、豊橋まつりへの想いを市民から募集し、ラジオやホームページで公開した。春まつりでは、つつじまつりのみ新型コロナウイルスの影響で中止となったが、その他のまつりについては、感染防止対策を徹底し2年ぶりに開催した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 5,720,535円

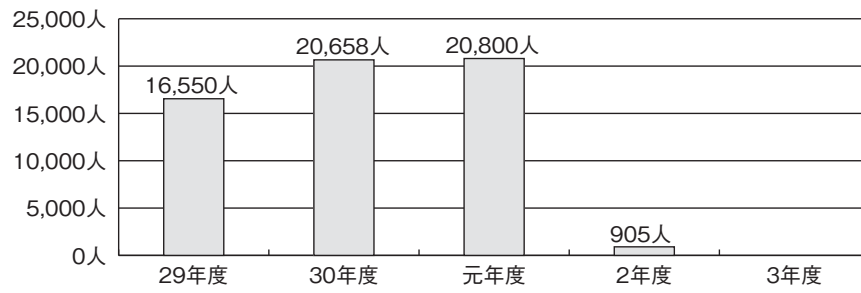
行 事 内 容			令和2年度	令和3年度
春まつり	さくらまつり	期 間	3.22~3.31 (10日間)	4.1~4.4 3.15~3.31 (21日間)
		場 所	豊橋公園	豊橋公園
		来場者数	約20,000人	約25,000人
	つつじまつり	期 間	—	—
		場 所	—	—
		来場者数	—	—
	うめまつり	期 間	—	2.4~3.6 (31日間)
		場 所	—	向山緑地内梅林園
		来場者数	—	約20,000人
			補 助 金	2,211,299円
花しょうぶまつり	期 間	—	5.26~6.8 (14日間)	
	場 所	—	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	—	約40,000人	
	補 助 金	1,502,320円	2,678,107円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 553,504円

区 分	令和2年度	令和3年度
開 催 日	10.18	—
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリアなど 6会場	—
行 事 数	10行事	1行事
総 人 出 数	約10,508人	—
総 参 加 団 体 数	約46団体	—
補 助 金	12,000,000円	553,504円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 観光情報発信費 〈誘客につながるプロモーションの推進〉	128,659,931	24,745,650	0	1,500	103,912,781

1 産業プロモーション推進事業費 52,287,248 円 (産業政策課・観光プロモーション課)

[総括]

道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクルイベントを実施した。また、東三河の産業をPRするため豊橋駅構内東西自由連絡通路に設置している展示ブースの入替えを実施したほか、ふるさと寄附制度を活用し豊橋産品のPRを実施した。海外向けのプロモーションとして、台湾現地旅行会社に対するセールスコールの実施や訪日観光客向け旅行予約サイトにおける観光モデルプランの掲載等を行い、現地旅行会社との関係性の構築や情報発信を行った。

今後も効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開していく。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 52,287,248 円

(ア) 推進活動費 1,634,956 円

産業プロモーション 実施回数 ※ () は日数	令和2年度	令和3年度
	・物産展 道の駅とよはし 4回 (4日) クックマートユアアイ店 2 (2) イオン豊橋南店 2 (2) ・その他 10 (10)	
計	18 (18)	2 (2)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 2,748,724 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	車両 {アバルト} 及びものづくり技術 {東洋製罐(株)} の紹介展示	

(ウ) 手筒花火放場 232,200 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	・炎の祭典 11.28~29 (2日間)	

(エ) 訪日外国人観光客誘致 3,999,999 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	・台湾現地旅行会社へ提案する周遊観光モデル及び観光素材集の作成 ・台南市との相互観光展の実施及び情報発信	

(オ) ふるさと寄附制度を活用した豊橋産品PR事業費 34,512,069円

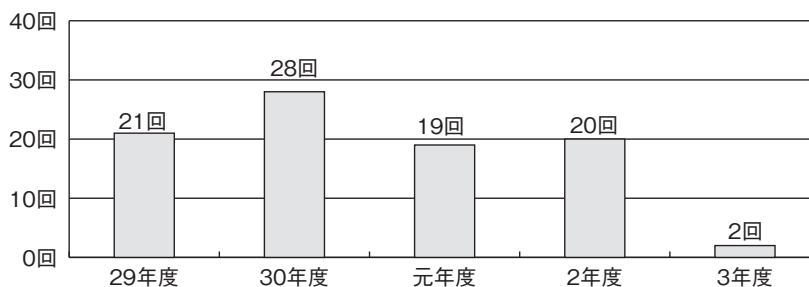
内 容	令和2年度	令和3年度
	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：2,706件	ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」への掲載 返礼品件数：2,958件

(カ) 道の駅「とよはし」でのサイクリストの受入体制強化 9,159,300円

内 容	令和2年度	令和3年度
	道の駅「とよはし」のインフォメーションセンターをリニューアルし、サイクリングに注力した情報発信コーナーを設置	道の駅「とよはし」を拠点とした体験型観光を充実させるため、サイクリストのための工具ステーションを整備したほか、スタンプラリー等のサイクルイベントを実施

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 17,212,683円（観光プロモーション課）

[総 括]

本市の観光施設等への集客を促すため、雑誌・新聞等による情報発信や観光案内所、道の駅「とよはし」でPR活動を行った結果、本市への来訪者数及び案内者数は増加した。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,988,164円

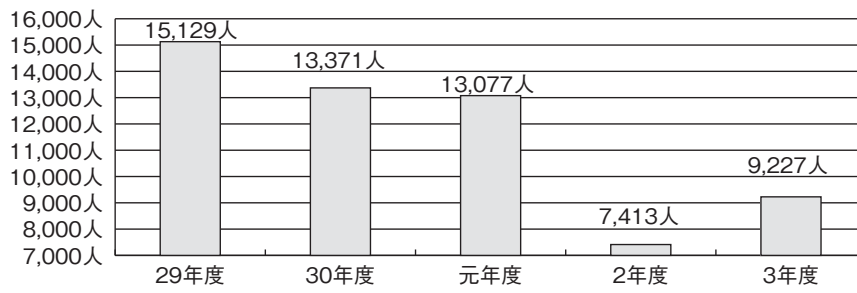
豊橋市への来訪者数	令和2年度	令和3年度	比 較
	延 3,051,094人	延 3,580,996人	17.4%

(2) 観光案内所運営事業費 9,224,519円

案 内 者 数	令和2年度	令和3年度	比 較
	延 7,413人	延 9,227人	24.5%

[指 標]

指 標 名：観光案内所の案内者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,376,067,615	2,889,259,571	2,810,400,000	1,057,779,826	7,618,628,218
1 項 道 路 橋 梁 費	3,574,196,160	460,629,119	970,500,000	355,187,688	1,787,879,353
2 目 幹 線 道 路 整 備 費 < 幹 線 道 路 の 整 備 >	464,613,020	221,491,000	183,900,000	12,113,684	47,108,336

1 幹線道路建設促進対策事業費 15,548,680 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対し、Web等を活用するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても継続的に要望活動等を行った。また、スマートIC整備については、令和2年度から継続してスマートICの位置や構造等の詳細検討を行い、地区協議会の開催を経て新規事業化し、詳細設計に着手した。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって広域幹線道路の整備の促進を図るとともに、スマートICの整備を推進する。

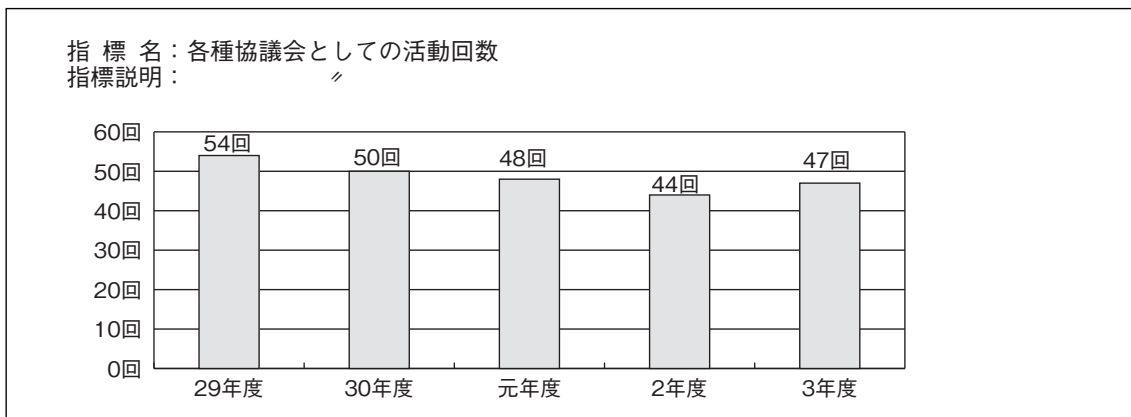
[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,196,980 円

内 容	令和2年度	令和3年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・要望活動等への参加	総会・要望活動等への参加
ス マ ー ト I C	詳細検討	—

※スマートICは令和3年度から豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業費として事業化

[指標]

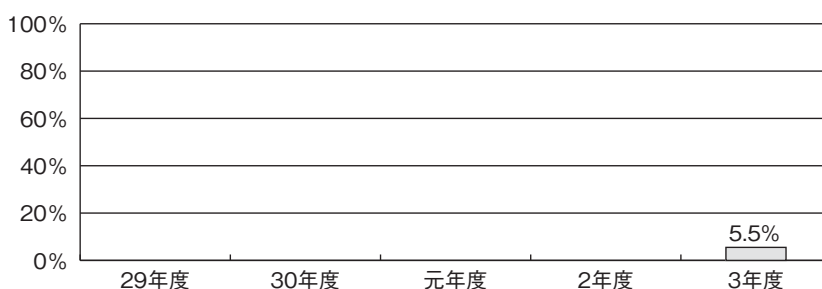


(2) 豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業費 14,351,700 円

	令和2年度	令和3年度
ス マ ー ト I C	—	詳細検討 詳細設計

[指 標]

指 標 名：豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度～）



2 幹線市道整備事業費 240,789,880 円（道路建設課）

[総 括]

大岩町・小松原町55号線は用地取得を進め、一色町・王ヶ崎町1号線については道路改良工事を行った。明海町・老津町28号線については、用地取得を進めるとともに、令和3年度から道路改良工事に着手した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

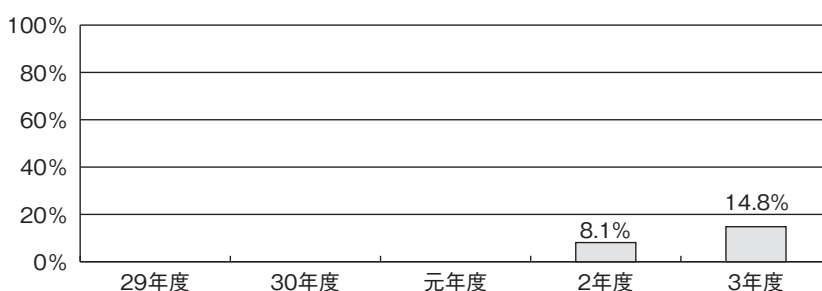
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 42,270,314 円
 (国庫補助事業 37,026,000 円 市単独事業 5,244,314 円)

道 路 改 良 (第 4 工 区)	令和2年度		令和3年度	
	用 地	380.52㎡	用 地	280.23㎡
補 償	工作物等	補 償	建物等	

[指 標]

指 標 名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第4工区)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和2年度～令和6年度）

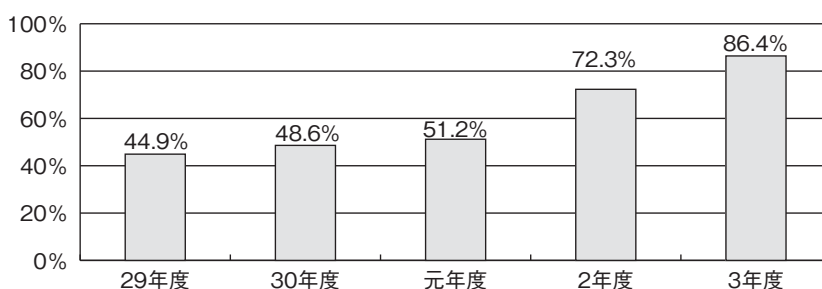


- (2) 一色町・王ヶ崎町1号線整備事業費 42,010,100 円
 (国庫補助事業 38,600,000 円 市単独事業 3,410,100 円)

道 路 改 良	令和2年度		令和3年度	
	延 長	120m	延 長	230m
補 償	電柱等	補 償	—	

[指 標]

指 標 名：一色町・王ヶ崎町1号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成29年度～令和4年度）

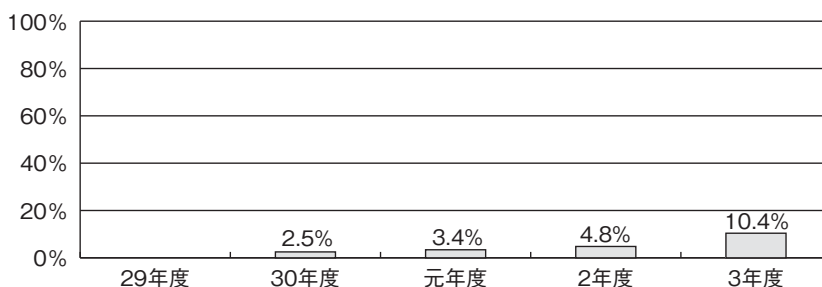


(3) 明海町・老津町 28 号線整備事業費 156,509,466 円
 (国庫補助事業 150,840,000 円 市単独事業 5,669,466 円)

道 路 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
	延 長	—	詳細設計	—
用 地	1,770.06㎡	延 長	194m	
補 償 工作物等	—	用 地	1,567.80㎡	
		補 償 工作物等	—	

[指 標]

指 標 名：明海町・老津町28号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成30年度～）



※事業内容の見直しにより再計算

3 都市計画道路整備事業費 208,274,460 円（道路建設課）

[総括]

都市における交通環境の改善と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進しており、令和3年度は弥生町線の用地取得とともに道路改良工事を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

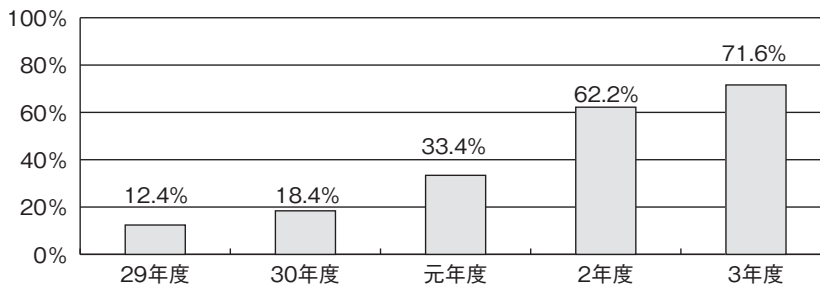
[実績及び成果]

- (1) 弥生町線整備事業費 208,274,460 円
 (国庫補助事業 196,832,729 円 市単独事業 11,441,731 円)

	令和2年度	令和3年度
道 路 改 良	延 長 100m 用 地 1,172.17㎡ 補 償 建物等	延 長 131m 用 地 1,048.07㎡ 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名：弥生町線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成28年度～令和6年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 交通環境保全費 <交通環境の保全>	1,931,750,611	207,489,119	768,700,000	142,115,852	813,445,640

1 自由連絡通路等管理事業費 225,562,401 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全かつ快適に利用できるよう自由連絡通路、ペDESTリアンデッキなどを維持管理した。令和3年度については長寿命化計画に基づき、ペDESTリアンデッキの防水工事や駅前地下道の躯体修繕等を行った。今後も施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努めていく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 209,021,231 円

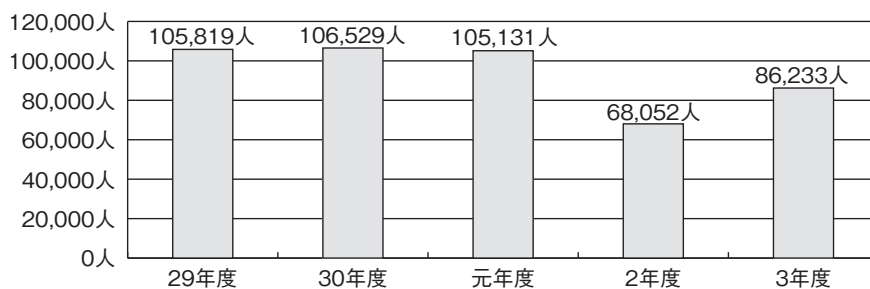
1日当たりの利用者数	令和2年度	令和3年度	比 較
		63,951人	81,863人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,541,170 円

1日当たりの利用者数	令和2年度	令和3年度	比 較
		4,101人	4,370人

[指 標]

指 標 名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数/日数



2 自転車等駐車場管理運営事業費 103,220,029 円 (土木管理課)

[総括]

自転車等の駐車スペースを提供することにより、豊橋駅及び二川駅周辺の放置自転車等を防止し、安全かつ円滑な交通環境を確保した。指定管理者の提案事業により、場内照明の段階的なLED化を行ったほか、施設長寿命化計画に基づき、豊橋駅東口地下エリア(南ゾーン)の天井剥落防止工事を行うなど、利便性向上を図るとともに、安全安心な施設づくりを行っている。

今後も、進学などを機に駅を利用する人に向けた定期利用の呼び掛けを継続し、利用者の確保に努めるほか、感染症対策や施設の予防保全により、安心して利用できる快適な環境を維持していく。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 60,222,871円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 4,200台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		2,147台	2,407台	12.1%
自 転 車	定期	1,744	1,959	12.3
	一時	272	312	14.7
ミニバイク	定期	106	105	△ 0.9
	一時	25	31	24.0

(イ) 自動二輪車（城海津エリア） 収容台数 14台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		9台	10台	11.1%
自動二輪車	定期	1	1	0.0
	一時	8	9	12.5

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 27,968,862円

(ア) 自転車・ミニバイク（駅前地下エリア） 収容台数 1,300台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		798台	859台	7.6%
自 転 車	定期	654	700	7.0
	一時	94	115	22.3
ミニバイク	定期	44	38	△13.6
	一時	6	6	0.0

(イ) 自転車・ミニバイク（白河エリア） 収容台数 419台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		194台	253台	30.4%
自 転 車	定期	60	93	55.0
	一時	54	64	18.5
ミニバイク	定期	24	26	8.3
	一時	11	13	18.2
自動二輪車 (原付2種含む)	定期	34	43	26.5
	一時	11	14	27.3

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 15,028,296円

(ア) 自転車・ミニバイク（西エリア） 収容台数 370台

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
1日平均利用台数		335台	340台	1.5%
自 転 車	定期	263	259	△ 1.5
	一時	33	37	12.1
ミニバイク	定期	32	34	6.3
	一時	7	9	28.6

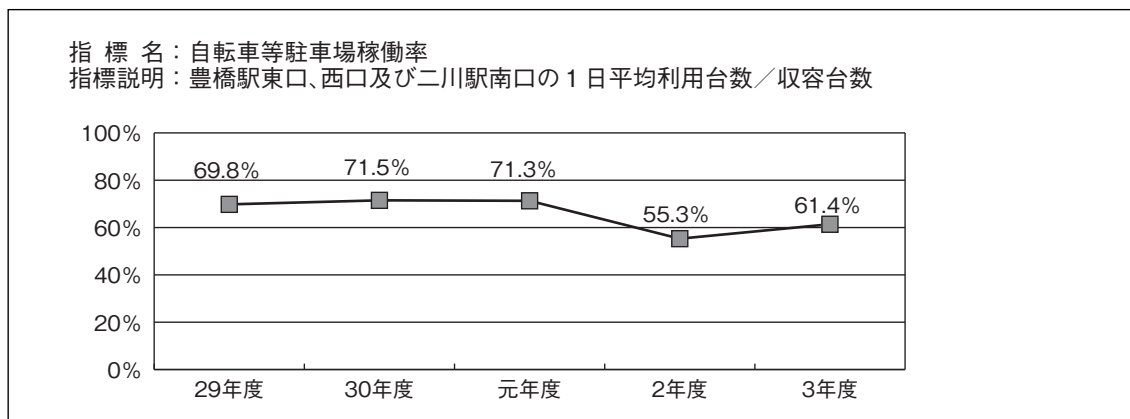
(イ) 自転車（東エリア） 収容台数 45 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	26台	26台	0.0%

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
	4台	5台	25.0%

[指 標]



3 道路施設等維持管理事業費 372,703,227 円（道路維持課）

[総 括]

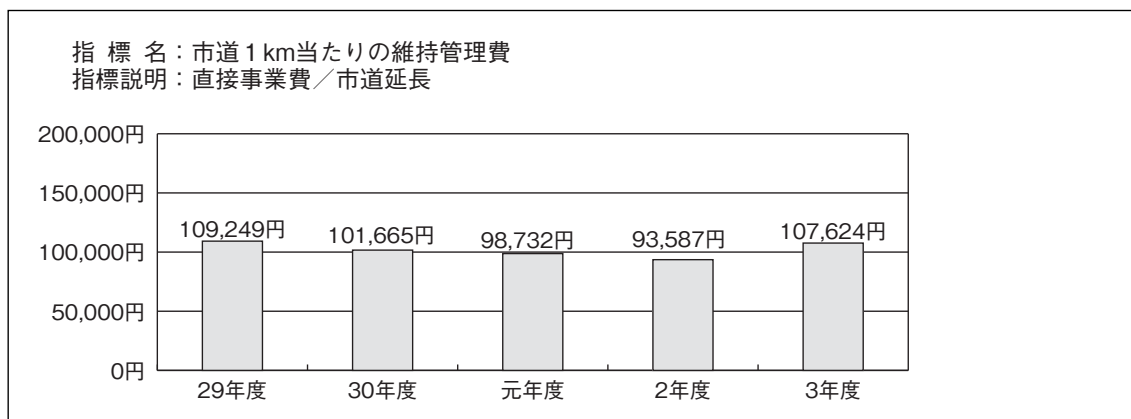
生活道路として通行に支障のないように、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努めるとともに、老朽化が進む道路ストックについては道路分野別施設計画に基づき維持修繕を行い、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 372,703,227 円

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
道 路 清 掃	136路線 延長 345.0km	81路線 延長 165.0km
道 路 側 溝 清 掃	57か所 〃 5,486m	47か所 〃 4,429m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
花田跨線橋擁壁補強	—	延長 40.67m

[指 標]



4 道路等維持改良事業費 317,907,700 円 (道路維持課)

[総 括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

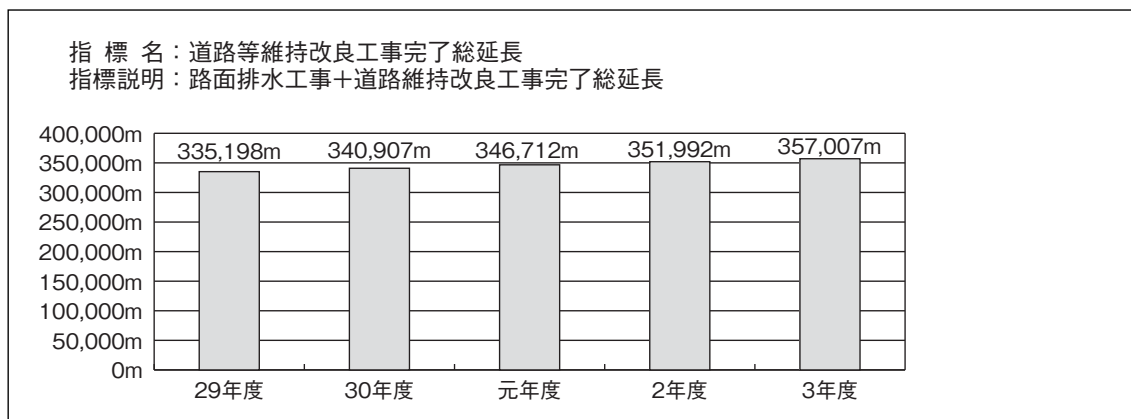
(1) 路面排水整備工事費 306,339,000 円

路 面 排 水	令和 2 年度		令和 3 年度	
	市内一円	延長 4,482m	市内一円	延長 4,388m
	市街地	〃 678	市街地	〃 602
	雨水浸透型側溝等設置		雨水浸透型側溝等設置	

(2) 道路維持改良工事費 11,568,700 円

道 路 維 持 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
	1 件	延長 120m	1 件	延長 25m

[指 標]



5 道路舗装事業費

448,110,300 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

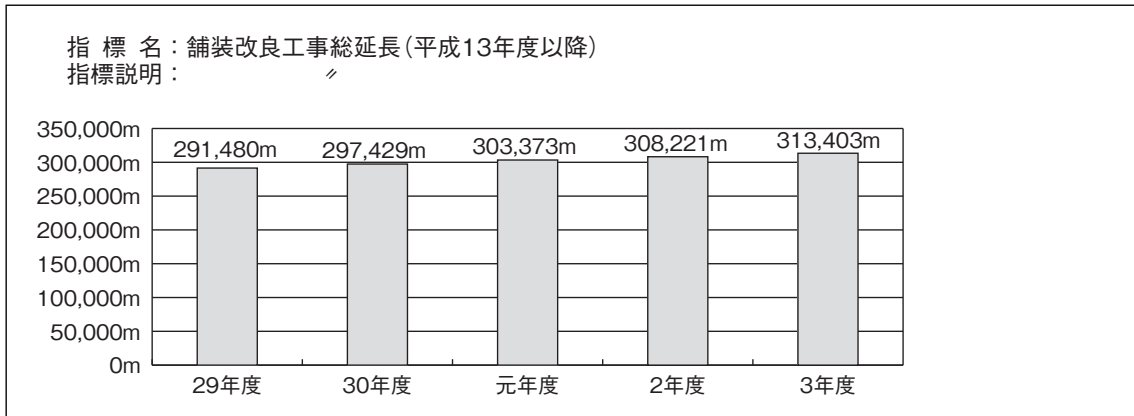
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費

448,110,300 円

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
舗 装 新 設	延長 500m	面積 1,375㎡	延長 269m	面積 645㎡
舗 装 改 良	〃 4,848	〃 30,390	〃 5,182	〃 31,174
舗 装 修 繕	〃 11,150		〃 9,829	

[指 標]



6 橋梁整備事業費

355,679,250 円（道路建設課）

[総括]

道路法で定められた定期点検を行うとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を行った。また、橋梁の安全・安心を確保するとともに、維持管理コストの削減を図るため「橋梁長寿命化修繕計画」を改定し、修繕の優先度や更新時期の見直しを行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費

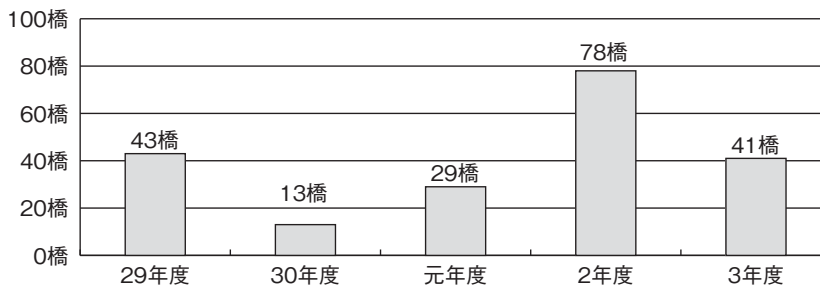
355,679,250 円

(国庫補助事業 298,200,000 円 市単独事業 57,479,250 円)

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
計 画	—	橋梁長寿命化修繕計画改定
定 期 点 検	御弓橋始め 294橋	桜橋始め 193橋
補 修 (国 庫 補 助)	柳生橋始め 78橋	切反ヶ谷橋始め 41橋
補 修 (市 単 独)	老津33号橋始め 16橋	畑ヶ田 7号橋始め 13橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全数
 指標説明：〃



7 道路環境整備事業費 6,627,500 円 (道路維持課)

[総 括]

歩道修繕を行い、段差を解消した。今後も歩きやすい歩道の整備に努める。

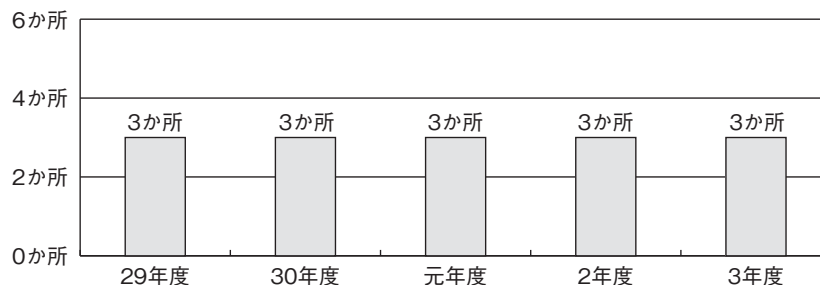
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 6,627,500 円

歩 道 修 繕	令和2年度	令和3年度
	3か所	3か所

[指 標]

指 標 名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設の整備>	427,599,975	31,649,000	17,900,000	0	378,050,975

1 交通安全施設整備事業費 71,290,540円 (道路建設課)

[総括]

飯村町・大岩町47号線ほかは用地取得を進め、東七根町205号線は道路改良工事を行った。また、自転車通行空間整備事業では、「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線において自転車通行空間の整備を行うとともに、「自転車ネットワーク整備計画」を改定し優先整備路線延長の更新を行った。今後も道路状況や通学路などの利用状況を考慮し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

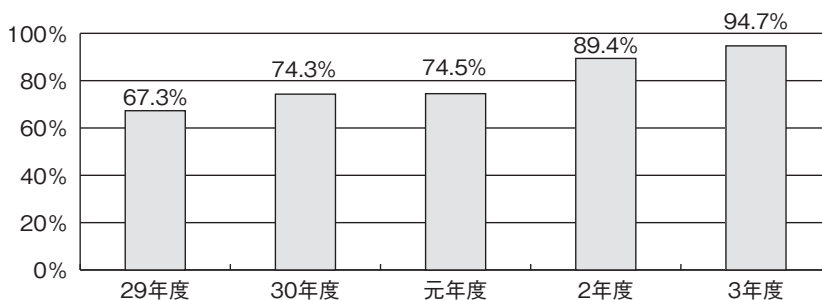
(1) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 26,689,940円

(国庫補助事業 24,480,000円 市単独事業 2,209,940円)

自転車道等設置	令和2年度		令和3年度	
	延長	280m	延長	—
用地	—	用地	103.17㎡	
補償	—	補償	建物等	

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費 (平成25年度～令和4年度)



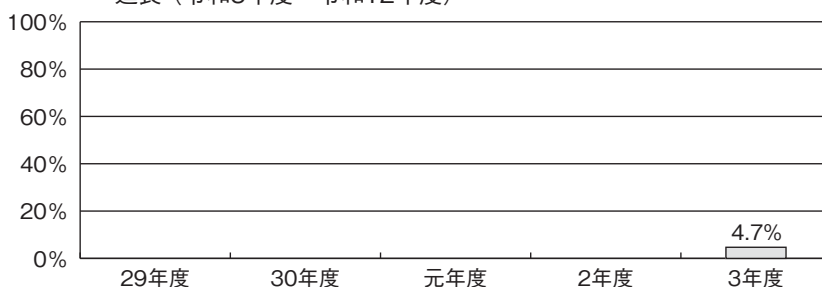
(2) 自転車通行空間整備事業費 27,732,100円

(国庫補助事業 10,000,000円 市単独事業 17,732,100円)

内 容	令和2年度	令和3年度
調査設計	—	自転車ネットワーク整備計画改定
路面標示等	延長 5,800m	延長 993m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長／令和12年度までに整備する自転車ネットワーク優先整備路線延長（令和3年度～令和12年度）



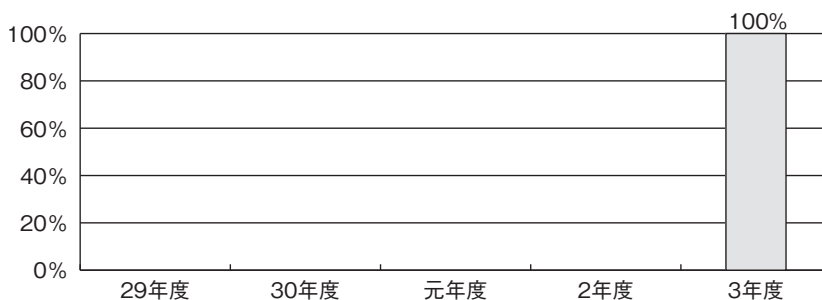
※令和3年度から新たな事業計画により再計算

- (3) 東七根町 205 号線整備事業費 16,868,500 円
 (県費補助事業 15,892,000 円 市単独事業 976,500 円)

道 路 改 良	令和 2 年度	令和 3 年度
	—	延 長 60m

[指 標]

指 標 名：東七根町205号線整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（令和3年度）



2 交通安全施設維持改良事業費 356,309,435 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等に対し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡などの設置・修繕により安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 195,563,200 円

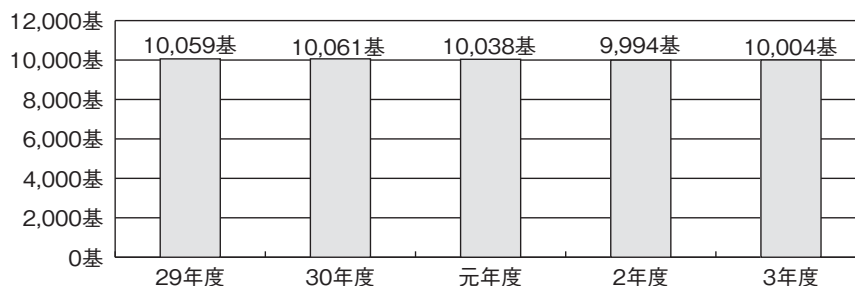
内 容	令和2年度	令和3年度
道路照明柱建替	272基 (灯具建替含む)	71基
交差点等安全カラー標示	6か所	10か所
防護柵設置	延長 360m	延長 333m
道路反射鏡設置	93基	72基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 50,425m	延長 56,209m
横断歩道橋修繕	—	橋脚修繕 1橋

(2) 交通安全施設維持事業費 160,746,235 円

道路付属物塗装修繕	令和2年度	令和3年度
	2基	7基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	927,393,077	96,681,358	207,700,000	59,964,348	563,047,371
2目 水辺環境保全費 <親しまれる自然環境の保全>	307,754,705	0	35,000,000	0	272,754,705

1 河川水路等維持管理事業費 307,754,705円 (河川課)

[総括]

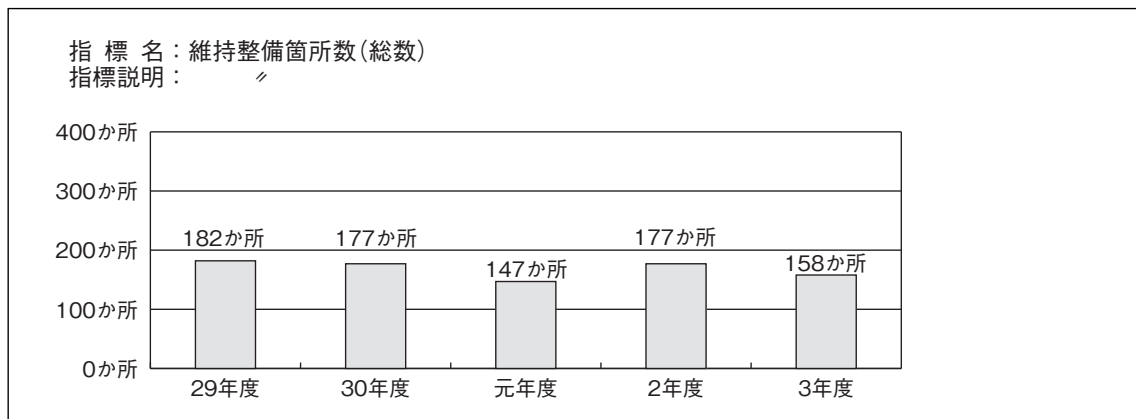
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 307,754,705円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	補修	65か所		54か所
除草	85	27,880㎡	70	41,816㎡
浚渫	27	1,360㎡	34	3,213㎡

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 浸水・土砂災害対策費 <治山・治水対策の充実>	462,216,750	96,681,358	172,700,000	52,108,780	140,726,612

1 河川施設等維持管理事業費 194,895,205 円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 74,730,800 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 85,830,450 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 3,468,744 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 30,865,211 円

2 河川水路等改良事業費 118,414,358 円 (河川課)

[総括]

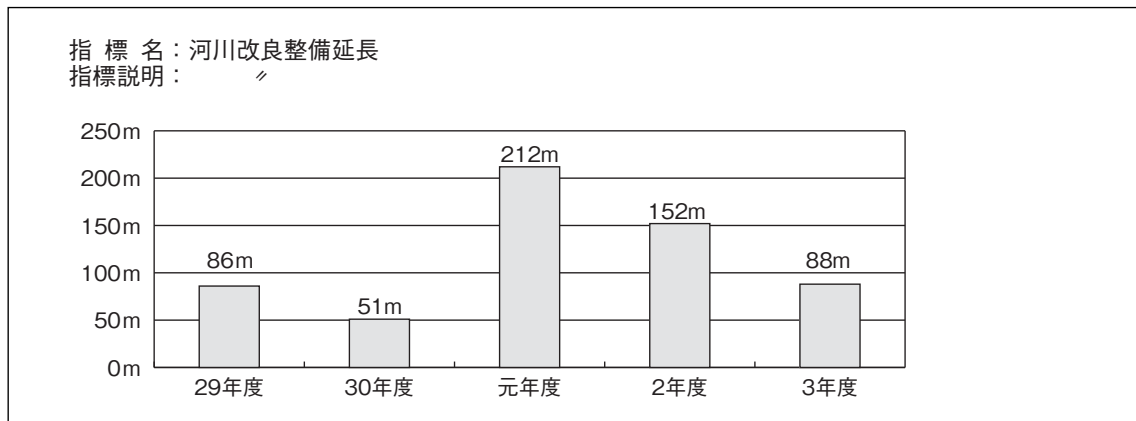
氾濫による被害を防止するため、流下能力を高めるとともに、老朽化した河川・水路の改良工事を行った。今後も改良事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

- (1) 河川改良事業費 38,265,650 円

河 川 改 良	令和 2 年度		令和 3 年度	
		工 事 延 長	152m	工 事 延 長

[指 標]

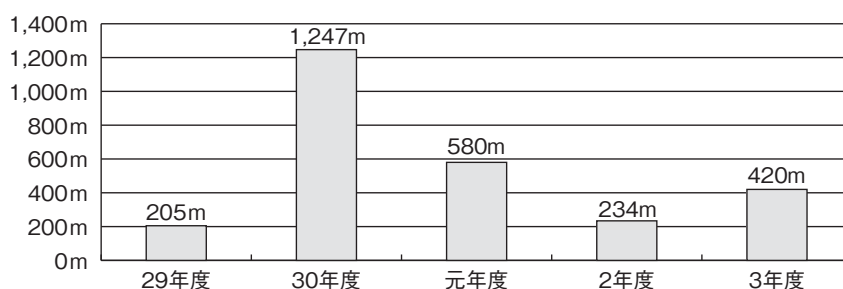


- (2) 水路改良事業費 76,514,403 円

内 容	令和 2 年度		令和 3 年度	
	水 路 改 良	工 事 延 長	234m	工 事 延 長

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



(3) 水路改良受託事業費 3,634,305 円

3 大雨浸水対策事業費 140,871,500 円 (河川課)

[総 括]

大雨や集中豪雨による水路等の氾濫による浸水被害を防止するため、水路改良及び管きょ敷設工事を行った。今後も浸水対策事業の進捗を図る。

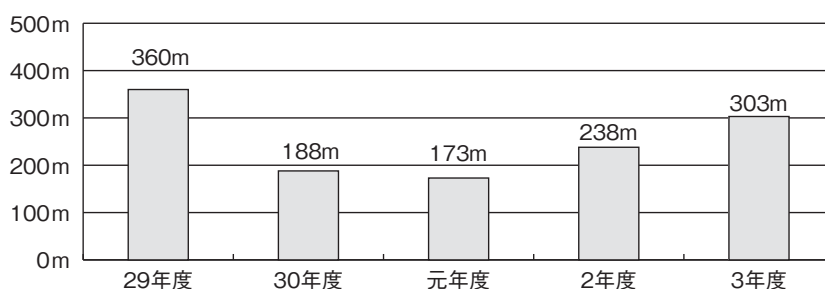
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 140,871,500 円

浸 水 対 策	令和 2 年度	令和 3 年度
	工 事 延 長 238m	工 事 延 長 303m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明： //



4 土砂災害対策事業費 2,815,907 円（河川課）

[総括]

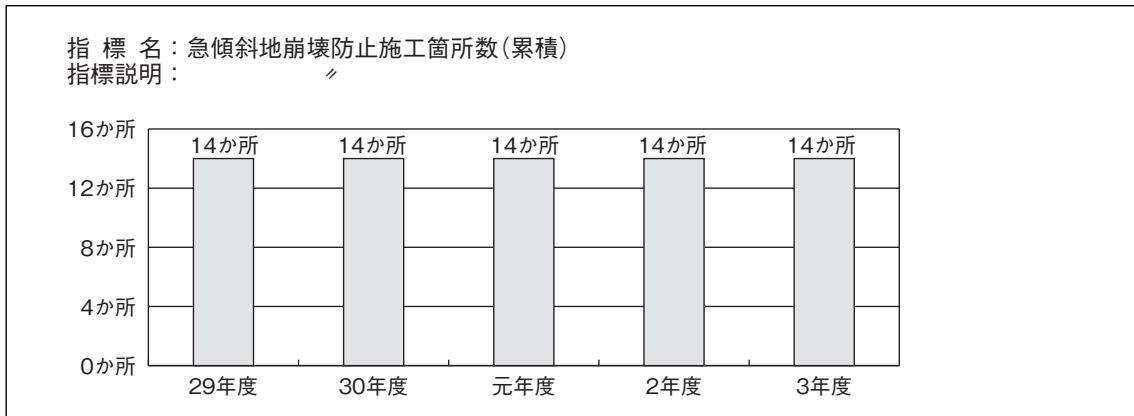
がけ崩れの危険のある区域として、愛知県が指定した急傾斜地崩壊危険区域について崩壊防止工事を実施した。今後も計画的な事業進捗に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 2,815,907 円

事業主体	区分 地区名	令和2年度		令和3年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	王ヶ崎町北欠	23,359,600円	2,335,960円	28,159,078円	2,815,907円

[指標]



5 洪水ハザードマップ作成事業費 5,219,780 円（河川課）

[総括]

水防法に基づく洪水浸水想定区域（想定し得る最大規模の降雨）において、ハザードマップを作成し周辺住民に配布した。今後も洪水による被害軽減のため、情報提供に努める。

[実績及び成果]

(1) 洪水ハザードマップ作成事業費 5,219,780 円
 （国庫補助事業 5,200,000 円 市単独事業 19,780 円）

河川名	令和2年度	令和3年度
	梅田川（作成）	梅田川（印刷） 佐奈川・音羽川

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,330,418,301	279,617,294	257,600,000	443,752,086	349,448,921
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	899,203	0	0	0	899,203

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 899,203円 (建築指導課)

[総 括]

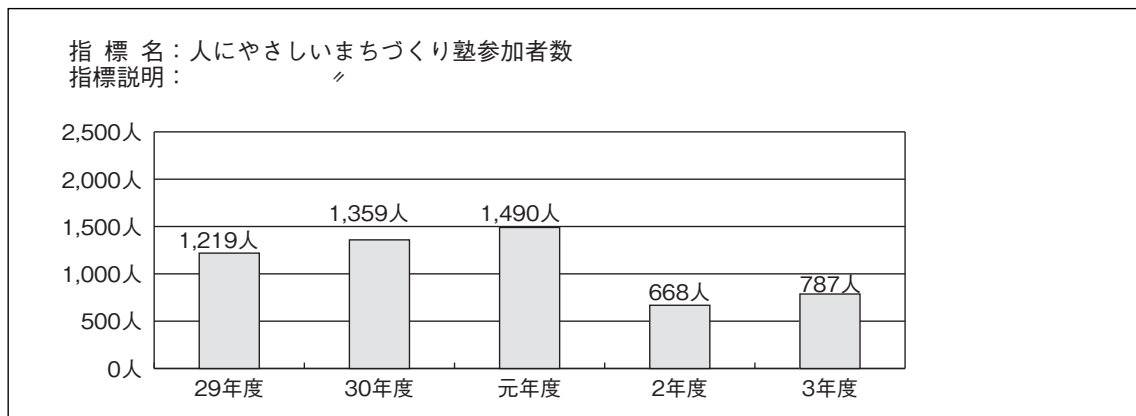
人にやさしいまちづくりを推進するため、ボランティアの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、中学校、高等学校等で開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ実施することで、「人にやさしいまちづくり塾」の開催回数及び参加者数が増加した。また、ボランティアの養成にもつながる「人にやさしいまちづくり啓発講座」を全3回で実施した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 899,203円

啓 発 事 業 開 催 回 数	令和2年度	令和3年度	比 較
		11回	19回

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <住まいの安定確保>	879,334,237	260,767,000	257,600,000	344,696,164	16,271,073

1 住宅維持管理事業費 433,418,183 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も住宅の環境整備を進め、修繕コストの縮減と入居者へのサービス向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 335,627,083 円

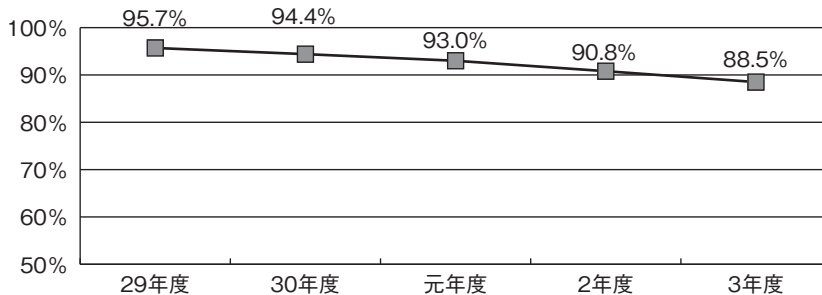
住宅管理戸数 (年度末)	令和2年度	令和3年度
		3,851戸

(2) 住宅維持補修事業費 97,791,100 円

工 事 内 容	令和2年度	令和3年度
屋 上 防 水	空池	空池
エ レ ベ ー タ ー 更 新	才ノ神	才ノ神
外 壁 改 修	—	—
浴 室 改 修	才ノ神	才ノ神
取 り 壊 し	城山	城山
遊 具 改 修	草間・栄生・空池・中野・新多米・前芝	新多米
専 用 管 改 修	—	—

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

443,558,600 円（住宅課）

[総括]

西口住宅建替工事（第2期）を進めるとともに、集会所建設工事を行った。今後も円滑な建替事業の推進に努める。

[実績及び成果]

(1) 西口住宅建替事業費

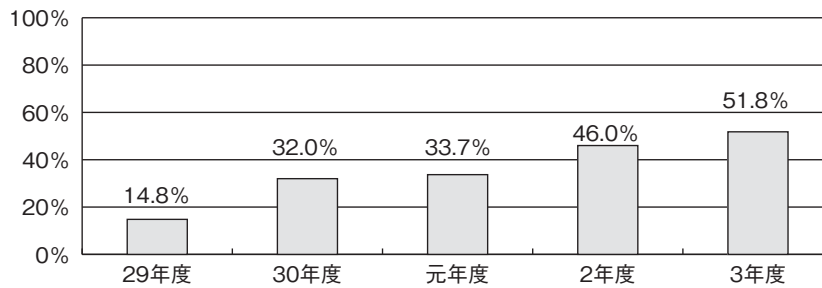
443,558,600 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	建設工事（第2期）	建設工事（第2期） 集会所建設工事

[指標]

指標名：西口住宅建替事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成26年度～令和8年度）



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 空家対策推進費 <空家対策の推進>	22,560,403	10,739,000	0	0	11,821,403

1 空家対策推進事業費 22,560,403円 (建築物安全推進課)

[総括]

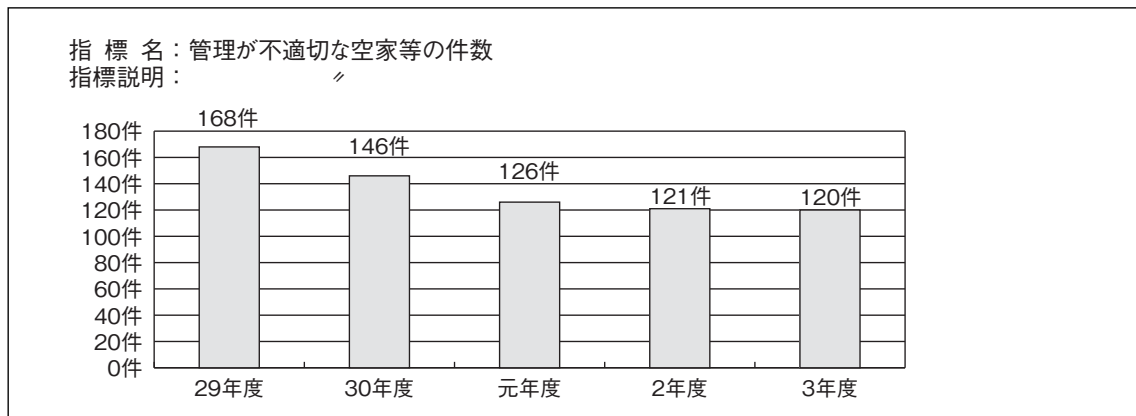
「豊橋市空家等対策計画」に基づき、管理が不適切な空家の所有者に対する助言を行うとともに、空家バンクによる空家の利活用を進めるなど、増加する空家への対策に取り組んだ。また、空家解体促進費補助金により、倒壊危険空家及び老朽空家の解体を促進するとともに、所有者不存在の特定空家等の略式代執行を行った。今後も、管理が不適切な空家の所有者への助言や老朽空家等の除却支援を行うとともに、空家等対策に関する業務等の提供ができる事業者を募る協力事業者登録制度等、官民連携による新たな手法も用いて市民の生活環境の保全及び地域活力の維持・向上を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 空家対策推進事業費 22,560,403円

区 分	令和2年度	令和3年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	5件	3件	43件
空家利活用改修費補助金補助件数	1	0	7
空家解体促進費補助金補助件数	58	55	198

[指 標]



※件数は、各年度末現在。

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 建築指導費	11,093,379	1,474,000	0	0	9,619,379

1 建築指導事務費 11,093,379円 (建築指導課)

[総括]

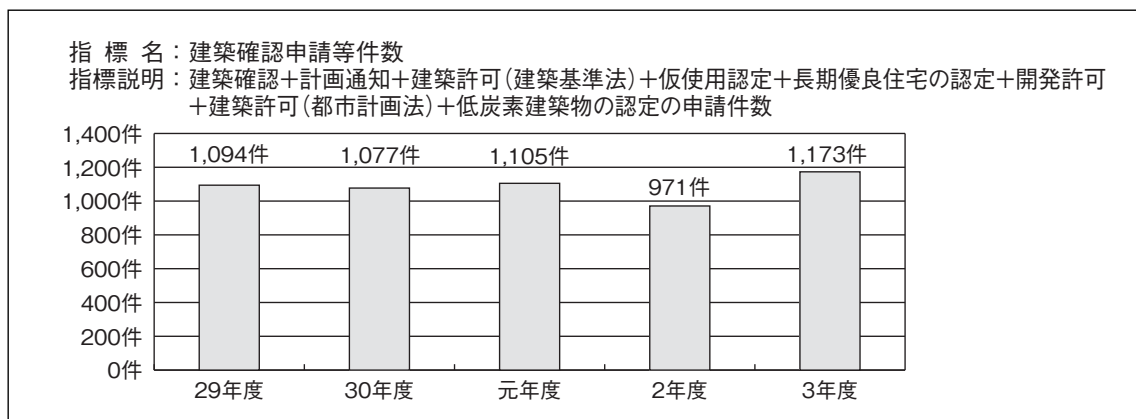
建築基準法に基づく申請及び都市計画法に基づく申請は、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる件数の減少が鈍化した。また、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」及び都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、制度の普及により増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 11,093,379円

種 別	区 分	件 数		比 較
		令和2年度	令和3年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	7件	7件	0.0%
	計 画 通 知	16	19	18.8
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	9	14	55.6
	仮使用認定申請	1	0	皆減
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	700	833	19.0
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	18	18	0.0
	建 築 許 可 申 請	210	228	8.6
都市の低炭素化の促進に関する法律	認 定 申 請	10	54	4.4倍

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	89,224,063	143,000	0	810,664	88,270,399
1目 港湾振興対策費 <ものづくり産業を支える港づくり>	72,140,378	143,000	0	29,900	71,967,478

1 港湾関連対策事業費 17,970,335 円 (みなと振興課)

[総括]

三河港振興会が主体となり、インフラ整備要望や三河港の利用促進に向けた企業ヒアリング活動、“地域の絆”情報交換・商談会へ出席し三河港のPRを行った。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度を実施し、完成自動車及びコンテナ取扱量の維持・増加を図った。

令和3年の完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来29年連続で日本一を記録した。コンテナ貨物の取扱量については、世界的なコンテナ不足を背景とした物流混乱や海上輸送運賃の高騰、中国・ベトナム航路の休止などの影響により更に低下した。

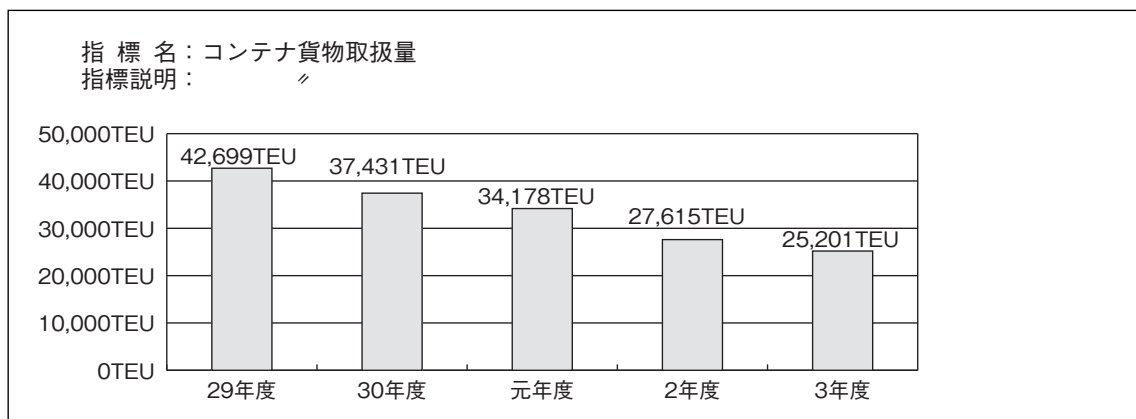
今後は、コンテナ貨物取扱量の増加に向け、助成制度や定期航路のさらなる周知、ポートセールス活動を強化するとともに、総合的な物流機能を強化するため、国や県に対して積極的な要望活動を行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,050,335 円
- (2) 三河港振興会負担金 12,920,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	6,000,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	2,720,000	6,320,000

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 みなとにぎわい創出費 <港のにぎわいの創出>	17,083,685	0	0	780,764	16,302,921

1 みなとにぎわい創出事業費 227,000円 (みなと振興課)

[総括]

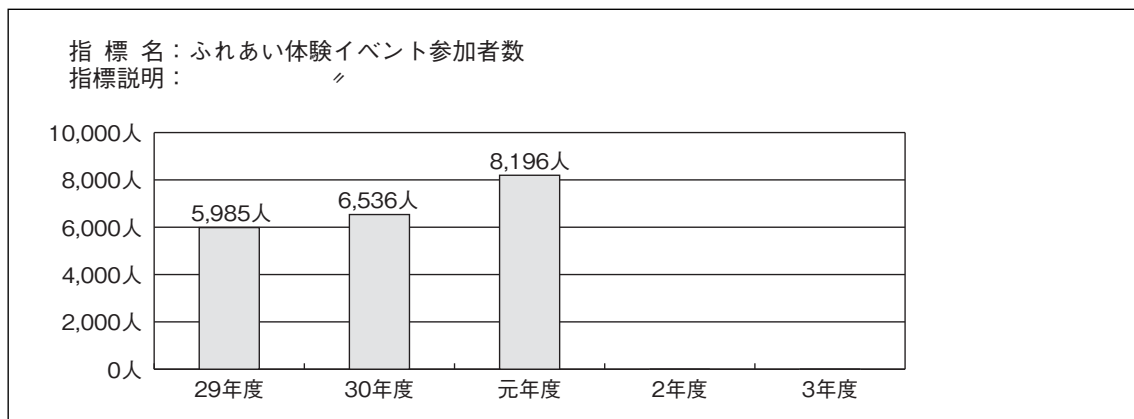
港の重要性や必要性を理解してもらい、港にふれあう機会を提供する場として、カモメリアを拠点として様々なイベントを実施している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのイベントを中止した。今後は、再開に向けてインポーターや臨海部企業との調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) みなとにぎわい創出活動事業費 227,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
イベント開催数	0回	0回
イベント参加者数	0人	0人

[指標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,856,685円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。

令和3年度も、基本的な感染防止対策や展示物の一部撤去を継続しつつ、小学校の社会科見学の受け入れなどを行った。引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みながら来館者の受け入れを行っていく。

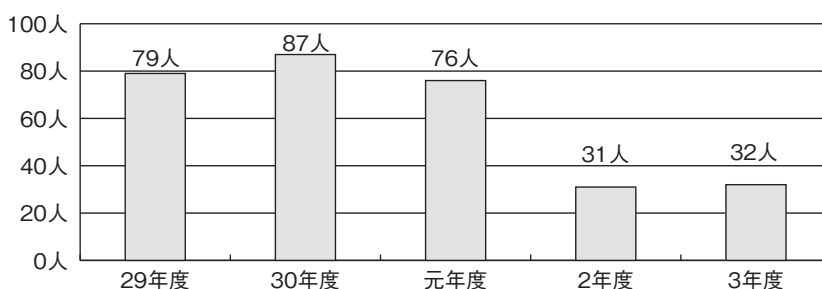
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,856,685円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	317日	358日	12.9%
利 用 者 数	延 9,742人	延 11,457人	17.6

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費

0円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成している。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、開催中止となった。

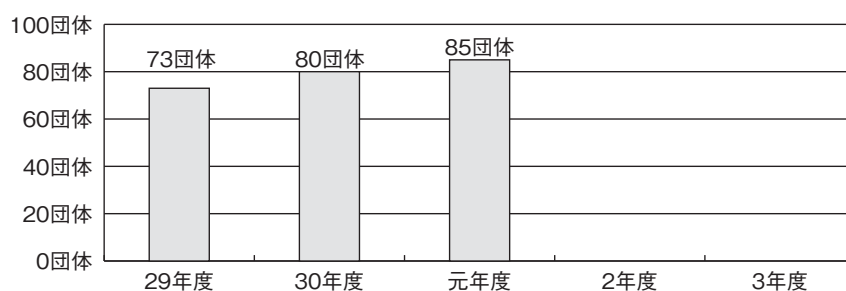
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 0円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	0円	0円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	5,067,691,327	1,686,356,800	812,000,000	49,514,140	2,519,820,387
2目 公園・緑地づくり費 <地域に根差した公園・緑地づくり>	887,965,551	110,109,000	179,000,000	23,936,364	574,920,187

1 公園施設維持管理事業費 599,787,464 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 545 か所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。また、損傷や劣化の見られる吉田城址の石垣の修復を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図る。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 392,730,768 円

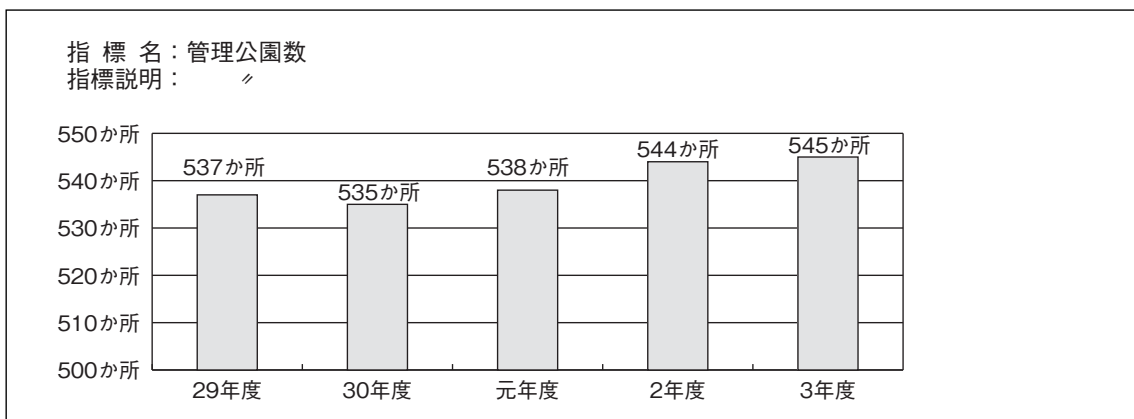
除草清掃・施設管理委託等	令和2年度	令和3年度
		高師緑地始め544か所

(2) 公園修繕事業費 207,056,696 円

(国庫補助事業 124,000,000 円 市単独事業 83,056,696 円)

内 容	令和2年度	令和3年度
照 明 灯 修 繕	豊橋公園ほか	豊橋公園ほか
遊 具 補 修	東田遊園ほか	若宮第3ちびっこ広場ほか
諸施設及び塗装修繕等	松山公園ほか	向山緑地ほか
外 柵 修 繕	中山田池公園ほか	坪ノ谷公園ほか
照 明 灯 更 新	万場緑地ほか	万場緑地ほか
遊 具 更 新	二本松西公園ほか	内田公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費 166,642,300 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、白ヶ池公園、飯村公園の再整備を行った。また、前年度に引き続き汐田公園の整備を進めた。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

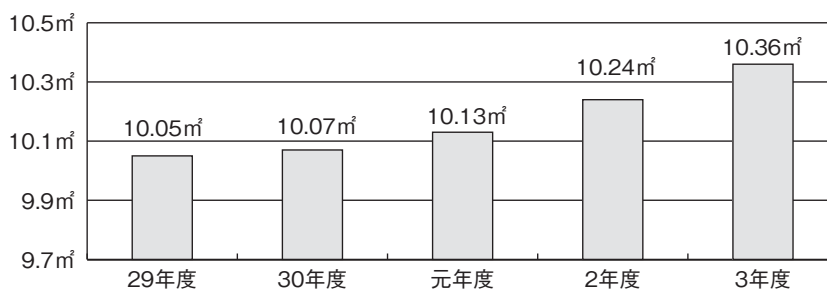
[実績及び成果]

- (1) 街区公園等整備事業費 166,642,300 円
 (国庫補助事業 12,760,000 円 県費補助事業 153,882,300 円)

公園名	令和2年度	令和3年度
	汐田公園ほか 遊具広場整備等	汐田公園ほか 遊具広場整備等

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化・美化活動推進費 <緑化・美化活動の推進>	437,451,445	44,033,300	0	300,000	393,118,145

1 緑化維持管理事業費 392,299,210 円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も、街路樹再生指針に基づき、街路樹の適正化を図るとともに、市民の安全に配慮した街路樹及び公園樹の維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 209,743,099 円

路 線 名	令和2年度	令和3年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

(2) 公園樹等維持管理事業費 169,277,750 円

公 園 名	令和2年度	令和3年度
		牛川遊歩公園始め406公園

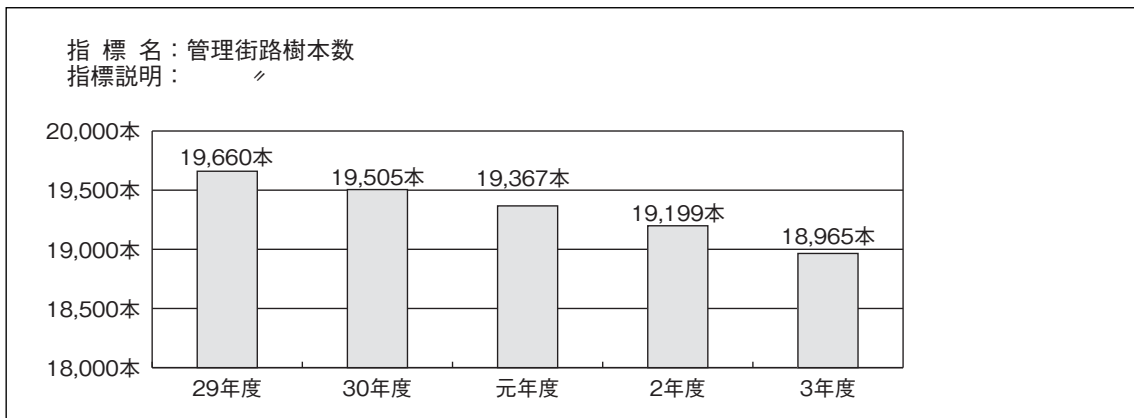
(3) 街路樹等維持補修事業費 9,043,100 円

路 線 名	令和2年度	令和3年度
		植田町・大崎町1号線ほか

(4) 軌道緑化維持管理事業費 4,235,261 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		維持管理面積 658㎡

[指標]



2 緑化推進事業費 24,081,334 円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、花交流フェア、桜の植栽イベント等を開催するとともに、市民に愛着のある緑化を推進するため、街路樹等の植え替えを行い再生を図った。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等緑化推進事業費 20,354,514 円

(県費補助事業 20,354,514 円)

内 容	令和2年度		令和3年度	
		瓦町通・向山台町1号線		飯村北46号線
	高木植栽 ヤマボウシ	49本	高木植栽 ヤマボウシ	37本

(2) 公園樹等緑化推進事業費 3,656,820 円

(県費補助事業 3,645,960 円 市単独事業費 10,860 円)

内 容	令和2年度		令和3年度	
		岩屋緑地		岩屋緑地
	高木植栽 サクラ	28本	高木植栽 サクラ	28本
	向山緑地		向山緑地	
	高木植栽 サクラ	5本	高木植栽 サクラ	5本

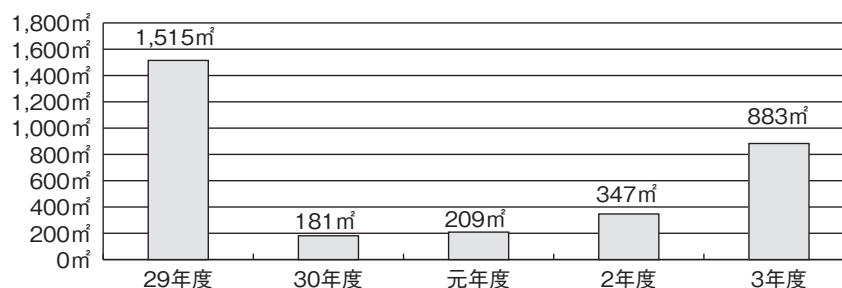
(3) 民有地緑化推進事業補助金 0 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
		1件	53.9㎡	0件

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積

指標説明： /



3 公園等維持管理事業費

19,986,529 円（公園緑地課）

[総括]

市民の公園及び街路樹への愛着心や美化意識の向上を図るため、市民協働で公園や街路樹周辺の美化活動を行った。緑のアダプト制度の登録数や公園管理自治会数も順調に伸びており、今後も市民、事業者、行政の協働によって美化活動を推進する。

[実績及び成果]

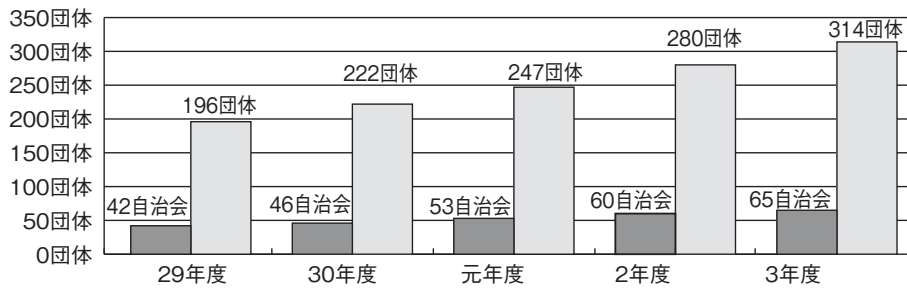
(1) 公園等美化活動事業費

19,986,529 円

区分	令和2年度	令和3年度
公園管理自治会数	60自治会	65自治会
緑のアダプト制度登録数	280団体	314団体

[指標]

指標名：公園管理自治会数・緑のアダプト制度登録数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 まとまりのある都市構造形成費 <まとまりのあるまちの形成>	38,829,884	1,565,000	0	0	37,264,884

1 まとまりのある都市構造推進事業費 38,829,884円 (都市計画課)

[総括]

都市再生特別措置法の改正を受け、「豊橋市立地適正化計画」において新たに防災指針を策定するため現状分析を実施した。また、同計画に基づき、歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金等の居住誘導策を行った。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 10,700,884円

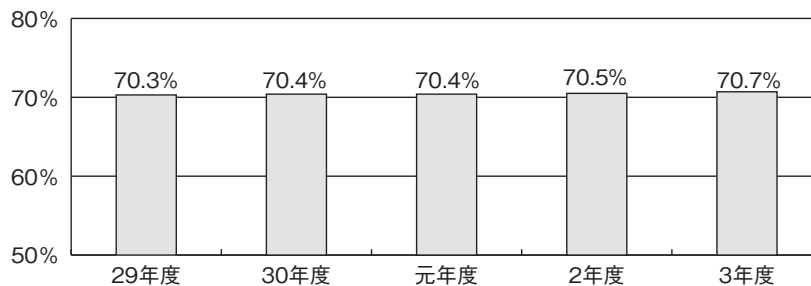
内 容	令和2年度		令和3年度	
		豊橋市立地適正化計画の推進 都市計画マスタープラン改定業務		豊橋市立地適正化計画の推進 豊橋市立地適正化計画改定業務

(2) 歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金 28,026,000円

補 助 金	令和2年度		令和3年度	
		34件	5,907,000円	171件

[指標]

指標名：全人口に占める居住誘導区域内人口の割合
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちなか整備費 <魅力あるまちなかの整備>	2,153,449,657	1,417,639,500	633,000,000	640,210	102,169,947

1 再開発推進事業費 301,750円 (まちなか活性課)

[総括]

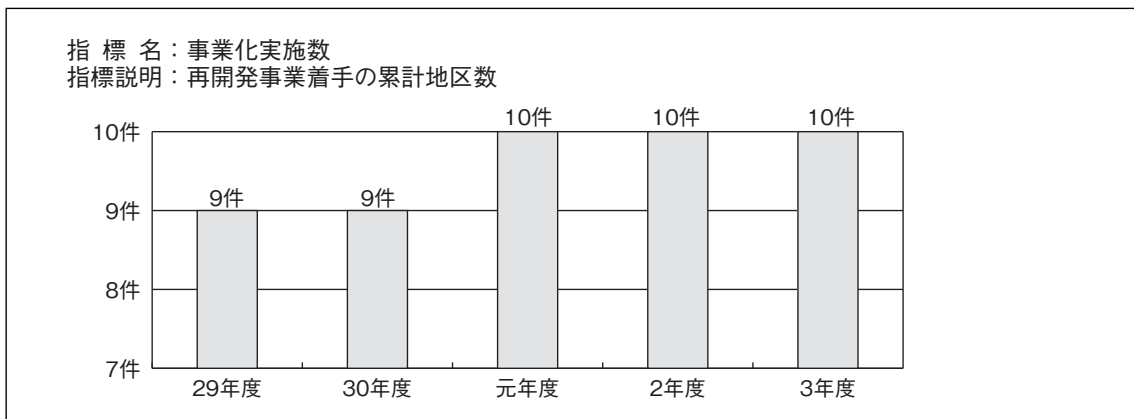
駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業及び豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業において、事業者に対する指導・助言を行った。また、広小路一丁目北地区において、再開発を推進するための協議会に助言等を行った。今後もこれら事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して、事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 301,750円

事業費	令和2年度	令和3年度
		313,781円

[指標]



2 市街地再開発等事業費 1,952,366,578円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業や豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業の事業者に対して助成等を行った。まちなか広場については公共施設管理者負担金により整備を行った。また、再開発事業検討段階の初動期支援として、広小路一丁目北地区においてコーディネート委託業務を行った。

[実績及び成果]

(1) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費 1,466,885,250円

内 容	令和2年度	令和3年度
		東棟建築工事等

(2) 豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費 271,400,000円

内 容	令和2年度	令和3年度
		建築物除却、調査設計、建築工事

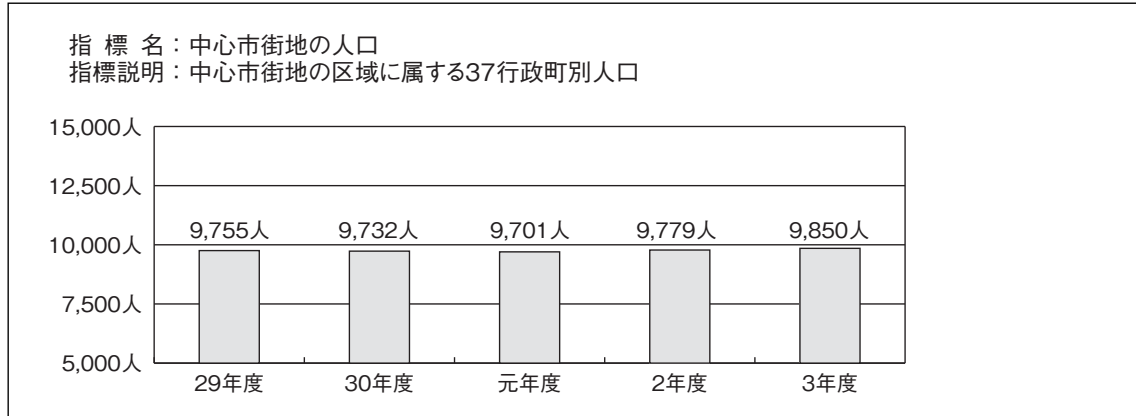
(3) まちなか広場整備事業費 207,371,328円

内 容	令和2年度	令和3年度
		建設工事、工事監理等

(4) 豊橋駅周辺地区再開発推進事業費 6,710,000 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	初動期支援	

[指 標]



3 中心市街地環境整備事業費 186,293,683 円 (まちなか活性課)

[総 括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅前周辺における交通環境の改善など、当地区の利便性向上に向け、関係者との調整や様々な事業手法の検討を行った。また、中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えるストリートデザイン事業では、萱町通り及び水上ビル北側において前年度に引き続き工事を進め、2路線の整備が完了した。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 98,768 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	豊橋駅西口駅前地区活性化検討調査等	

(2) ストリートデザイン事業費 186,194,915 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	工事 (萱町通り L = 約115m) 工事 (水上ビル北側 L = 約204m)	

4 中心市街地活性化推進事務費 1,861,151 円 (まちなか活性課)

[総 括]

中心市街地活性化基本計画の事業効果を継続的に確認するために通行量調査を実施した。今後も、中心市街地の活性化に向けた取組を着実に推進していく。

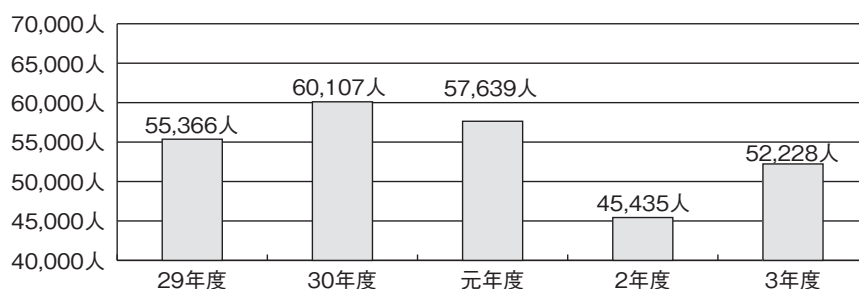
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,861,151 円

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	中心市街地通行量調査	

[指 標]

指 標 名：中心市街地の休日歩行者通行量
 指標説明：中心市街地内7地点の休日歩行者通行者数の合計



5 まちなか広場管理事業費 1,800,857 円 (まちなか活性課)

[総 括]

まちなか広場を快適に利用し、滞在することができる空間となるよう維持管理を実施した。

[実績及び成果]

(1) まちなか広場管理事業費 1,800,857 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	—	植栽管理・清掃委託等

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 まちづくり景観形成費 <地域らしくこちよ景観の形成>	2,315,610	0	0	967,920	1,347,690

1 まちづくり景観推進事業費 2,315,610円 (都市計画課)

[総括]

景観法に基づく「豊橋市景観計画」の運用を開始し、地域の景観に調和した建築行為等の規制・誘導を行った。また、二川宿景観形成地区において、景観に配慮した建築行為に対する助成を行い、歴史的なまち並み景観形成を推進した。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 1,039,690円

内 容	令和2年度	令和3年度
	豊橋市景観計画等の印刷製本	

(2) まちづくり景観形成助成金 308,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 308,000円

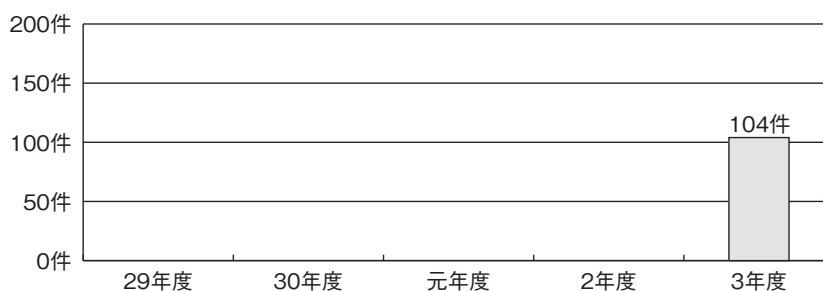
助 成 金	令和2年度	令和3年度
		3件 2,387,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 967,920円

区 分	令和2年度	令和3年度
許 可 件 数	1,334件	1,965件
違反広告物撤去件数	74	48

[指 標]

指 標 名：良好な景観形成の助言件数
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 公共交通維持活性化費 <公共交通の維持と活性化>	268,463,900	112,877,000	0	7,160,865	148,426,035

1 公共交通活性化事業費 5,326,731 円 (都市交通課)

[総括]

平成29年3月に制定した「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」に基づき、「豊橋市都市交通計画2016-2025」の基本理念である「多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築」をめざすため、路線バスの利用促進事業や駅駐輪場の整備のほか、乗合事業運転士確保支援事業を行い、利便性の向上を図った。今後も市民等の公共交通に対する意識変革を促すとともに、誰もが安心・安全で快適に移動できる環境を整え、公共交通の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 公共交通活性化事業費 5,326,731 円

(ア) サイクル&ライド駐輪場整備事業費補助金 995,787 円

駐 輪 台 数	令和2年度	令和3年度
		160台

(イ) ユニバーサルデザインタクシー導入補助金 750,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
		6台

(ウ) 路線バス利用促進事業費 73,700 円

[幹線バス終バス延長実施事業]

幹線バスの終バスを 延長した路線数	令和2年度	令和3年度
		3路線

(エ) モビリティマネジメント推進費等 2,617,494 円

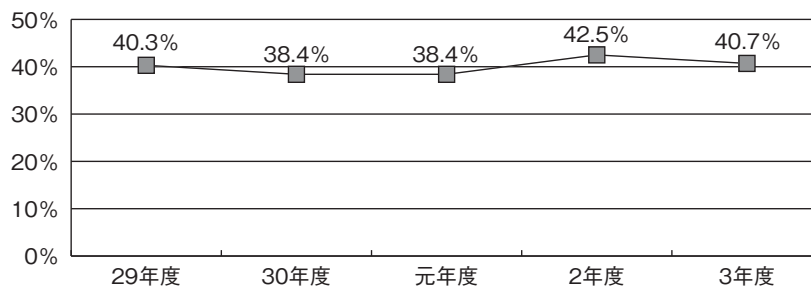
[路線バス等運転士確保支援事業]

内 容	令和2年度	令和3年度
説明会参加者数	9人	8人
採用者数	0	3

[指標]

指標名：「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「公共交通の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



2 公共交通対策事業費

259,618,716 円（都市交通課）

[総括]

利用しやすく持続可能な公共交通とするため、交通施設の改修に必要な支援を行った。また、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となりコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）の本格運行事業を5地区で実施した。このほか、令和3年度は新型コロナウイルス感染症に機動的に対応するため、地域公共交通の確保・維持を目的とした各交通事業者への支援を行った。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、公共交通の利用を促す取組みを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 公共交通対策事業費 259,618,716 円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業費補助金 12,442,338 円

実施箇所	令和2年度	令和3年度
	単路部（東田～競輪場前間）	単路部（東田～競輪場前間）

(イ) バス運行対策費補助金 84,419,000 円

補助路線数	令和2年度	令和3年度
	13路線	13路線

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 34,601,294 円

本格運行地区	令和2年度	令和3年度
	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区	東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区

(エ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 574,959 円

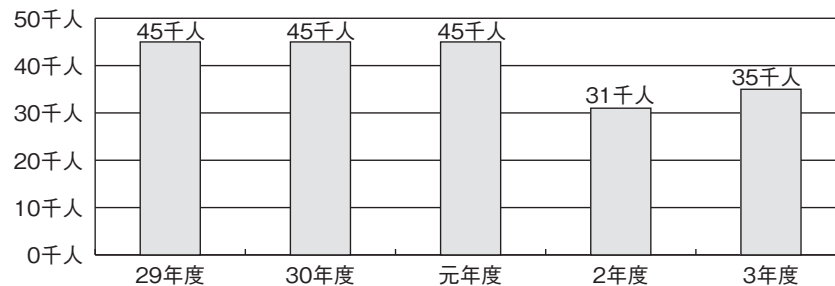
運営団体数	令和2年度	令和3年度
	7団体	7団体

(オ) 公共交通利用促進費等 2,021,125 円

[指標]

指標名：公共交通の1日当たりの利用者数

指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車活用推進費 ＜自転車活用の推進＞	940,951	133,000	0	0	807,951

1 自転車活用推進事業費 940,951円 (都市交通課)

[総括]

自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取組みの一つとして、令和元年度に作成したサイクリングマップの増刷を行った。また、令和2年度に策定した「豊橋市自転車活用推進計画2021-2030」を広く市民へ公表するため、概要版を作成した。今後も市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 自転車活用推進事業費 940,951円

(ア) 渥美線サイクルトレイン推進事業費補助金 266,000円

ステッカー等 添付箇所	令和2年度	令和3年度
		2駅 10編成

(イ) サイクルツーリズムの推進 150,000円

[サイクリングマップ増刷]

作成部数	令和2年度	令和3年度
		—

(ウ) 自転車活用推進費 524,951円

内 容	令和2年度	令和3年度
		自転車活用推進委員会等の開催

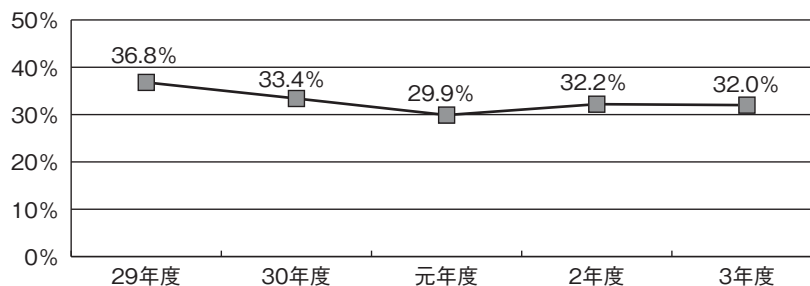
[自転車活用推進計画概要版作成]

作成部数	令和2年度	令和3年度
		—

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,419,157,578	365,832,000	562,600,000	148,550,900	342,174,678
2目 市街地整備費 <まとまりのあるまちの形成>	1,260,211,859	365,832,000	562,600,000	148,511,500	183,268,359

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 431,786,659 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の完了に向けた換地計画策定の準備を行い、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 431,786,659 円
(国庫補助事業 312,749,000 円 市単独事業 119,037,659 円)

(ア) 道路築造費 191,936,200 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	延長 590m	延長 1,680m

(イ) 宅地造成費 10,832,600 円

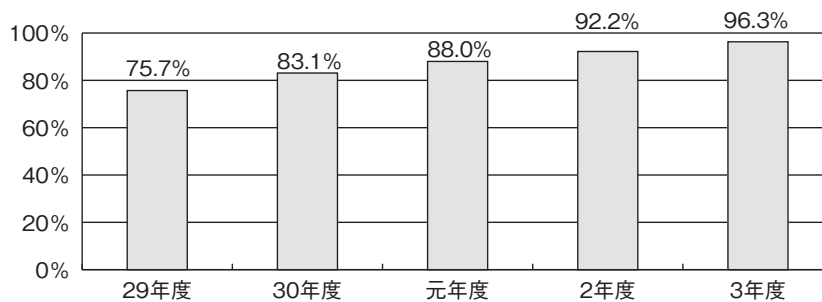
内 容	令和2年度	令和3年度
	面積 6,100㎡	面積 8,263㎡

(ウ) 補償費 117,082,680 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	建物 2戸 工作物、電柱 水道管移設 468m	建物 1戸 工作物、電柱 水道管移設 371m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～令和7年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 818,495,500 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督を行うとともに、助成した。また、柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 161,428,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 161,428,000 円

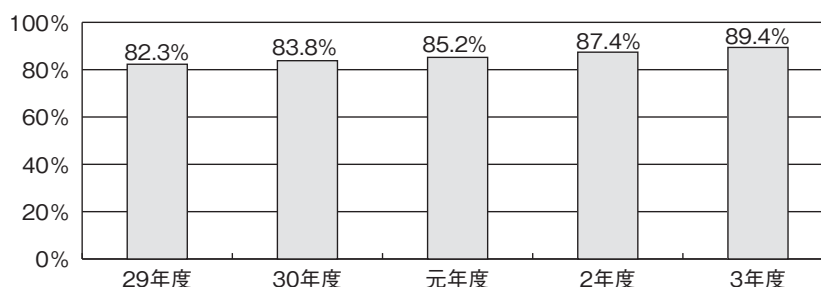
補助金	令和2年度	令和3年度
	161,558,071円	161,428,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 0 円

負担金	令和2年度	令和3年度
	10,538,000円	0円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費（平成7年度～令和7年度）



※令和3年度の事業計画変更による全体事業費にて再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 657,067,500 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 651,724,000 円

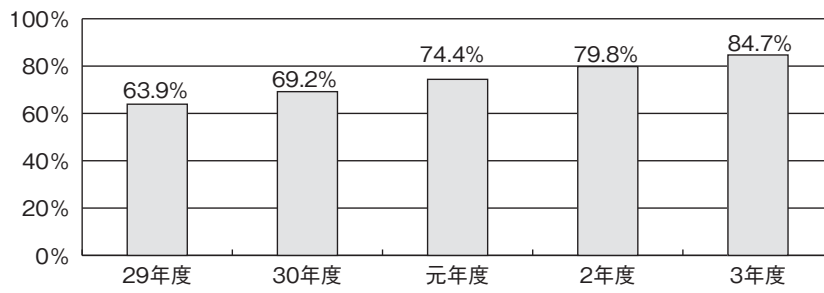
補助金	令和2年度	令和3年度
	560,272,000円	651,724,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 5,343,500 円

負担金	令和2年度	令和3年度
	36,212,000円	5,343,500円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～令和8年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,635,598,888	47,391,974	230,900,000	146,955,308	3,210,351,606
1 項 消 防 費	3,635,598,888	47,391,974	230,900,000	146,955,308	3,210,351,606
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	853,323,716	12,551,000	220,300,000	134,172,558	486,300,158

1 消防署所施設管理事業費 301,500,441 円 ((消) 総務課)

[総括]

築年数 40 年を経過する南消防署の大規模改修工事を実施し、建物や設備の機能回復の他、仮眠室の個室化など職場環境の向上にも努め、消防防災活動の拠点となる消防庁舎の長寿命化及び機能強化を図った。

また、築年数 40 年を経過する南消防署大清水出張所の改良保全工事に向けた実施設計を実施した。

[実績及び成果]

- (1) 消防署所施設管理事業費 301,500,441 円
 (ア) 南消防署大規模改修工事 220,198,800 円
 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 363,118,800 円

構 造	内 容	延 床 面 積
鉄筋コンクリート造 3 階建	屋上防水改修、外壁改修、 内装改修	1,600㎡

- (イ) 南消防署大清水出張所庁舎改修実施設計 9,570,000 円

2 通信指令事業費 240,431,807 円 (通信指令課)

[総括]

迅速かつ的確な出動指令により、災害による被害を軽減するため、通信指令員の機器操作の習熟、Net119 緊急通報システムなど様々な緊急通報への対応力の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大状況下において 119 番通報の受信時に聴取する事項を追加し、関係者への感染防止に努めた。今後も、救急事案における緊急度判定基準に基づく適切な出動指令及び口頭指導を実施し、傷病者の重症化防止を図っていく。また、指令システムとデジタル無線設備の更新へ向けた計画を推進するとともに、東三河各市消防本部との連携強化と通信指令員の知識と技術の向上を図っていく。

[実績及び成果]

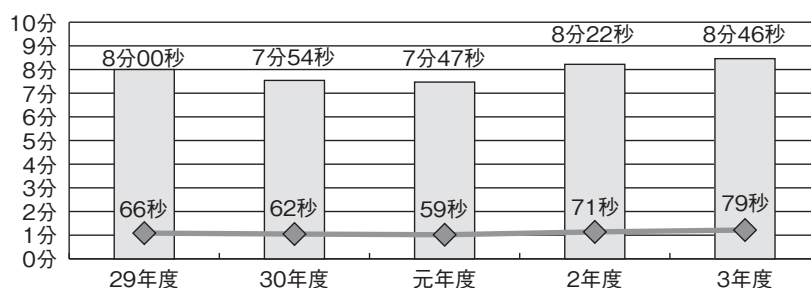
- (1) 通信指令事業費 240,431,807 円

[受信内訳]

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	18,588件	20,091件	8.1%
固 定 電 話	5,642	5,487	△ 2.7
携 帯 電 話	9,292	10,582	13.9
I P 電 話	3,654	4,022	10.1

[指 標]

指 標 名：119番(火災・救急・救助)受信から現場到着(受信から指令及び指令から現場到着)までに要した時間(平均)
 指標説明：所要時間／件数



※折れ線部分は受信から指令までに要した時間(平均)

3 警防活動費 9,336,270 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。また、消防が有する車両や資機材では対応が困難な災害に対応するため、東三建設協会及び東三クレーン協会と「消防活動の協力に関する協定」を締結した。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、東三河各消防本部や警察等の関係機関とも連携した各種災害想定訓練を実施し、災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

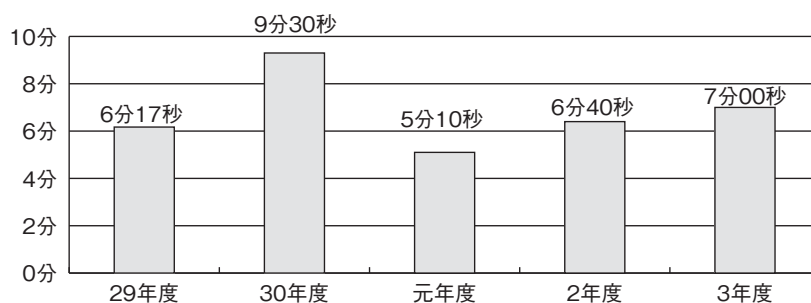
(1) 警防活動費 9,336,270 円

[火災発生状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
出 火 件 数	106件	100件	△ 5.7%
り 災 棟 数	59棟	51棟	△13.6
り 災 世 帯	41世帯	53世帯	29.3
り 災 人 員	74人	121人	63.5
焼 損 面 積 (建物)	1,217㎡	1,323㎡	8.7
損 害 額	104,584千円	101,219千円	△ 3.2

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間(木造一般住宅火災(市街地))(平均)
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費

124,128,933 円 ((消) 総務課)

[総括]

消防団員の安全確保のための装備品と活動用資機材の充実を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた公務活動として消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会ならびに機能別団員研修を実施し、災害対応力の向上に努めた。

また、市民に消防団の必要性について正しく理解してもらうために、各種イベントにおいて消防団員を中心に消防団PR事業を展開し、消防団に対する理解の促進を図った。各地域の分団においては、「シャッターアートプロジェクト」などの活動を通じて、自治会や地域住民との繋がりを持ち、消防団員の確保に努めた。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 116,300,516 円

[災害出動・公務活動人数]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
災 害 出 動	3,130人	2,143人	△31.5%
公 務 活 動	6,649	3,533	△46.9

(2) 消防団交付金 7,828,417 円

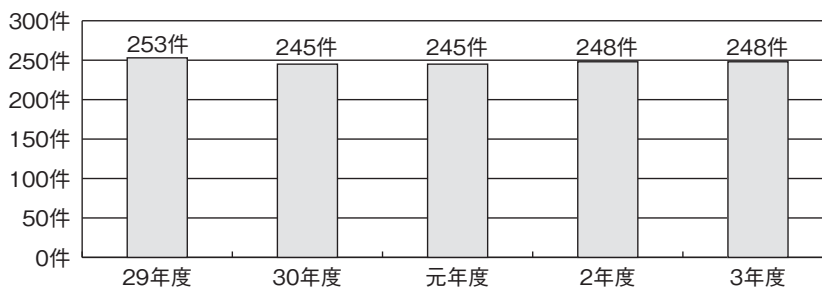
[交付金内訳]

区 分	令和2年度	令和3年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	386,017円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,754,400	6,754,400
消防はしご登り保存会交付金	0	0
計	8,242,400	7,828,417

[指 標]

指 標 名：「ほの国消防団・消防団応援事業所」の登録件数

指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	72,308,677	33,114,000	10,600,000	2,125,000	26,469,677

1 救急事業費 69,708,281 円 (消防救急課)

[総括]

救急需要の増加に伴い、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、医療機関との連携強化を進めたほか、高規格救急車を1台増車し、救急体制の強化を図った。また、新型コロナウイルス感染症に対する適切な感染防止対策を講じるため、感染防止資器材を拡充した。応急手当の普及啓発については、感染状況を鑑み適切な感染防止対策を行い各種救急講習を実施した。今後も、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 68,742,359 円

研修派遣内訳		令和2年度	令和3年度
救 急 救 命 士	救急救命士養成	2人	2人
	包括運用教育講習	3	6
	気管挿管運用試験	2	2
	薬剤投与運用試験	3	6
	処置範囲拡大追加講習	3	3
救急隊員資格取得		12	10

救急発生状況内訳		令和2年度	令和3年度	比較
急	病	9,215件	10,476件	13.7%
一	般 負 傷	1,925	2,107	9.5
交	通 事 故	907	994	9.6
労	働 災 害	159	125	△21.4
運	動 競 技	79	76	△ 3.8
加	害	42	40	△ 4.8
そ の 他		1,740	1,807	3.9
計		14,067	15,625	11.1
(内：コロナ陽性者搬送)		(64)	(341)	(5.3倍)

(2) 応急手当普及啓発事業費 965,922 円

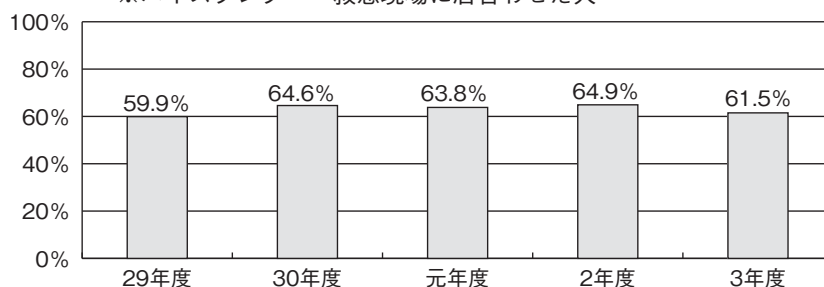
救命講習内訳		令和2年度	令和3年度	比較
応急手当指導員		46人	60人	30.4%
応急手当普及員		29	76	2.6倍
普通救命		826	1,100	33.2%
上級救命		87	52	△40.2
その他の講習		68	290	4.3倍
救命入門コース		2,215	3,203	44.6%
計		3,271	4,781	46.2

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)

指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合

※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費

2,600,396 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。また、静岡県熱海市における土石流災害に緊急消防援助隊愛知県大隊として職員を派遣し、その活動経験を踏まえ土石流災害に対する資機材の見直しを図った。今後も、発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[実績及び成果]

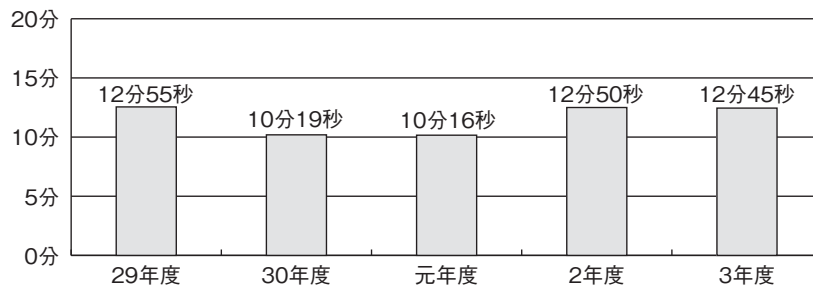
(1) 救助事業費

2,600,396 円

救助発生状況内訳		令和2年度	令和3年度	比 較
火 災	建 物 火 災	35件	28件	△20.0%
	建 物 火 災 以 外	4	6	50.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	43	43	0.0
	水 難 事 故	8	8	0.0
	自 然 災 害	0	2	皆増
	機 械 に よ る 事 故	8	7	△12.5
	建 物 等 に よ る 事 故	55	69	25.5
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	1	4	4.0倍
	破 裂 事 故	0	0	0.0%
そ の 他 の 事 故	77	97	26.0	
計		231	264	14.3

[指 標]

指 標 名：現場到着から生存者の救助完了までの時間(平均)
指標説明：救助隊の現場到着から生存者の救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の強化>	12,977,524	0	0	699,400	12,278,124

1 火災予防対策事業費 12,977,524 円 (予防課)

[総括]

住宅火災での高齢者の犠牲者を低減させるため、解体する市営住宅の住宅用火災警報器を活用し高齢者宅へ設置するリユース事業を継続実施するとともに、作成した高齢者向けの防火冊子を活用し、戸別訪問や防火教室での啓発を行った。また、火災による被害を最小限に抑えるため、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた各種研修会や防火教室、事業所への火災予防対策を実施するとともに、各種イベントを通じて、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進に努めた。

今後も引き続き高齢者を中心とした火災予防対策を推進するとともに、街頭消火器の設置等促進による初期消火体制の強化及び消防法違反対象物の是正指導を行う。

[実績及び成果]

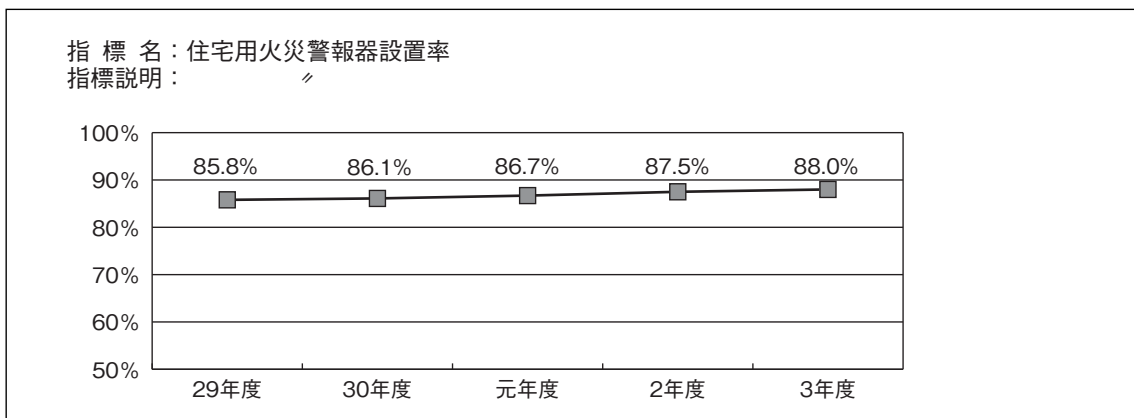
(1) 火災予防啓発事業費 8,951,924 円

啓 発 区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
啓 発 イ ベ ン ト	4回	2回	△50.0%
講 習 会	7	11	57.1
老人クラブ防火教室等	3	2	△33.3
女性防火クラブ研修等	3	6	2.0倍
少年消防クラブ防火教室等	9	22	2.4

(2) 街頭消火器設置費等補助金 4,025,600 円

補 助 内 訳	令和2年度	令和3年度	比 較
消 火 器 更 新	783件	606件	△22.6%
収 納 箱 更 新	395	171	△56.7
薬 剤 更 新	4	1	△75.0
消 火 器 新 規 設 置	29	33	13.8
火災使用薬剤詰替(街頭消火器)	6	11	83.3
火災使用薬剤詰替(一般消火器)	17	6	△64.7

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	20,259,014,743	2,851,868,003	6,655,200,000	2,271,635,640	8,480,311,100
1項 教 育 総 務 費	2,663,088,077	234,452,359	0	256,133,774	2,172,501,944
3目 豊かな学び推進費 <豊かな学びの推進>	729,442,498	72,587,000	0	10,401,314	646,454,184

1 教育諸活動支援事業費 112,531,057 円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成するため、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など、様々な教育活動の支援を行ったほか、子どもたちが郷土を心のよりどころと感じ、誇りをもって語ることができるよう、郷土学習を進めた。また、新入学児童・発達障害児童生徒のいる学校に支援員を配置することによって、子どもたちがスムーズな学校生活を送れるよう、学級担任をサポートしていく体制づくりを行った。今後も子どもたちがいきいきと学ぶことができるよう、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費 699,910 円

区 分	令和2年度	令和3年度
子ども造形パラダイス補助金	開催日 —	開催日 —
	補助金 0円	補助金 0円
子どものための科学展開催費補助金	開催日 10.31~11.29	開催日 10.30~11.30
	来場者数 7,502人	来場者数 12,671人
	補助金 195,584円	補助金 356,319円
小柴記念賞補助金	応募点数 295点	応募点数 2,742点
	補助金 316,181円	補助金 343,591円

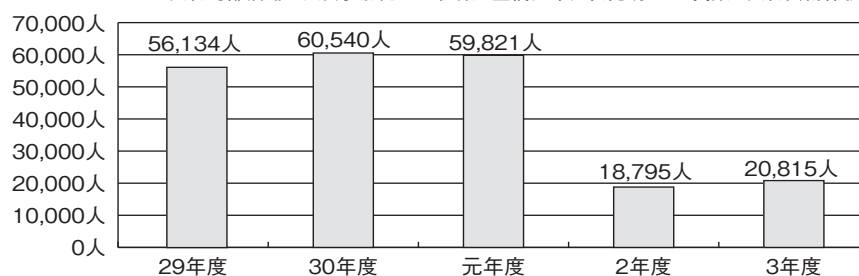
(2) 教育活動支援事業費 111,831,147 円

区 分	令和2年度	令和3年度
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員 65人	支援員 67人
体育的部活動支援事業費	10,936,664円	9,508,038円
学校体育連盟補助金	1団体 10,936,664	1団体 7,552,133
中学校東海・全国大会出場補助金	0校(0人) 0	16校(80人) 1,955,905
文化的活動支援事業費	14 433,258	31 2,533,968
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 94人 353,890	クラブ員 81人 400,000
文化芸術体験推進事業費	参加児童生徒1,561 946,320	参加児童生徒 0 196,780
中学校部活動指導者派遣事業費	部活動指導者 5 1,288,800	部活動指導者 7 1,345,800

[指標]

指標名：教育諸活動支援事業参加者数

指標説明：子ども造形パラダイス出品児童生徒数+小学生のコンサート参加児童数+中学校合唱フェスティバル参加生徒数+子どものための科学展来場者数+小柴記念賞応募点数+市内体育大会参加児童生徒数+中学校東海・全国大会出場者数+文化的部活動の大会参加児童生徒数+豊橋少年少女発明クラブ員数+文化芸術体験推進事業参加児童生徒数



2 生徒指導対策事業費

3,286,640 円（学校教育課）

[総括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことと、いじめを一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費

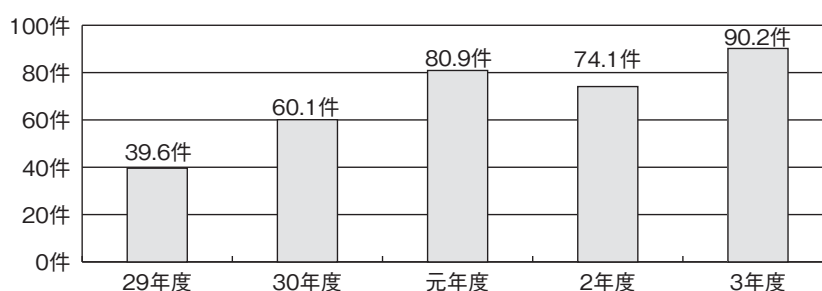
3,224,020 円

区分	令和2年度	令和3年度
生徒指導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進路指導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指標]

指標名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数

指標説明：いじめの認知件数及び暴力行為の発生件数/小中学校数(74校)



3 授業・学習支援事業費

28,891,980 円（学校教育課）

[総括]

子どもたちへの効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を行った。また、28名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も子どもたちの豊かな学習環境の充実のため、教員のニーズを把握し、センターの機能を有効に活用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 授業・学習支援センター推進事業費 5,010,066 円

学校貸出冊数	令和2年度	令和3年度
	10,647冊	8,497冊

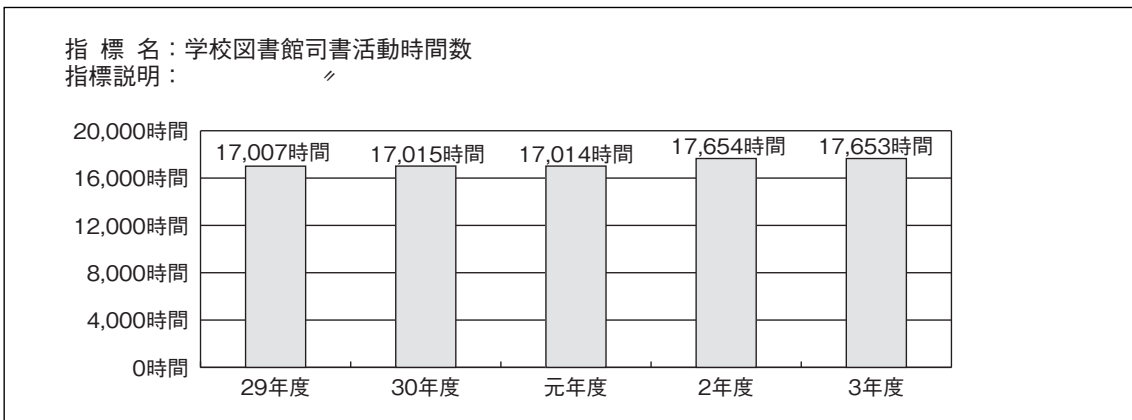
(2) 学校図書館活動推進事業費 23,749,100 円

司書配置	令和2年度	令和3年度
	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)	28名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当18名、2校担当10名)

(3) 小・中学校読書活動推進事業費 132,814 円

図書購入	令和2年度	令和3年度
	127冊	71冊

[指標]



4 学力・体力向上推進事業費

26,745,861 円（学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、小学校の高学年において教科担任制を実施し、子どもの発達段階に応じ、専門性を活かしたより質の高い授業を提供した。また、スポーツトレーナーを小学校に派遣し、体育の授業において、健康的な体づくりやスポーツにおける正しい動きづくりのアドバイスを行った。

[実績及び成果]

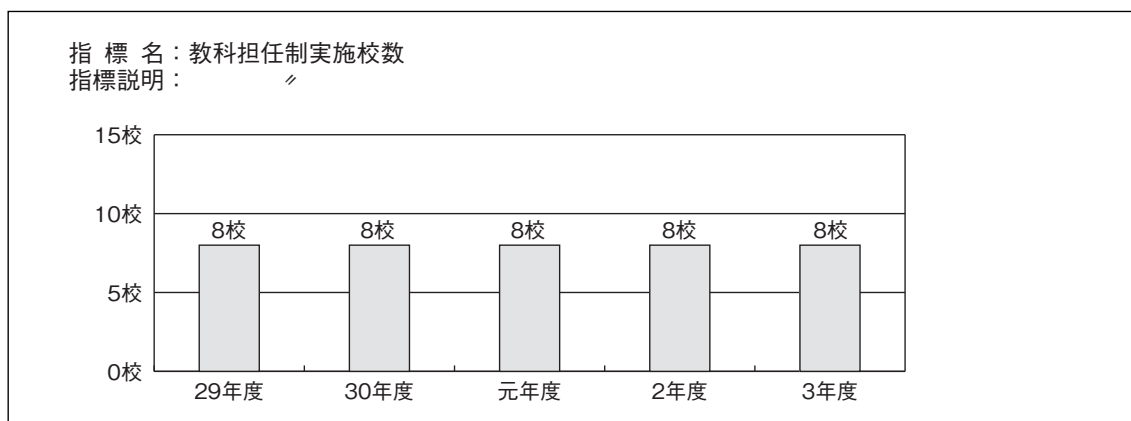
(1) 学力向上支援事業費 26,355,141 円

教科担任の非常勤講師人数	令和2年度	令和3年度
	7人	5人

(2) 体力向上支援事業費 390,720 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	スポーツトレーナーを小学校(7校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施	スポーツトレーナーを小学校(14校)に派遣 体育の授業や体力テスト練習時における健康的な体づくりや正しい動きづくりへの指導の実施 「学校保健委員会」での講話の実施

[指 標]



5 学びの連携推進事業費 68,695 円 (教育政策課・学校教育課)

[総 括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、令和4年度に小中一貫教育を導入する中学校区において、目ざす子ども像や方策を地域の特色に合わせて設定し、次年度の導入に向けた準備を進めた。また、異校種間における教育活動の連携と系統化を図るため、授業参観や情報交換など異校種の学習内容や指導方法の共有を図った。

[実績及び成果]

(1) 学びの連携推進事業費 68,695 円

(ア) 小中一貫教育推進事業費

小中一貫教育を導入した中学校区数	令和2年度	令和3年度
	2校	2校

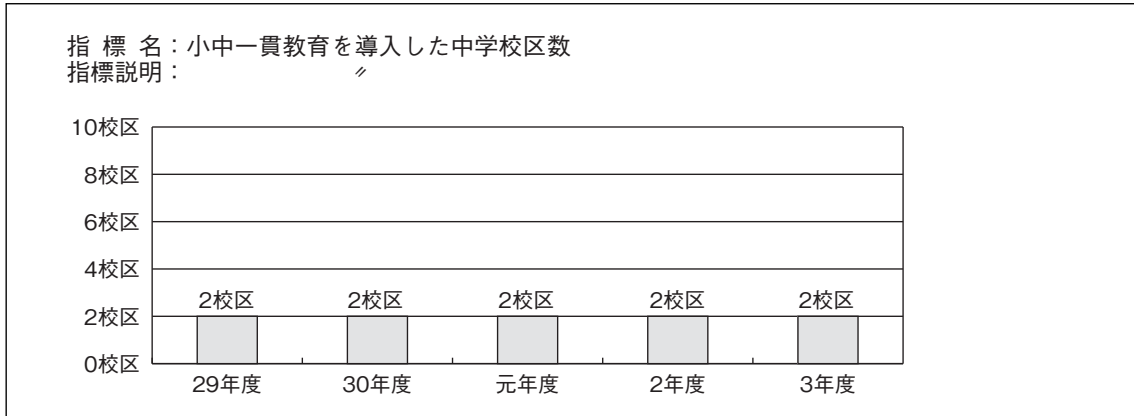
(イ) 小中高特連携教育推進事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(3回) 理科学教育分科会(3回) 特別支援教育分科会(3回) 言語能力分科会(3回)	小中高特連携教育推進協議会(2回) 英語教育分科会(4回) 理科学教育分科会(4回) 特別支援教育分科会(4回) 言語能力分科会(3回)

(ウ) 幼年期教育研究事業費

内 容	令和2年度		令和3年度	
	幼年期だよりの発行(4回) 年長児就学先調査の実施			幼年期教育研修会の開催 幼年期だよりの発行(4回) 小学校紹介DVDの作成 年長児就学先調査の実施

[指 標]



6 国際理解教育推進事業費 128,113,489 円 (学校教育課)

[総 括]

「英語」及び「外国語活動」の授業への人的支援として、英語スクールアシスタント(SA)や外国人英語指導員(ALT)を派遣した。小学校では学級ごとに、3・4年生にはSAと年間20時間、5・6年生にはALTと年間35時間の協働授業を行った。中学校では学級ごとに、ALTと年間30時間協働授業を行い、子どもたちの英語への関心・意欲を高めることができた。八町小学校の「イマージョン教育コース」では、日本人教員と外国人指導員によるチーム・ティーチングにより、英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図った。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小・中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 128,113,489 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	令和2年度		令和3年度	
		74校	24人	74校

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	令和2年度		令和3年度	
		52校	延 4,577時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	2日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	0日間

(オ) スーパー英語チャレンジ費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	2日間

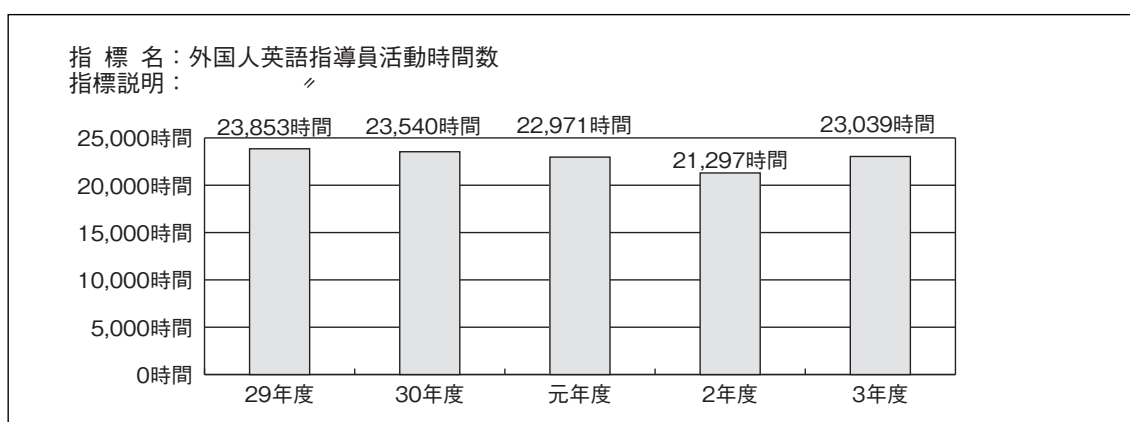
(カ) トリードスーパーイングリッシュキャンプ費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		0日間	0人	0日間

(キ) イマージョン教育推進費

内 容	令和2年度		令和3年度	
		1校	96人	1校

[指 標]



7 情報教育推進事業費 327,967,386 円 (学校教育課)

[総 括]

情報・通信の技術を積極的に活用していくことが求められるなか、情報教育を通じて子どもたちにコンピュータの技能を身につけさせるとともに、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。さらに、「とよはし版GIGAスクール」を推進するため、ネットワーク環境を強化し、児童生徒全員に1台ずつ配備されたタブレット型端末を活用した多様な学習活動を実施した。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) コンピュータ活用事業費 327,967,386 円

(ア) 小学校コンピュータ活用事業費 234,032,421 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	24,777台	1,481,566,100円	24,777台	173,804,257円
コンピュータネットワークシステム費		27,113,665		55,024,775
学校図書館管理用コンピュータ費	52	10,676,492	52	5,203,389

(イ) 中学校コンピュータ活用事業費 93,538,965 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学習用コンピュータ・タブレット費	12,589台	720,727,576円	12,589台	70,303,296円
コンピュータネットワークシステム費		10,314,769		21,062,458
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,516,980	22	2,173,211

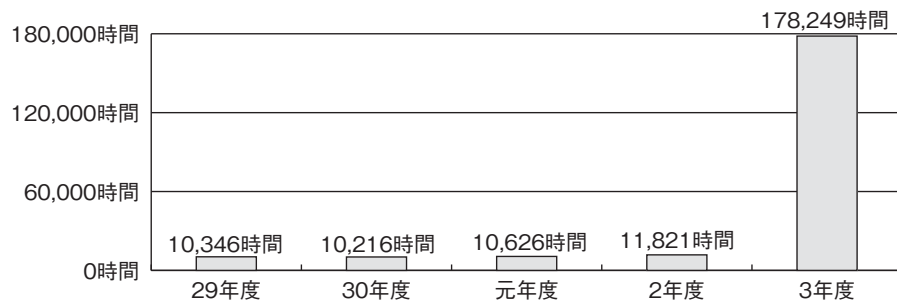
(ウ) 分身ロボットを活用した教育支援の実施 396,000円

区 分	令和2年度	令和3年度
分身ロボットによる支援費	1台 396,000円	1台 396,000円

[指 標]

指 標 名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数

指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育環境充実費 ＜教育環境の充実＞	226,929,769	7,399,060	0	2,940,000	216,590,709

1 私学振興事業費 25,527,700円 (教育政策課)

[総括]

私立学校等の運営の円滑化及び教育環境の向上をめざし、学校規模に応じた運営費の補助を行った。また、私立学校に通う生徒の就学を支援するため、県の制度改正に合わせ、授業料に対する市独自の上乗せ助成額を増額することにより、家庭の教育費負担のさらなる軽減を図った。今後も国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した施策を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,059,000円

区 分	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,247人	6,247,000円	3,226人	6,226,000円
外国人学校(3校)	344	2,844,000	333	2,833,000
計	3,591	9,091,000	3,559	9,059,000

(2) 私立高等学校等支援事業費 16,468,700円

(ア) 私立高等学校授業料補助金 15,568,200円

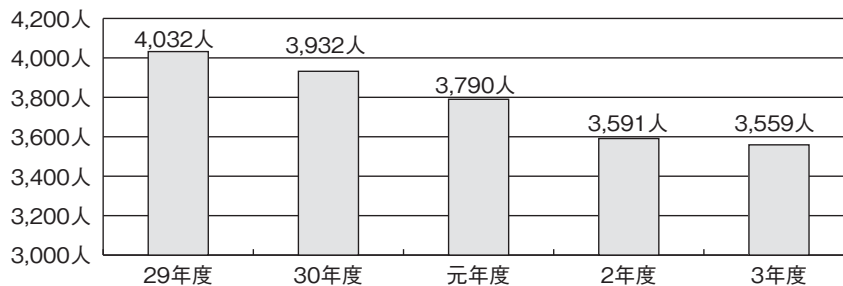
内 容	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	1,913人	18,840,700円	1,634人	15,568,200円

(イ) 私立専修学校等授業料補助金 690,000円

内 容	令和2年度		令和3年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	51人	504,000円	56人	690,000円

[指標]

指標名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



2 奨学支援事業費

10,462,700 円（教育政策課）

[総括]

経済的に困難を抱えながらも夢の実現に向けて努力する学生を応援するため、令和3年度は返済不要の奨学金「豊橋市未来応援奨学金」を、34人に対して給付し、将来を担う若者の進学を後押しした。今後も国の奨学金制度の動向などを踏まえながら、必要な支援を行っていく。

[実績及び成果]

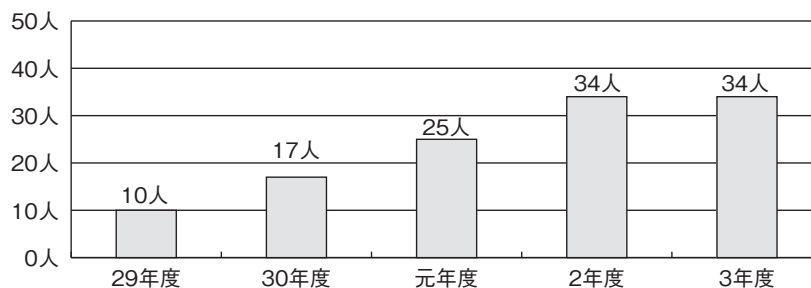
(1) 奨学金給付事業費

10,462,700 円

受給者数	令和2年度	令和3年度
	34人	34人

[指標]

指標名：豊橋市未来応援奨学金の受給者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	95,624,670	376,873	0	1,020,000	94,227,797

1 現職研修事業費 3,525,007 円 (学校教育課)

[総括]

小中学校における今日的課題や将来にわたる課題の解決に向けて研究し、成果を公開発表する研究指定校や、各校それぞれの課題について組織的・計画的に実施する現職研修に対して支援を行い、教育活動に活かすとともに、教職員の力量向上を図った。今後もより良い教育活動の展開のため、研究や研修への支援を行っていく。

[実績及び成果]

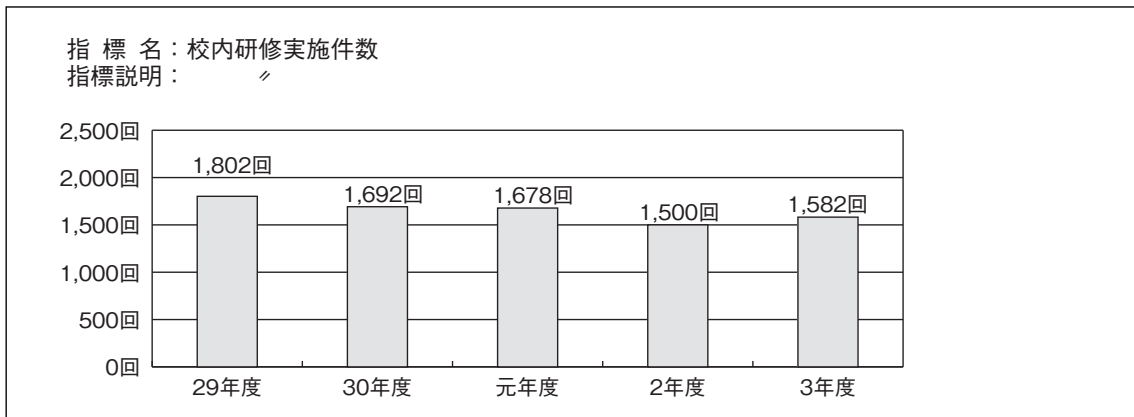
(1) 指定校研究費補助金 1,199,336 円

区 分	令和2年度	令和3年度
指 定 校	9校	9校
補 助 金	1,198,782円	1,199,336円

(2) 現職研修委員会補助金 1,948,798 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ブ ロ ッ ク 研 修	12ブロック	12ブロック
研 究 部 等 研 修	38研究部	38研究部
基 本 研 修	298人	2,819人
補 助 金	1,513,327円	1,948,798円

[指標]



2 教育会館管理運営事業費 92,099,663 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い、学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,793,690 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 6,932人	延 10,204人	47.2
一 般 施 設 利 用 者 数	延 4,032	延 4,554	12.9
計	延 10,964	延 14,758	34.6

[各種活動]

区 分	令和2年度	令和3年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	0時間 参加人員 0人	66時間 参加人員 623人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 255本	映像教材貸出 601本

(2) 教職員研修事業費 6,042,863 円

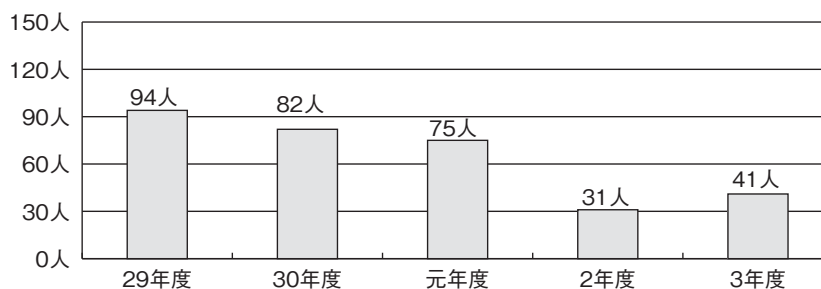
区 分	令和2年度	令和3年度
基 本 研 修	66回 参加人員 1,893人	94回 参加人員 2,819人
職 務 研 修	41 〃 1,428	61 〃 2,328
課 題 ・ 専 門 研 修	6 〃 432	33 〃 2,711
社 会 連 携 研 修	0 〃 0	1 〃 97

(3) 教員免許状更新講習事業費 960,663 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	12講座 受講人員 189人	19講座 受講人員 203人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくり>	4,433,123	0	0	0	4,433,123

1 学校づくり推進事業費 4,269,713円 (学校教育課)

[総括]

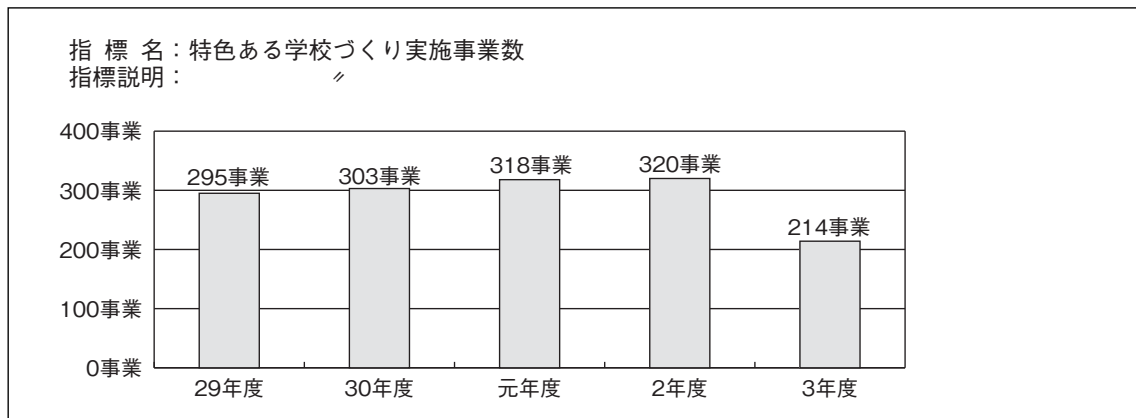
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、子どもたちや地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 4,269,713円

区 分	令和2年度		令和3年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	26校	参加校	33校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	7,982,304円	74校	4,269,713円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育活動支援費 <個の特性に寄り添った教育の推進>	219,725,895	47,298,000	0	300,000	172,127,895

1 教育相談事業費 207,685,480円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導に加え、日本語指導が必要な児童生徒の適応支援や初期日本語集中指導を実施するなど、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒の教育にかかわる問題について、教育相談員や臨床心理士等がそれぞれの専門的立場で連携して教育相談を実施するとともに、スクールソーシャルワーカーが関係機関や関係者と連携し、児童生徒や保護者が置かれた環境に働きかけた。その他、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や市内に3か所開設しているほっとプラザの運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 117,828,545円

区 分	令和2年度	令和3年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 2,838件	相談件数 2,839件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 13人 学校巡回 14	学校常駐 13人 学校巡回 14
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,879時間	延 4,766時間
登録バイリンガルボランティア	延 1,597.5	延 1,694.0

(2) 教育相談活動事業費 37,175,736円

区 分	令和2年度	令和3年度
スクールソーシャルワーカー	相談件数 4,049件	相談件数 5,229件
教 育 相 談 員 (学校訪問、にじの子相談等)	〃 5,086	〃 5,197
心 理 カ ウ ン セ ラ ー	〃 898	〃 797
心 理 判 定 員	〃 467	〃 477
メンタルフレンド	派遣回数 104回	派遣回数 169回

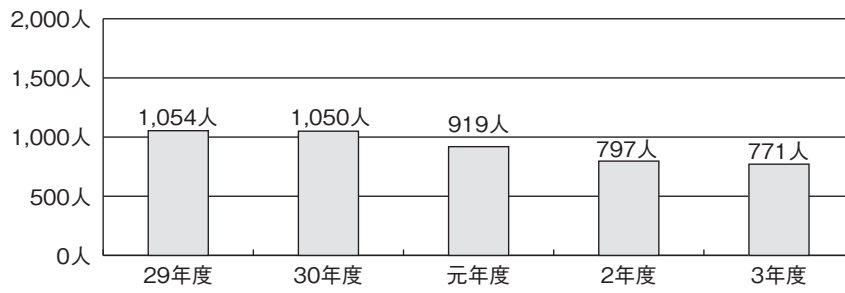
(3) 不登校対策支援事業費 52,681,199円

区 分	令和2年度	令和3年度
とよはしほっとプラザ活動事業費	3か所 181日 延 3,444人	3か所 191日 延 3,698人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 14	非常勤講師 15
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8・10月 2回	担当者学習会 4・8・10月 3回
	補助金 116,920円	補助金 101,230円

[指 標]

指 標 名：教育相談員 1 人当たりの児童生徒数

指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 市立学校教育活動推進費 〈個の特性に寄り添った教育の推進〉	463,636,567	78,455,976	0	52,937,574	332,243,017

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 232,534,083円 (教育政策課)

[総括]

ハローワークをはじめとした関係諸機関・企業との連携を強化するとともに、引き続き学校内にある農業実習施設「和(なごみ)ハウス」での農作業実習や企業等での体験学習など就労支援体制の充実を図ったことにより、多数の産業科の卒業生が一般就労することができた。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能を持つ「くすのき相談センター」では、関係機関と連携しながら相談事業を進めている。今後も、すべての子どもたちが自立し、地域社会でたくましく生きることができるよう、教育環境の向上とともに、就労支援に重点を置いた学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 151,595,994円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	49学級	50学級
児 童 ・ 生 徒 数	267人	271人

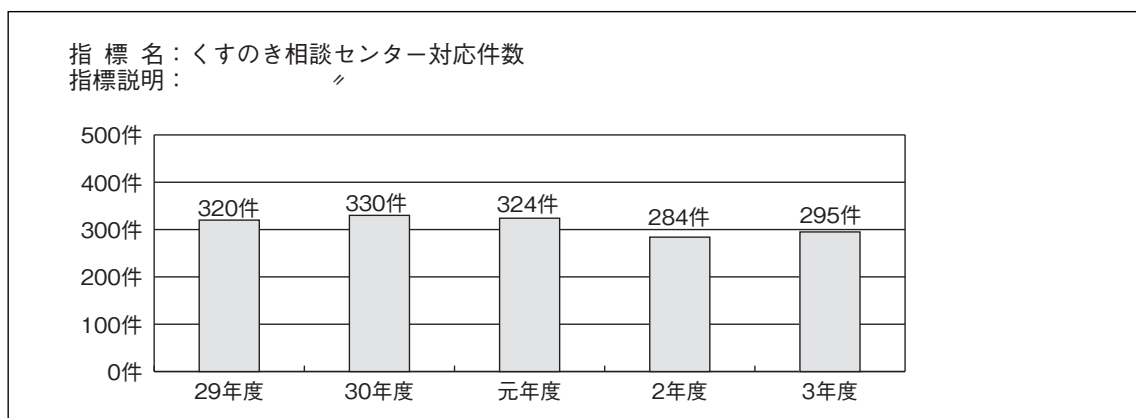
[施設整備]

内 容	令和2年度	令和3年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 71,207,408円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	1,695冊		1,984冊	
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	125台	6,295,575円	127台	8,849,775円
企業向け学校見学会実施回数	0回		1回	
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	0		1	
就労支援におけるサテライト実習実施回数	8		6	

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 144,711,114 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、学習用タブレット端末 134 台を設置するなど、環境整備に努めた。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 19,276,035 円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	651人	637人

〔施設整備〕

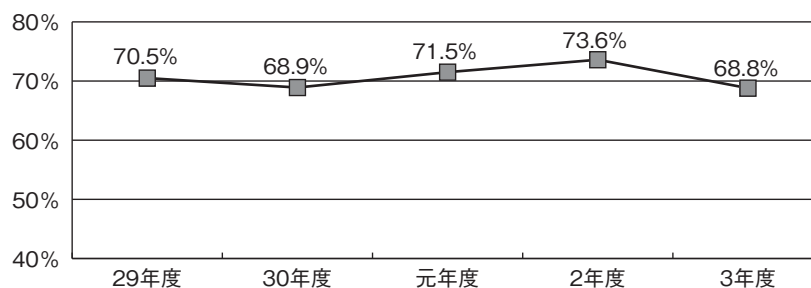
内 容	令和2年度	令和3年度
	防球ネット柱の更新 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 85,370,601 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
学 校 図 書 館 蔵 書 数	6,008冊		6,072冊	
定時制教育教科書給与費	13人	56,678円	15人	77,726円
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	42台	2,543,712	42台	1,668,216
心理カウンセラー相談開催日数	74日		76日	
キャリア教育実施回数	9回		6回	
外国人生徒教育支援日数	223日		236日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業生数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 86,391,370 円（教育政策課）

〔総括〕

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育活動を展開した。進路指導においては、生徒一人ひとりの個性や将来に対する夢を尊重したきめ細かい支援を行い、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組み、学校生活や進路選択での不安や悩みへの対処のみならず、自己理解やコミュニケーションスキルの向上に取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 2,890,140 円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	107人	96人

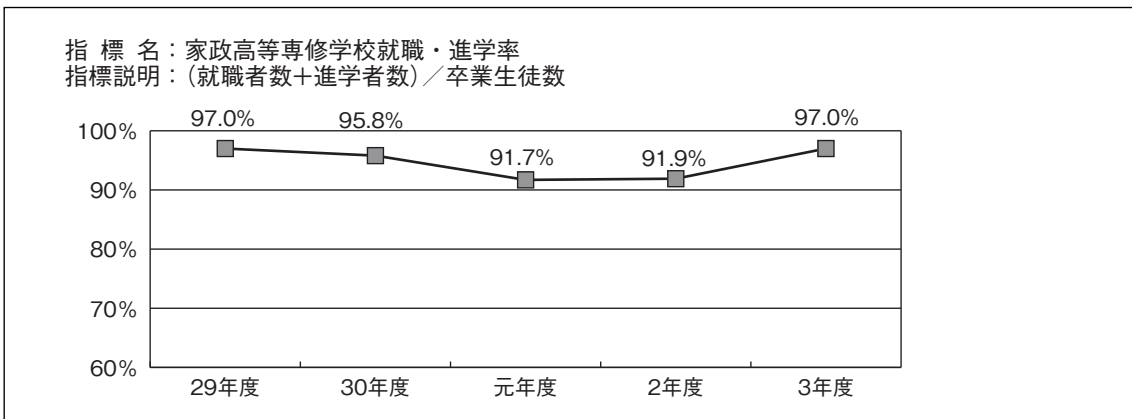
〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 24,676,516 円

区 分	令和2年度	令和3年度
学校図書館蔵書数	2,675冊	2,720冊
学習用コンピュータ費	41台 2,252,600円	41台 2,290,200円
心理カウンセラー相談開催日数	24日	24日
キャリア教育実施回数	6回	10回

〔指標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 自然史博物館費 ＜自然史博物館の充実＞	208,249,611	11,681,450	0	13,453,039	183,115,122

1 自然史博物館事業費 143,561,525 円 (自然史博物館)

[総括]

自然についての正しい知識を深め、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組んだ。大型映像では「ウォーキング with ダイナソー！」等の上映、ワークショップ、解説会、企画展等の教育普及活動を実施するとともに、特別企画展「地球は昆虫であふれている」を開催した。今後も博物館としての魅力向上につながる事業を実施していく。

[実績及び成果]

(1) 教育普及活動事業費 39,953,349 円

区 分	令和2年度	令和3年度
ワークショップ等	18回 参加人員 474人	26回 参加人員 769人
出前授業等	71 〃 1,918	65 〃 1,848
大型映像	762 観覧者数 27,043	810 観覧者数 29,719
企 画 展	「新蔵資料/学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 98,818人 7.18～8.30 (39日間) 「骨を愛でるⅡ～のんほいパークの至宝展～」 〃 83,711 9.12～10.4 (20日間) 「第16回自然史博物館自由研究展」 〃 73,890 10.31～11.29 (27日間) 「干支展 丑」 〃 38,085 12.19～1.17 (26日間) 「地球の時間、ヒトの時間-アト秒から46億年までの35桁の物語-」 〃 78,292 2.20～3.28 (32日間)	「新蔵資料/学芸員の研究成果紹介展」 会期中の入館者数 77,902人 4.17～5.23 (33日間) 「第17回自然史博物館自由研究展」 〃 65,152 11.6～11.28 (20日間) 「干支展 寅」 〃 55,461 12.18～1.16 (23日間) 「美しい砂の世界-日本の砂、世界の砂、地層の砂-」 〃 60,447 2.19～3.20 (26日間)

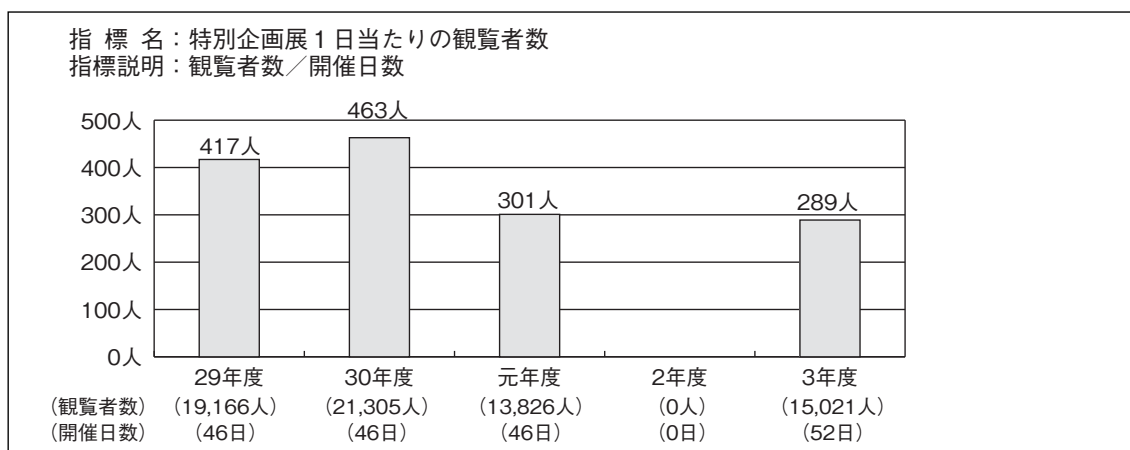
(2) 調査研究活動事業費 7,032,185 円

区 分	令和2年度	令和3年度
博物館資料	製作委託 鳥類等の剥製骨格標本製作 8点	鳥類等の剥製骨格標本製作 13点
	採集・寄贈 1,383点 (総数 554,757点)	30,962点 (総数 585,719点)
	図書等 898冊 (総数 44,907冊)	1,480冊 (総数 46,328冊)
研究発表(調査研究)	35.5件	59.0件

(3) 特別企画展開催事業費 7,092,613 円

区 分	令和2年度	令和3年度
特 別 企 画 展	—	「地球は昆虫であふれている」
	—	7.9～9.5 (52日間)
	—	展示数2,000点 観覧者数15,021人
関 連 行 事	—	1. 記念講演会①「害虫との戦いや 虫ケア用品(殺虫剤)の開発」 参加人員 40人
		2. 記念講演会②「希少昆虫の守り方」 〃 28
		3. 記念講演会③「昆虫がヤバイ」 〃 —
		4. ワークショップ「夜の動物園で 昆虫を観察しよう」 〃 34

[指 標]



2 自然史博物館施設管理事業費 64,208,044 円 (自然史博物館)

[総 括]

新型コロナウイルス感染症対策事業の一環としてガラパゴス物語展示室などの空調取替修繕を行った。また、標本などを適正に管理・保管するため、取蔵庫の標本棚の増設や滅菌装置の修繕などを行った。今後も入館者サービス向上のため、設備・展示物等の更新を含め適正な施設管理を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 64,208,044 円

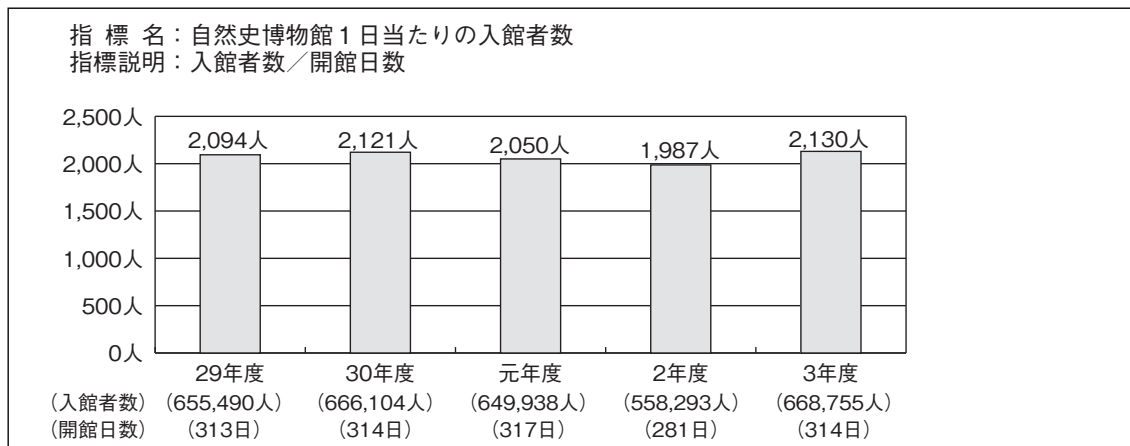
[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	281日	314日	11.7%
入 館 者 数	延 558,293人	延 668,755人	19.8

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	恐竜劇場プロジェクター、防災設備 修繕	ガラパゴス物語展示室、化石を知る コーナー、講堂前廊下空調取替修繕

〔指 標〕



3 石巻自然科学資料館運営事業費 480,042 円（自然史博物館）

〔総 括〕

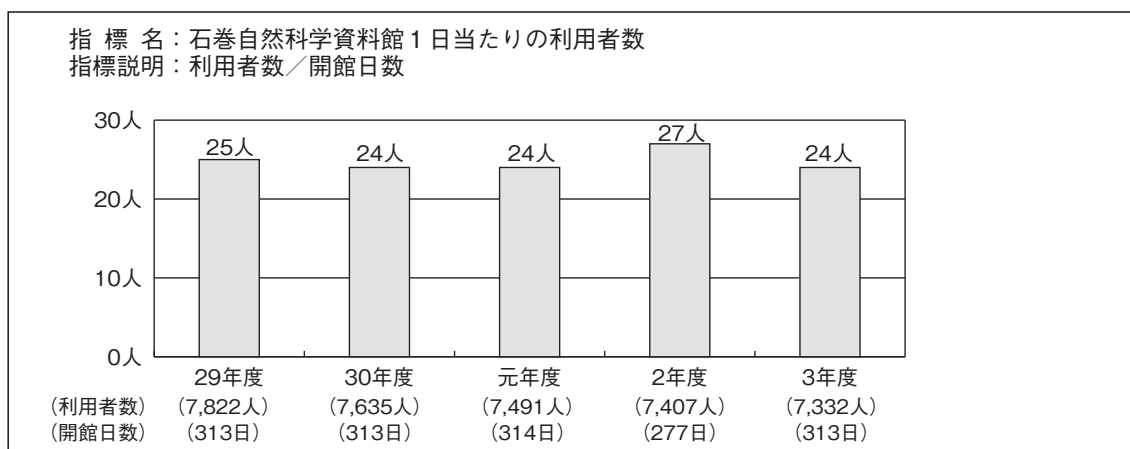
石巻山周辺の自然を観察するためのビジターセンターとして、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 480,042 円

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	277日	313日	13.0%
利 用 者 数	延 7,407人	延 7,332人	△ 1.0

〔指 標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10目 科学教育センター費 <科学教育センターの充実>	98,762,233	16,654,000	0	3,851,027	78,257,206

1 科学教育センター事業費 61,080,737 円 (科学教育センター)

[総括]

視聴覚教育センターでは、小学校4年生を対象とした実験学習、プラネタリウム学習などを感染症対策を徹底して全校を対象として実施したほか、わかば議会の提案事業である「コラボしてラボしよう!」を先輩若者委員と共に実施して理科好きな子どもたちの育成を図った。また、とよはし科学月間(11月)では、目玉企画として開催した「科学捜査展」が好評であった。従来の企画展とは異なる視点・分野をテーマにしたことで、これまで視聴覚教育センター・地下資源館に来たことのない新たな来館者を掘り起こすことができた。今後も新たな生活様式に対応しながら、サイエンス・ボランティア等と協働し、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を通して、科学を学ぶ機会の充実を図っていく。

(1) 視聴覚教育センター事業費 21,513,377 円

[各種活動]

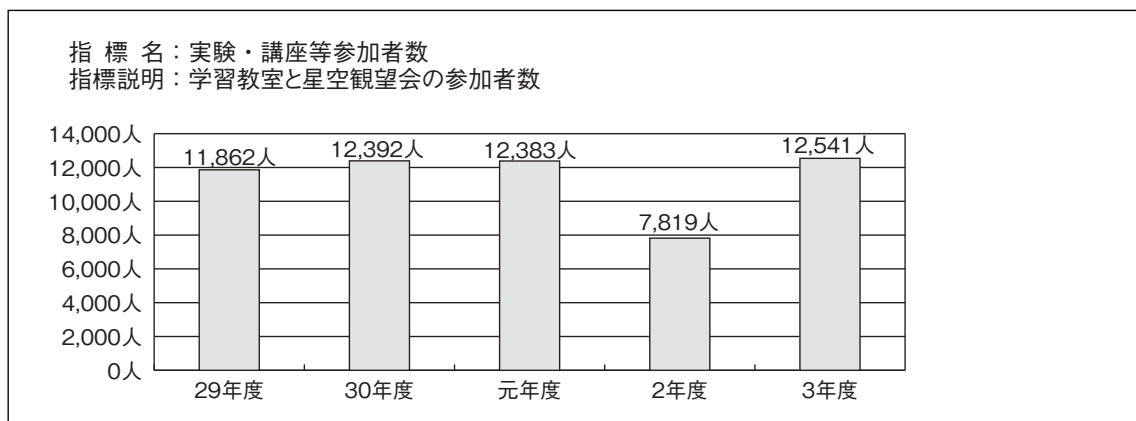
区 分	令和2年度		令和3年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	9月~11月	参加人員 1,853人	6月~10月	参加人員 3,559人
プラネタリウム投映	663回	観覧者数 15,123	821回	観覧者数 22,593
学 習 教 室	6月~2月(30回)	参加人員 706	4月~3月(72回)	参加人員 1,583
星 空 観 望 会	6月~3月(10)	〃 713	5月~3月(8)	〃 273
展 示 会	4月~3月(5)	入場者数139,288	4月~3月(7)	入場者数104,263

(2) 地下資源館事業費 3,356,321 円

[各種活動]

区 分	令和2年度		令和3年度	
学 習 教 室	6月~3月(256回)	参加人員 6,400人	4月~3月(461回)	参加人員10,685人
小学生サイエンス アイデア作品展	9.19~11.8(44日間) 展示点数260点 入場者数11,404		10.1~11.30(52日間) 展示点数479点 入場者数17,951	
企 画 展	4月~8月	〃 18,210	10月~11月	〃 12,464
	11月~3月	〃 19,018		
展 示 会	—		10月~3月(1回)	〃 33,841

[指標]



2 科学教育センター施設管理事業費 37,681,496 円（科学教育センター）

〔総括〕

上下水道局や環境部の協力を得て、豊橋市のエネルギー施策を紹介する展示の改修を行ったほか、プラネタリウム室冷暖房設備など老朽化した施設の修繕を行った。今後も教育環境の計画的な整備を行い、視聴覚教育センター・地下資源館の利用促進を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 視聴覚教育センター施設管理事業費 29,923,908 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
入 館 者 数	延 54,759人	延 78,903人	44.1

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	移動式プラネタリウムの導入、展示室出入り口扉修繕、受変電設備機器の修繕	プラネタリウム室冷暖房設備修繕、2階防火シャッター取替修繕、講堂南面サッシ防水修善

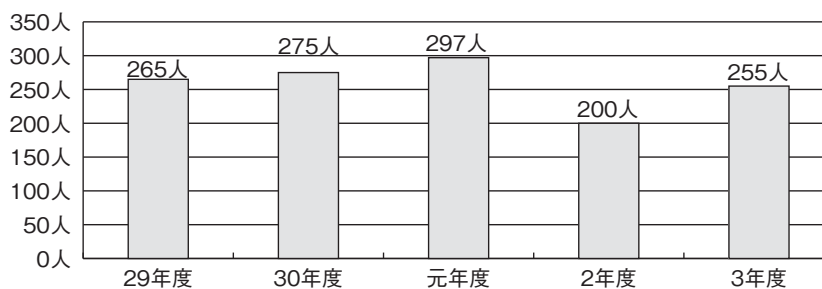
(2) 地下資源館施設管理事業費 7,757,588 円

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	エントランス屋根防水修繕、展示ケース照明器具修繕	展示室他パネル修繕、屋外コンクリート擁壁修繕

〔指 標〕

指 標 名：1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	3,943,131,281	730,496,309	1,502,600,000	175,582,520	1,534,452,452
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	3,943,131,281	730,496,309	1,502,600,000	175,582,520	1,534,452,452

1 小学校管理事業費 373,952,700円 (教育政策課)

[総括]

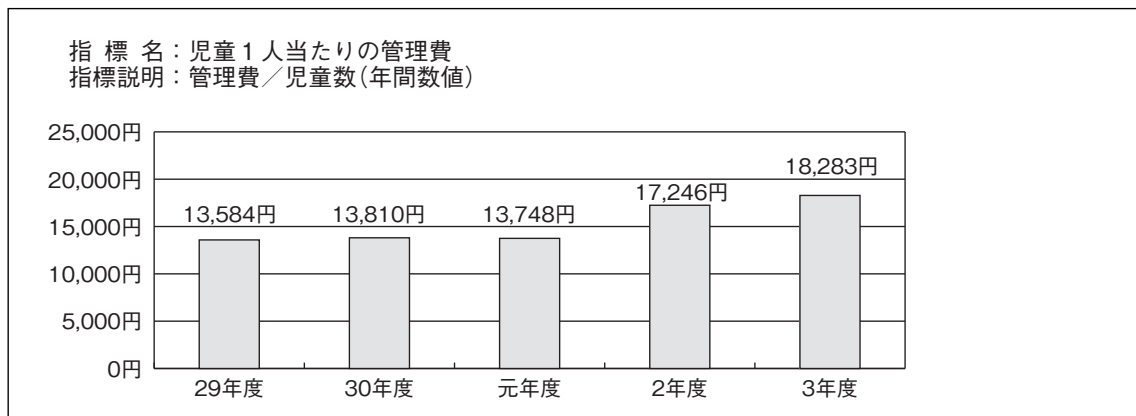
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 373,952,700円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	851学級	852学級
児 童 数	20,743人	20,454人

[指標]



2 小学校教育推進事業費 321,757,731円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

児童の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が児童と向き合う時間の確保を図った。また、国の補助制度を活用し、感染症対策を徹底しながら学習活動を継続するために必要な備品等を購入した。今後も更なる教育環境の向上に向けて取組みを進めていく。

[実績及び成果]

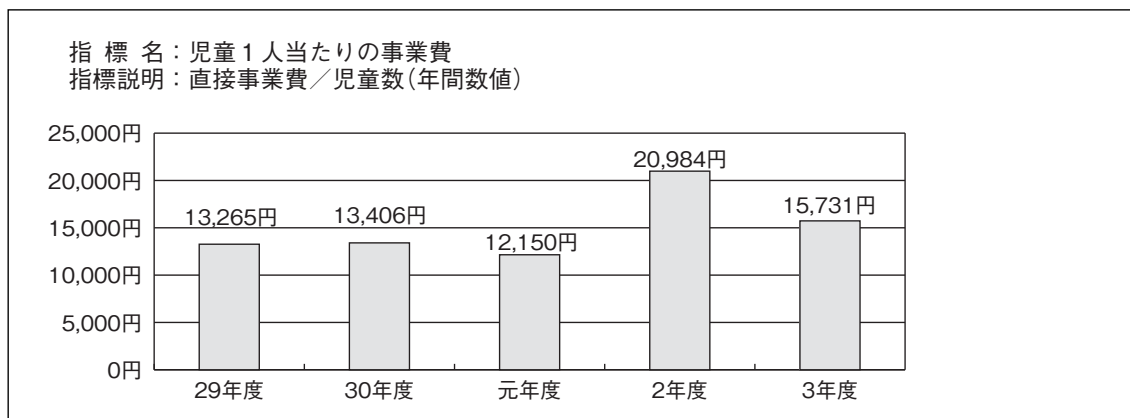
(1) 教育活動事業費 235,655,398円

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	479,422冊	483,967冊
理科教育設備整備事業実施校数	18校	18校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 86,102,333 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
校務用コンピュータ費	1,308台	45,485,539円	1,308台	44,791,224円
校務支援システム費	1,308	41,293,609	1,308	41,311,109

[指 標]



3 小学校校舎等増改築事業費 588,840,730 円 (教育政策課)

[総 括]

八町小学校では、イマージョン教育開始に伴う児童数増加による学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するため、校舎長寿命化改良工事、プール解体工事及び校舎増築工事を行った。

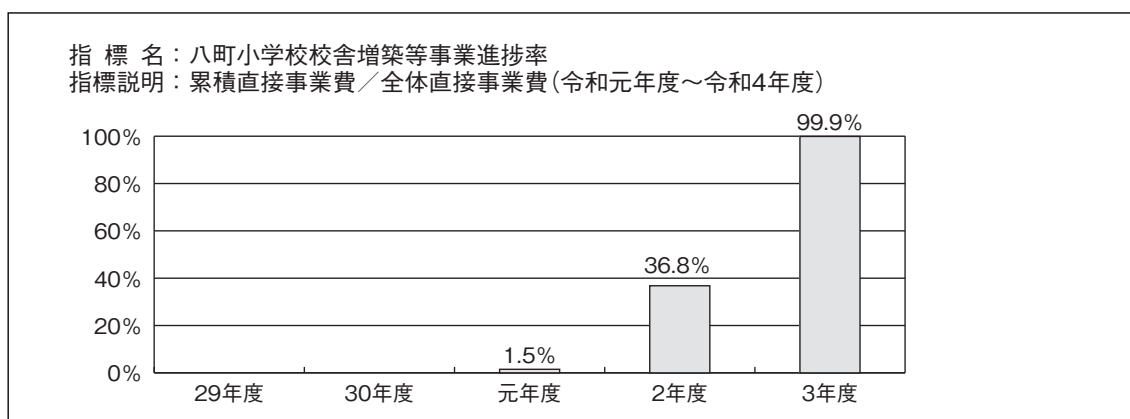
[実績及び成果]

- (1) 八町小学校校舎増築等事業費 588,840,730 円
- (ア) 校舎長寿命化改良工事 372,889,830 円
- 3 年継続事業の最終年度 総事業費 608,839,880 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	3,201㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 33,524,700 円
- (ウ) 校舎増築工事 182,426,200 円

[指 標]



※令和 3 年度の全体事業費にて、元年度から再算定

4 小学校校舎等長寿命化改良事業費 1,877,491,423 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、東田小学校はじめ6校の校舎及び羽根井小学校はじめ2校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 東田小学校校舎改良事業費 288,970,420 円
 (ア) 北校舎長寿命化改良工事 231,715,420 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 633,300,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,373㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 57,255,000 円
 (2) 幸小学校校舎改良事業費 260,488,740 円
 (ア) 中校舎長寿命化改良工事 179,086,320 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 448,700,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	2,544㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借等 81,402,420 円
 (3) 芦原小学校校舎改良事業費 269,745,333 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 218,584,333 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 621,800,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,562㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 51,161,000 円
 (4) 鷹丘小学校校舎改良事業費 263,881,570 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 213,761,500 円
 3か年継続事業の2年度 総事業費 584,000,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,038㎡	外部・内部改修

- (イ) 仮設校舎の賃借 50,120,070 円

- (5) 岩西小学校校舎改良事業費 166,309,000 円
 (ア) 校舎長寿命化改良工事 164,164,000 円
 4 か年継続事業の2年度 総事業費 1,026,600,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建(北校舎) 鉄筋コンクリート造3階建(中校舎)	2,066㎡ 2,432㎡

- (イ) コンクリート強度等調査委託業務 2,145,000 円
 (6) 向山小学校校舎改良事業費 280,952,650 円
 (ア) 北校舎長寿命化改良工事 237,719,350 円
 3 か年継続事業の2年度 総事業費 642,500,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		校舎 鉄筋コンクリート造3階建	3,782㎡

- (イ) 仮設校舎の賃借 43,233,300 円
 (7) 羽根井小学校屋内運動場改良事業費 192,756,410 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 191,753,210 円

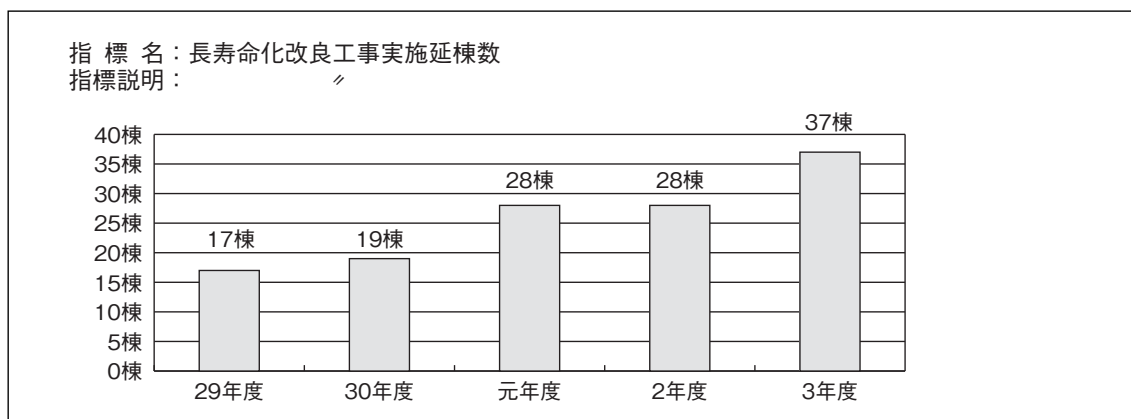
内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	837㎡

- (イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,003,200 円
 (8) 杉山小学校屋内運動場改良事業費 154,387,300 円
 (ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 153,334,500 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
		屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	641㎡

- (イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,052,800 円

[指 標]



5 小学校環境整備事業費

390,577,370 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、6校で校舎外壁等改修工事を実施したほか、2校においてトイレ大規模改造工事を行った。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

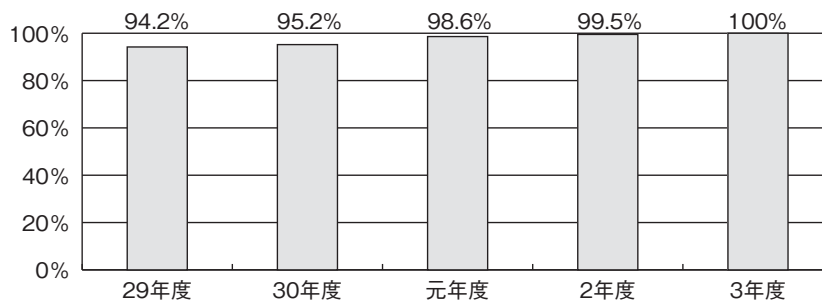
[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令和3年度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	322,050,867円		
トイレ大規模改造工事	3校	2校	花田、二川
校舎外壁等改修工事	—	6	福岡、多米、栄、前芝、小沢、二川
電気設備改修工事	4	4	老津、賀茂、津田、大清水
校舎内装等改修工事	2	1	二川
校舎等アスベスト調査委託	—	11	羽根井、牟呂、二川、老津、松山、野依つつじが丘、向山、幸、大清水、東田
計	9	24	
(2) 運動場等整備事業費	9,340,658円		
樹木整備工事等	—校	1校	下地
フェンス改修工事	—	1	津田
(3) 一般補修事業費	59,185,845円		
	52校	52校	全校

[指標]

指標名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率) / 4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889
1目 教育環境整備費 <教育環境の充実>	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889

1 中学校管理事業費 249,653,679円 (教育政策課)

[総括]

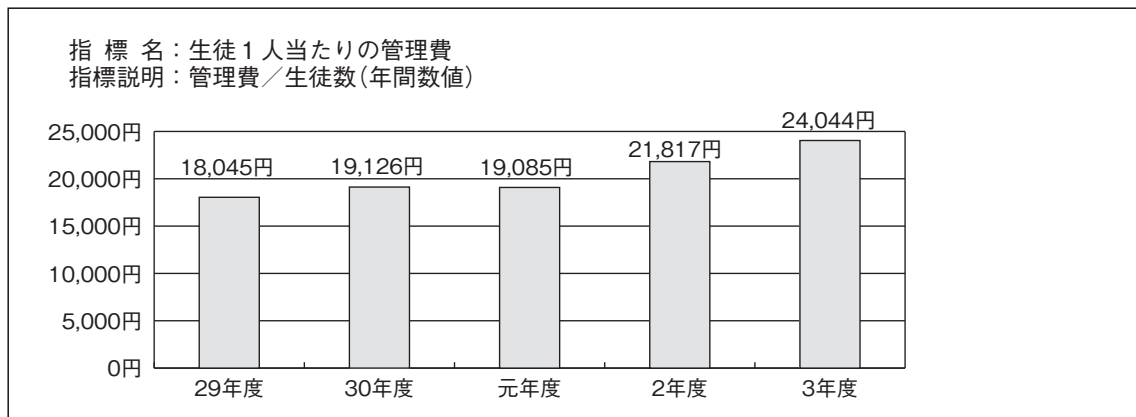
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。また、「楽器寄附ふるさと納税」を活用し、全国から家庭等で使用されなくなった楽器の寄附を受け入れることで中学校の音楽活動を支援した。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算に導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 249,653,679円 (5月1日現在)

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	356学級	364学級
生 徒 数	10,323人	10,383人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 187,565,948円 (教育政策課・学校教育課)

[総括]

生徒の情報資産を高いセキュリティ環境下で一元管理できる校務支援システムの運用を、豊橋市、豊川市、蒲郡市及び田原市の4市により共同で実施し、教師が生徒と向き合う時間の確保を図った。また、国の制度を活用し、感染症対策を徹底しながら学習活動を継続するために必要な備品等を整備した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

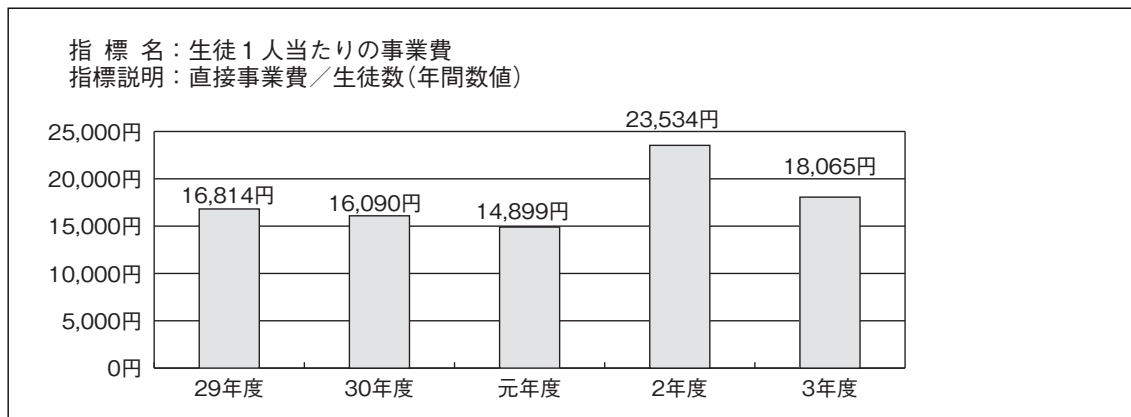
(1) 教育活動事業費 145,428,712円

区 分	令和2年度	令和3年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	332,242冊	321,083冊
理科教育設備整備事業実施校数	11校	11校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 42,137,236 円

区 分	令和 2 年度		令和 3 年度	
校務用コンピュータ費	758台	24,235,041円	758台	24,659,856円
校務支援システム費	758	17,470,380	758	17,477,380

[指 標]



3 中学校校舎等長寿命化改良事業費 218,826,018 円 (教育政策課)

[総 括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、高豊中学校の屋内運動場で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

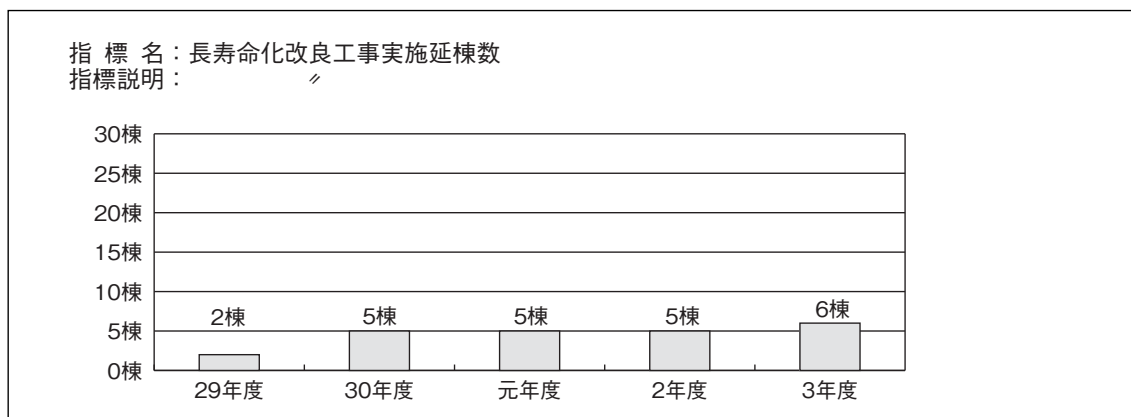
(1) 高豊中学校屋内運動場改良事業費 218,826,018 円

(ア) 屋内運動場長寿命化改良工事 217,413,618 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,048㎡	外部・内部改修

(イ) 物品運搬及び保管委託業務等 1,412,400 円

[指 標]



4 中学校校舎等大規模改造事業費 487,415,090 円（教育政策課）

[総括]

生徒が安心して学習できる環境づくりのため、本郷中学校で施設の耐久性を高める工事を実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、改修時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 本郷中学校校舎改造事業費 486,469,090 円
 - (ア) 中校舎大規模改造工事 256,989,500 円
 - 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 426,710,900 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	2,925㎡	外部・内部改修

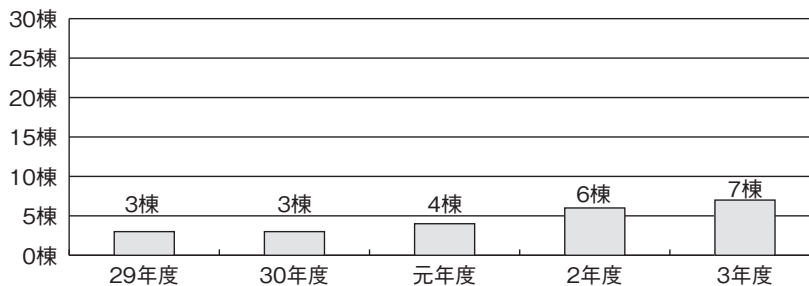
- (イ) 南校舎大規模改造工事 135,864,590 円
- 3 か年継続事業の2年度 総事業費 397,500,000 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	校舎 鉄筋コンクリート造4階建	1,916㎡	外部・内部改修

- (ウ) 仮設校舎の賃借等 93,615,000 円
- (2) 南陽中学校校舎改造事業費 946,000 円
 - (ア) 仮設校舎の賃借 946,000 円

[指 標]

指 標 名：大規模改造工事実施延棟数
 指標説明： /



5 中学校環境整備事業費 121,207,961 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、青陵中学校で校舎屋上防水工事及びトイレ大規模改造工事を実施した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

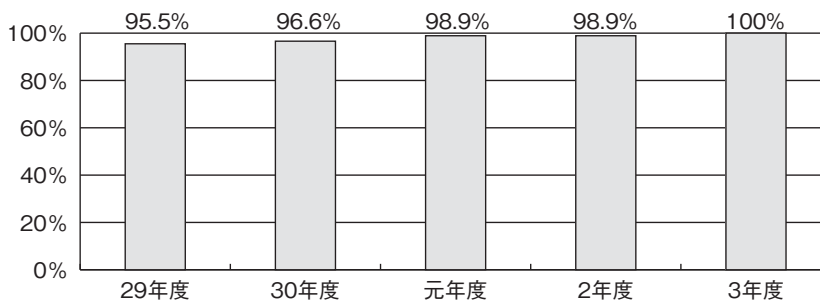
[実績及び成果]

区 分	令和2年度	令 和 3 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	87,962,709円		
長寿命化改良事業 実 施 設 計	1校	1校	南部
校舎屋上防水工事	—	1	青陵
電気設備改修工事	3	3	章南、二川、高師台
校舎等アスベスト 調 査 委 託	—	2	南部、東陵
トイレ大規模改造工事	1	1	青陵
計	5	8	
(2) 一般補修事業費	33,245,252円		
	22校	22校	全校

[指 標]

指 標 名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	4,600,319,791	668,192,144	1,486,100,000	262,938,758	2,183,088,889
2目 生涯学習機会充実費 <多様な学習環境の充実>	411,412,071	37,370,000	22,600,000	29,089,231	322,352,840

1 生涯学習推進事業費 2,874,848 円 (生涯学習課)

[総括]

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災などをテーマとした講座を開催した。また、生涯学習情報紙の発行などを通して、生涯学習の普及・啓発を図るとともに、活動者の発表機会を設けるなど、生涯学習活動の振興に努めた。今後も、多様な学習機会の提供に向けた取組みを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 2,484,076 円

区 分	令和2年度			令和3年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一 般 コ ー ス	25	386人	127回	33	894人	148回	地区市民館ほか
専 門 コ ー ス	3	114	8	18	359	22	〃
高 齢 者 コ ー ス	20	762	97	20	728	110	〃
企 業 連 携 講 座	20	355	56	20	390	59	〃

(2) 生涯学習活動事業費 390,772 円

(ア) 生涯学習情報紙等発行事業費 352,000 円

発 行 部 数	令和2年度	令和3年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 0 円

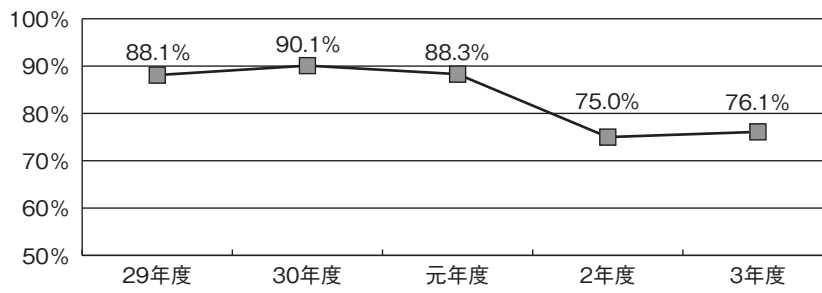
参 加 者	令和2年度	令和3年度
		950人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催事業費 38,772 円

参 加 者	令和2年度	令和3年度
		0人

[指 標]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率
指標説明：参加者数／募集定員



※令和3年度の対象事業にて、再算定。

2 地区市民館管理運営事業費 299,483,198 円（生涯学習課）

〔総括〕

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営し、利用促進に努めた。今後も、市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館管理運営事業費（22 館） 299,483,198 円

〔利用状況〕

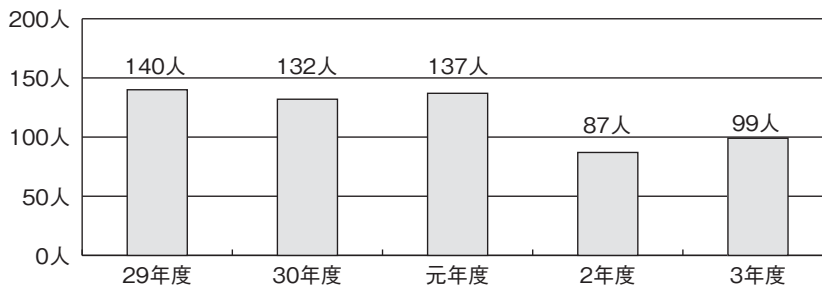
区 分	令和 2 年度			令和 3 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 1,307	人 42,551	冊 33,696	件 1,387	人 63,697	冊 39,129	% 49.7
豊岡 〃	830	18,427	1,685	927	20,294	2,281	10.1
東陽 〃	978	19,881	3,439	1,147	22,996	4,634	15.7
南稜 〃	1,945	56,827	—	1,886	44,090	—	△22.4
青陵 〃	1,665	57,529	41,554	1,809	67,183	48,297	16.8
杉山 〃	784	16,712	562	665	16,950	658	1.4
石巻 〃	860	35,947	14,862	995	45,004	21,267	25.2
羽根井 〃	815	16,126	470	886	16,043	442	△ 0.5
吉田方 〃	791	16,606	365	1,050	22,122	750	33.2
五並 〃	346	7,046	902	421	7,842	611	11.3
牟呂 〃	928	29,235	8,824	1,031	37,113	10,156	26.9
高豊 〃	435	11,942	148	421	16,978	138	42.2
北部 〃	725	16,644	8,853	1,013	18,442	8,213	10.8
南部 〃	1,273	51,636	24,854	1,340	61,593	26,581	19.3
豊城 〃	1,401	31,334	1,139	1,637	33,818	1,397	7.9
中部 〃	1,052	19,397	834	1,144	19,806	1,023	2.1
高師台 〃	1,218	22,099	2,313	1,280	22,783	2,263	3.1
東部 〃	672	15,589	571	820	17,225	1,018	10.5
東部地区市民館飯村分館	2,168	37,063	1,744	2,265	43,675	2,092	17.8
南陽地区市民館	987	17,352	478	1,027	18,292	583	5.4
本郷 〃	1,150	22,899	491	1,483	24,839	582	8.5
東陵 〃	1,063	27,156	1,767	1,231	31,104	2,439	14.5
計	23,393	589,998	149,551	25,865	671,889	174,554	13.9

〔施設整備〕

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度
	雨漏り修繕（豊岡） 冷暖房機取替（中部・東陵）	

[指 標]

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



3 地区市民館整備事業費 25,576,100 円 (生涯学習課)

[総 括]

施設の長寿命化や安全で快適な施設利用を図るため、北部地区市民館において予防保全工事及び杉山地区市民館の改修に向けた実施設計を行った。今後も計画的に環境整備を行い、施設の維持保全に努めていく。

[実績及び成果]

- (1) 地区市民館整備事業費 25,576,100 円
 - (ア) 大規模改修実施設計(杉山) 8,140,000 円
 - (イ) 改修工事(北部) 17,436,100 円

4 青少年教育施設管理運営事業費 83,477,925 円（生涯学習課）

〔総括〕

青少年センターでは指定管理者による適正な管理運営のもと、青年講座や四季の行事教室、ジュニアチャレンジ講座など自主事業を実施した。また、少年自然の家と野外教育センターでは老朽設備の補修により利用者の安全確保を図るとともに、施設の一体的な管理運営を推進した。引き続き、青少年団体等の活動拠点として、施設の利用促進に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 42,754,026 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
遊 戯 室	延 370人	0人	皆減
研 修 棟	延 5,091	延 8,068	58.5%
宿 泊 棟	延 58	延 47	△ 19.0
運 動 広 場	延 2,899	延 3,681	27.0
体 育 室	延 10,879	延 14,801	36.1
音 楽 室	延 1,239	延 1,743	40.7
大 研 修 室	延 3,642	延 4,924	35.2
多 目 的 室	延 477	延 1,745	3.7倍
そ の 他	延 5,854	延 6,939	18.5%
計	30,509	41,948	37.5

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	研修棟・宿泊棟空調機取替修繕	中央棟・研修棟高架水槽修繕

(2) 少年自然の家管理運営事業費 13,642,151 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
管 理 棟（日帰り）	延 2,038人	延 2,968人	45.6%
宿 泊 棟	延 513	延 252	△ 50.9
キ ャ ン プ 場	0	延 13	皆増
計	2,551	3,233	26.7

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	自動火災報知設備修繕	体育館軒天補修等修繕

(3) 野外教育センター管理運営事業費 11,804,230 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比較
本 館（日帰り）	延 3,307人	延 4,843人	46.4%
宿 泊 室	延 1,301	延 713	△ 45.2
計	4,608	5,556	20.6

〔施設整備〕

内 容	令和2年度	令和3年度
	本館屋上防水塗装等修繕	

- (4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,443,518 円

〔利用状況〕

内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
利 用 者 数	延 1,053人	延 667人	△36.7%

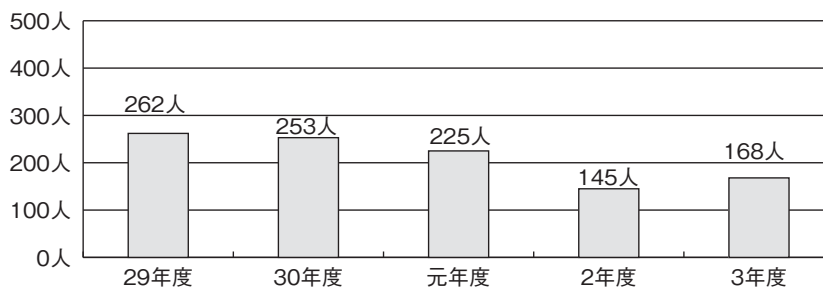
- (5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,834,000 円

〔利用状況〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
宿 泊 利 用	延 299人	延 405人	35.5%
日 帰 研 修	延 3,099	延 2,758	△11.0
キ ャ ン プ 利 用	延 263	延 304	15.6
計	3,661	3,467	△ 0.1
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 512	延 372	△27.3

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設 1 日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 地域教育・家庭教育等推進費 ＜地域・学校・家庭の協働の推進＞	15,892,682	1,350,000	0	34,750	14,507,932

1 地域教育推進事業費 8,798,860円 (生涯学習課)

[総括]

地域の大人が子どもに対し多様な体験活動等を行う講座を開催するなど、市民が自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元する機会を提供した。今後も学校や地域と連携して、新たな講師の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 地域教育活動事業費 3,561,870円

(ア) 生涯学習推進セミナー事業費 74,000円

内 容	令和2年度		令和3年度		
	延参加者	回数	延参加者	回数	開催場所
生涯学習推進セミナー	127人	5回	160人	5回	校区市民館ほか

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 567,000円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	27	2,205人	216回	22	2,001人	131回	校区市民館ほか

(ウ) 地域未来塾ステップ推進事業費 517,870円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	会場数	延参加者	回数	会場数	延参加者	回数	開催場所
地域未来塾ステップ推進事業	1	208人	20回	1	194人	22回	青少年センター

(エ) トヨッキースクール推進事業費 2,403,000円

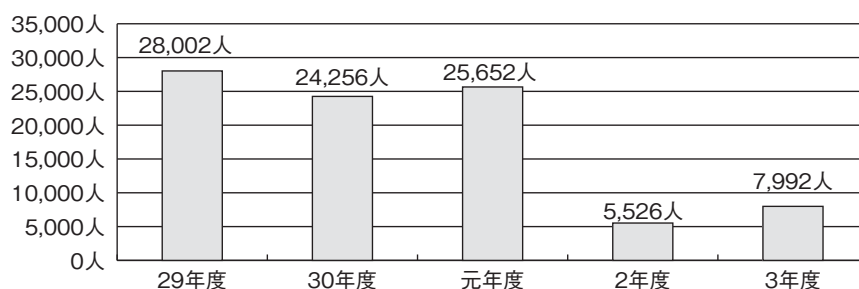
内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
トヨッキースクール推進事業	25	2,986人	183回	30	5,637人	346回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 5,236,990円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,636人	46か所	51	3,641人	46か所	小 学 校 ほ か

[指 標]

指 標 名：地域教育活動事業参加者数
 指標説明：



※令和3年度の対象事業にて、再算定。

2 家庭教育事業費 568,424 円（生涯学習課）

[総 括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育セミナー等を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座を開催した。今後も学校や家庭、地域との連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、保護者への効果的な学習機会を提供していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 568,424 円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
家庭教育セミナー	18	364人	23回	19	325人	19回	地区市民館ほか
子育てお悩み解決塾	9	224	9	10	243	10	地区市民館ほか
子育て学習講座	31	1,612	31	28	1,575	28	小 学 校
思春期家庭教育講座	0	0	0	0	0	0	中 学 校

3 青少年交流活動促進事業費 278,998 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため「自然体験プログラム」や「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

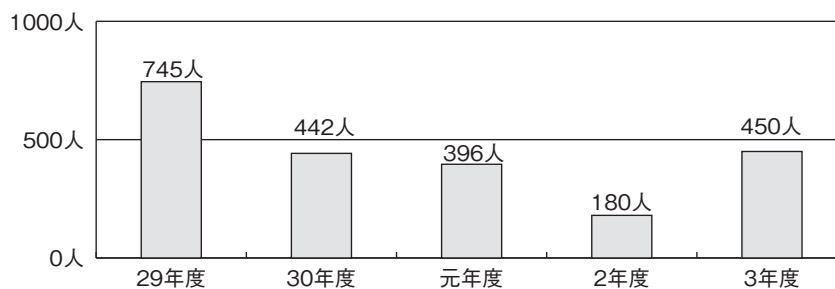
[実績及び成果]

(1) 青少年交流活動促進事業費 278,998 円

内 容	令和2年度		令和3年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	7回	163人	12回	377人	少年自然の家 野外教育センター
くろしおチャレンジプログラム	1	17	4	73	少年自然の家
野外活動指導者養成講座	1	5	2	11	少年自然の家
出張講座	0	0	0	0	こども未来館ほか

[指標]

指標名：青少年交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：
 /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 放課後児童対策費 <放課後の学びと交流機会の充実>	924,334,816	496,310,144	0	137,547,000	290,477,672

1 放課後児童対策事業費 924,334,816円 (生涯学習課)

[総括]

放課後児童クラブの利用者ニーズに応えるため、公営児童クラブを新たに2か所開設したほか、民営児童クラブ2か所の施設整備に対する助成を行うとともに、夏休み期間の利用に限定した児童クラブを6か所開設した。また、放課後の新たな学びの場として、多彩な学びや交流機会を提供する「のびるん de スクール」を小学校12校で開設した。今後も学校や地域が連携して、新たな講師やスタッフ人材の発掘を行うとともに、活動内容の充実を図りながら地域教育の推進に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 416,376,771円

区 分	令和2年度		令和3年度	
事業費	55クラブ	397,804,924円	55クラブ	416,376,771円
年間利用者数	延 18,916人		延 19,391人	

(2) 民営児童クラブ運営事業費 404,980,434円

区 分	令和2年度		令和3年度	
民営児童クラブ運営費補助金等	42クラブ	420,347,600円	41クラブ	388,912,314円
民営事業クラブ施設整備費補助金	1	100,000	2	3,639,000
民営事業クラブ利用料助成費	延 657人	10,256,688	延 709人	12,429,120

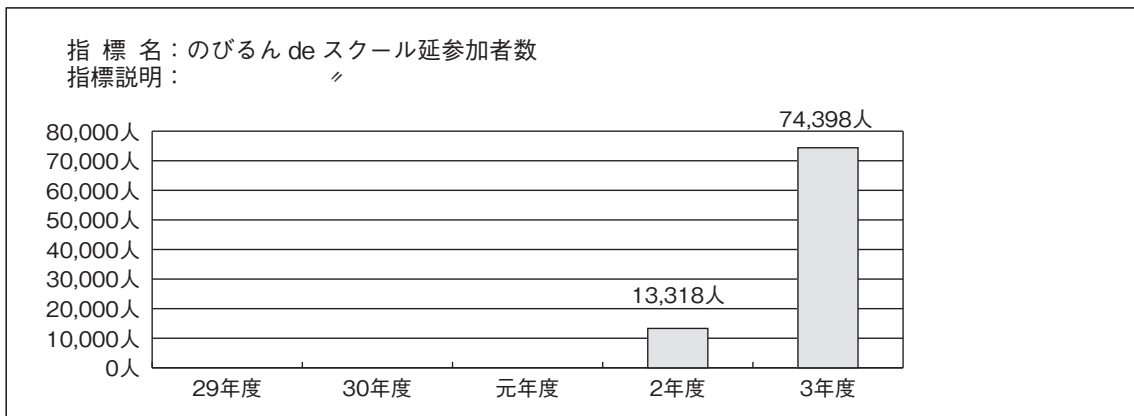
(3) 放課後子ども教室運営事業費 10,191,885円

内 容	令和2年度	令和3年度
	6教室の開設	6教室の開設

(4) のびるん de スクール運営事業費 92,785,726円

内 容	令和2年度			令和3年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
のびるん de スクール	2	13,318人	186回	12	74,398人	2,385回	小学校ほか

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 図書館費 < 図書館の充実 >	1,994,197,159	97,628,000	929,600,000	2,278,095	964,691,064

1 中央図書館事業費 391,331,169円 (図書館)

[総括]

図書館システムの更新に伴い、より手軽に図書の貸出や返却手続きが行えるよう、令和3年7月から自動貸出機・返却機を導入し、利用者の利便性の向上を図った。令和元年度に公開した「とよはしアーカイブ」では、デジタル化した資料をインターネットから検索・閲覧でき、3年度は美術博物館及び文化財センター所蔵の資料を追加することで公開資料の充実を図り、市民の地域学習などを支える環境を整えた。また、自身の持つ「知識」や「情報」の発信を通じて地域貢献をしたいと考える個人や団体等を「知の伝道師」として登録を開始し、登録者が講師として講座やワークショップを行うことにより、活きた情報を利用者へ提供することができた。今後も「知の拠点」として、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

- | | |
|------------------|-------------|
| (1) 児童図書業務費 | 10,374,827円 |
| (2) 一般図書業務費 | 31,323,388円 |
| (3) レファレンス業務費 | 1,971,695円 |
| (4) 郷土・司文庫等図書業務費 | 5,171,033円 |
| (5) AV・CD電子図書業務費 | 2,003,895円 |

[利用状況等]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	251日	286日	13.9%
入 館 者 数	延 240,417人	延 276,960人	15.2
館 外 貸 出 人 数	延 134,889	延 270,894	2.0倍
館 外 貸 出 冊 数	延 680,214冊	延 863,585冊	27.0%
館外貸出人数(CD)	延 6,834人	延 7,224人	5.7
館外貸出点数(CD)	延 12,272点	延 12,898点	5.1
蔵 書 冊 数	686,263冊	695,029冊	1.3
()内は司文庫で再掲	(35,377)	(35,440)	(0.2)
視聴覚資料所蔵数	6,723点	6,571点	△ 2.3

※ Web から貸出延長した人数と冊数に関しては、全て中央図書館に計上した。

[資料購入状況]

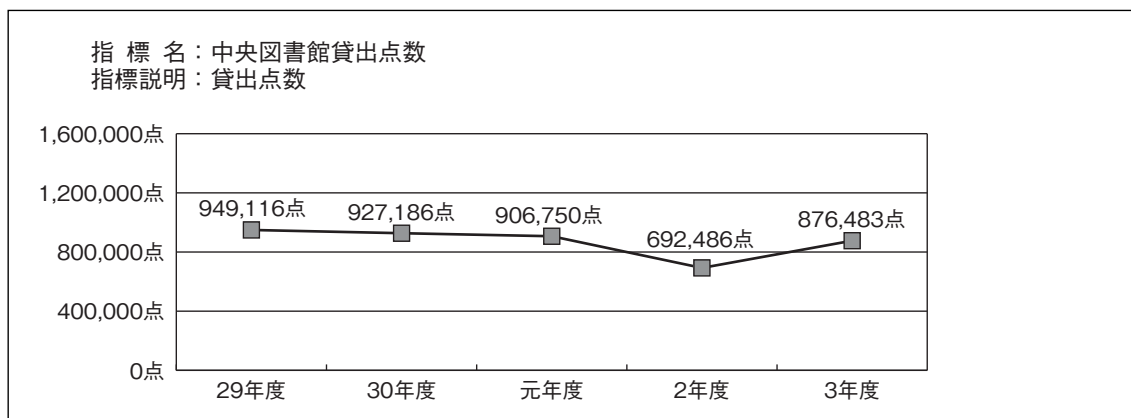
区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	6,365冊	6,175冊	△ 3.0%
	児 童	2,482	2,484	0.1
	参 考	226	205	△ 9.3
	郷 土	92	94	2.2
	司 文 庫	233	63	△73.0
	計	9,398	9,021	△ 4.0
逐次刊行物	雑 誌 等	242種	237種	△ 2.1
	新 聞	24	24	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D 等	84点	67点	△20.2

(6) 行事開催業務費

8,767,577 円

区 分	令和2年度		令和3年度	
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	7回	延 23,652人	7回	延 28,614人
資 料 展 関 連 行 事	1	延 14	5	延 231
市 民 向 け 講 座	1講座	延 29	11講座	延 225
ボランティア等育成講座、研修	3	延 181	5	延 154
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	—		—	
映 画 上 映 会	—		—	
図 書 館 子 ども フェスタ	—		4~5月	延 697
夏休み子どもフェスティバル	—		—	
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	47回	配布人数 2,736人 (絵本等)	44回	配布人数 2,516人 (絵本等)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	6	延 181	20	延 1,054
お は な し の へ や	61	延 813	117	延 1,393
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	—		36校	409
本 の リ サ イ ク ル フ ェ ア	—		—	
情 報 発 信 コ ー ナ ー 展 示	12		14回	
外 部 連 携	4		5	

[指 標]



2 向山図書館事業費

38,166,500 円（図書館）

[総括]

市民からの読書相談等に迅速に対応するとともに、インターネットによる検索や予約の周知を行い、図書館サービスの充実を図った。また、分室利用者のニーズに応じた配本業務に取り組むとともに、ネットワーク館（図書館システム設置分室）に特設コーナーを設置するなど、図書室の利用促進を図った。今後も配本機能の充実を図り、広範な市域の利用者に充実した図書館サービスを提供するように努める。

[実績及び成果]

(1) 配本業務費

33,625,749 円

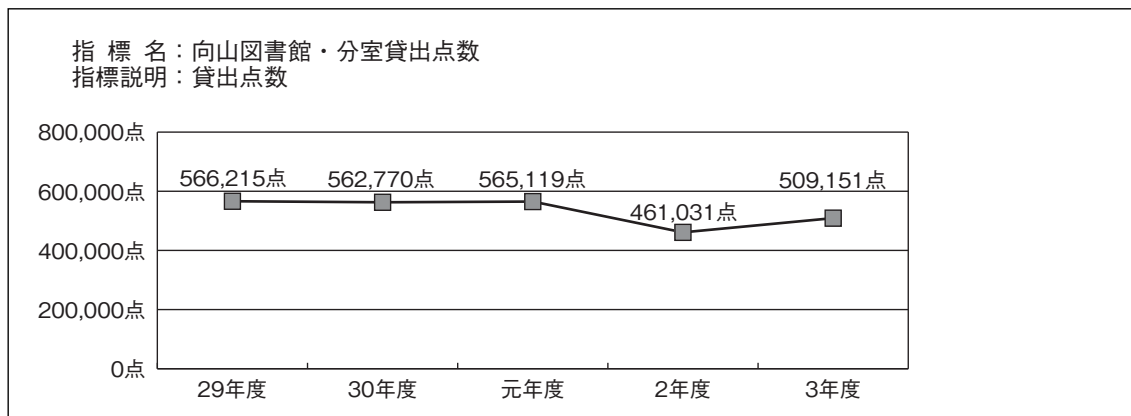
[利用状況等]

区 分		令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数		251日	286日	13.9%
入 館 者 数		延 106,614人	延 113,804人	6.7
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 60,238	延 74,436	23.6
	分 室	延 64,689	延 80,780	24.9
	計	延 124,927	延 155,216	24.2
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 249,569冊	延 259,814冊	4.1
	分 室	延 211,462	延 249,337	17.9
	計	延 461,031	延 509,151	10.4
蔵 書 冊 数		257,475	255,041	△ 0.9

[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	3,948冊	3,685冊	△ 6.7%
	児 童	3,117	3,113	△ 0.1
	参 考	1	1	0.0
	郷 土	15	5	△66.7
	計	7,081	6,804	△ 3.9
逐次刊行物	雑 誌	47種	47種	0.0
	新 聞	10	10	0.0

[指 標]



3 大清水図書館事業費

34,996,929 円（図書館）

〔総括〕

市民の読書への関心を高めるため、読み聞かせや本に触れるきっかけとなるような講座を行うとともに、豊橋などで高校生をモデルにプロの写真家が撮影した写真の展示や、高校の部活動を紹介する企画展等を開催することにより、若年層の図書館利用の促進を図った。今後も、利用者ニーズに沿った図書資料を提供し、図書館サービスの充実に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 図書業務費

9,095,948 円

〔利用状況等〕

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	251日	286日	13.9%
入 館 者 数	延 225,246人	延 216,770人	△ 3.8
館 外 貸 出 人 数	延 45,385	延 52,166	14.9
館 外 貸 出 冊 数	延 224,556冊	延 243,315冊	8.4
館外貸出人数（C D）	延 643人	延 881人	37.0
館外貸出点数（C D）	延 1,051点	延 1,433点	36.3
蔵 書 冊 数	74,187冊	77,466冊	4.4
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	717点	784点	9.3

〔資料購入状況〕

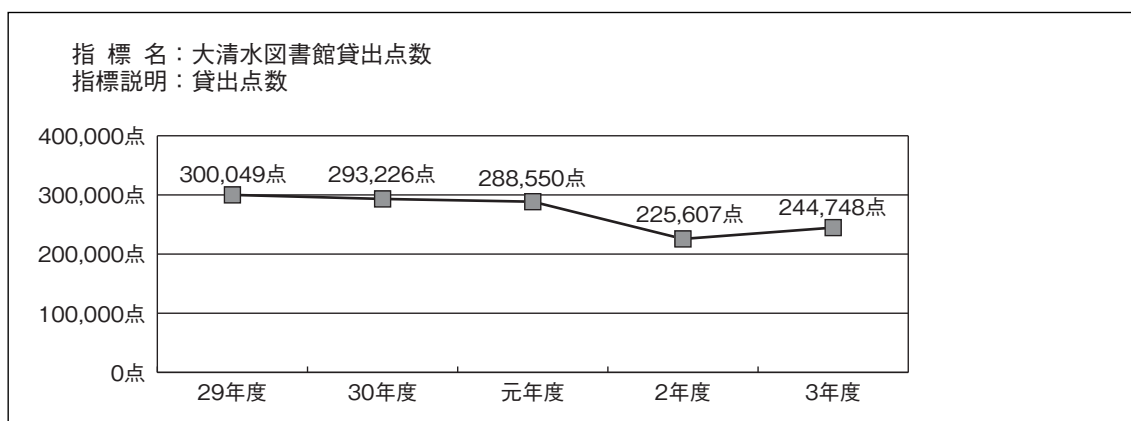
区 分	内 容	令和2年度	令和3年度	比 較
図 書	一 般	1,908冊	2,387冊	25.1%
	児 童	1,199	1,562	30.3
	参 考	0	0	—
	郷 土	9	10	11.1
	計	3,116	3,959	27.1
逐次刊行物	雑 誌 等	126種	122種	△ 3.2
	新 聞	11	11	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	80点	66点	△17.5

(2) 行事開催業務費

34,836 円

区 分	令和2年度	令和3年度
市 民 向 け 講 座	—	1回 延 21人
ミ ナ ク ル ま つ り	11月(1日間) 延 155人	11月(1日間) 延 144
お は な し の へ や	22回 延 367	42回 延 358
図 書 館 を 知 ろ う	2校 延 81	1校 延 24
外 部 連 携 展 示 等	3回	4回

[指標]



4 まちなか図書館事業費 116,575,845 円（図書館）

[総括]

本市にとって3館目の分館となる「まちなか図書館」が令和3年11月27日に開館した。基本的な図書館機能に加え、人と人との交流によって生み出される知識や情報、体験などを共有・発信できる新しいカタチの図書館として、図書館主催のイベントや講座だけでなく、外部との連携によるワークショップや企画展示などを開催することで、「ひとつつながり、まちとつながる」図書館サービスを提供した。今後も、知識や情報の発信・交流の場としての機能の充実に努める。

[実績及び成果]

(1) 図書業務費 3,351,659 円

[利用状況等]

区 分	令和2年度	令和3年度
開館日数	—	115日
入館者数	—	延 218,149人
館外貸出人数	—	延 46,100
館外貸出冊数	—	延 161,235冊
蔵書冊数	33,324冊	65,041
視聴覚資料所蔵数	—	90点

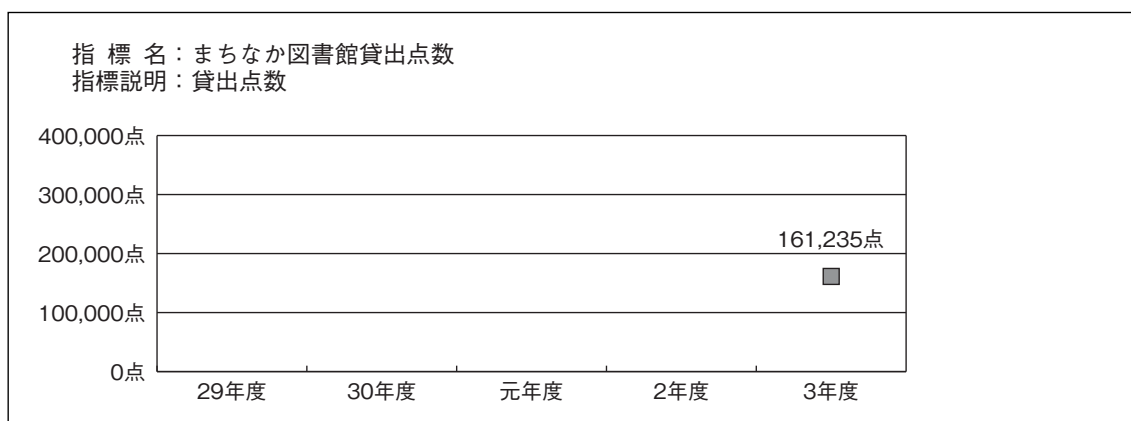
[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度
逐次刊行物	雑誌等	—	304種
	新聞	—	16

(2) 行事開催業務費 451,297 円

区 分	令和2年度	令和3年度
資 料 展	—	9回
資 料 展 関 連 行 事	—	3 延 122人
映 画 上 映 会	—	4 延 92
お は な し の へ や	—	38 延 921
まちなか図書館主催イベント	—	38 延 1,314
外 部 連 携	—	75 延 1,627

[指 標]



5 まちなか図書館整備事業費 1,313,821,551 円（図書館）

[総 括]

世界を広げ、まちづくりに繋げる“知と交流の創造拠点”として、まちなか図書館を整備した。中央ステップをはじめとした、館内の様々なスペースにおいてイベントを開催し、中心市街地の諸機能等と連携してにぎわいの創出を図った。

[実績及び成果]

- (1) まちなか図書館整備事業費 1,313,821,551 円
 - (ア) まちなか図書館整備工事等 1,135,339,471 円
 - 2 年継続事業の最終年度 総事業費 1,332,239,471 円

構 造	内 容	延床面積
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階、地上24階建、 塔屋2階付のうち2階及び3階	図書館機能 一般開架、児童開架、事務・作業スペース その他機能 ワークショップスペース、カフェ等	4,130㎡

- (イ) 保留床取得 98,767,000 円
- (ウ) オープニングイベントの開催 269,800 円
- (エ) 図書購入費等 79,445,280 円

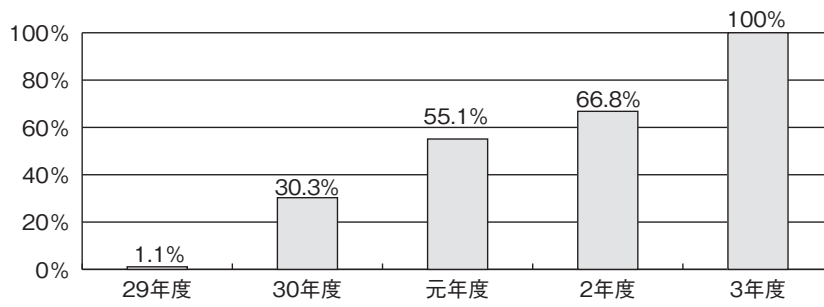
[資料購入状況]

区 分	内 容	令和2年度	令和3年度
図 書	一 般	25,753冊	24,835冊
	児 童	7,571	5,942
	計	33,324	30,777
視聴覚資料	C D、 D V D 等	—	90点

[指 標]

指 標 名：まちなか図書館整備事業進捗率

指標説明：累積事業費／全体事業費(平成28年度～令和3年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	846,429,159	0	528,400,000	37,625,469	280,403,690

1 美術博物館事業費 230,078,674 円 (美術博物館)

[総括]

現代日本を代表する彫刻家・三沢厚彦の代表作を紹介する「三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI」を開催し、青少年から中高年まで幅広い世代に好評であった。また、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により中止した「芳年」、「第8回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展」を令和3年度に開催した。

そのほか、二人の郷土史家のコレクションによる「橋良文庫と草間文庫」や、これまでの資料収集活動をたどる「プレイバック！絵画コレクション名品展」を開催し、地域の歴史と美術に関する研究成果を提示した。

教育普及活動においては、新たに「びはく講座」を開講したほか、アーティスト・トーク、ベビーカー・ツアー、ナイト・ミュージアム、創作ワークショップなど多彩な事業を実施した。

今後も地域の歴史や美術に関する資料を中心として、収集、調査研究、展示、教育普及等を行い芸術文化振興に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 42,636,175 円

[利用状況]

区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	273日	300日	9.9%
企 画 展	8件 延 66,007人	7件 延 67,014人	1.5
共 催 展	5 延 4,646	5 延 4,665	0.4
一 般 展	36 延 29,790	45 延 36,646	23.0
テ ー マ 展 示	2 延 7,295	4 延 9,767	33.9
公 開 講 座 等	19 延 1,910	19 延 1,103	△42.3
計	109,648	119,195	8.7

(2) 展覧会事業費 49,253,557 円

(ア) 展覧会開催事業費 49,109,557 円

令和2年度		令和3年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
第42回豊橋美術展	2,770人	第43回豊橋美術展	2,768人	△ 0.1%
第70回豊橋市民展	2,369	第71回豊橋市民展	2,716	14.6
美術博物館コレクション展 「暮らし・アート」	3,516 (2回26人)	プレイバック! 絵画コレクション名品展	2,249 (2回246人)	—
「手塚治虫展」	18,991 (12回1,583人)	三沢厚彦 ANIMALS 2021 in TOYOHASHI	10,806 (6回470人)	—
日本画を拓く作家たち ～トリエンナーレ豊橋受賞 作品展～	1,549	第8回トリエンナーレ豊橋 星野真吾賞展 ～明日の日本画を求めて～	1,983 (1回103人)	—
美術博物館コレクション展 「ゆったり、美術館散歩」	2,208	郷土史家のコレクション ～橋良文庫と草間文庫～	3,403 (1回22人)	—
吉田城と三河吉田藩	3,587 (4回247人)	芳年 激動の時代を生きる 鬼才浮世絵師	5,171 (3回148人)	—
常設展	26,665	常設展	37,918	42.2
延564日	61,655 (18回1,856人)	延650日	67,014 (13回989人)	8.7

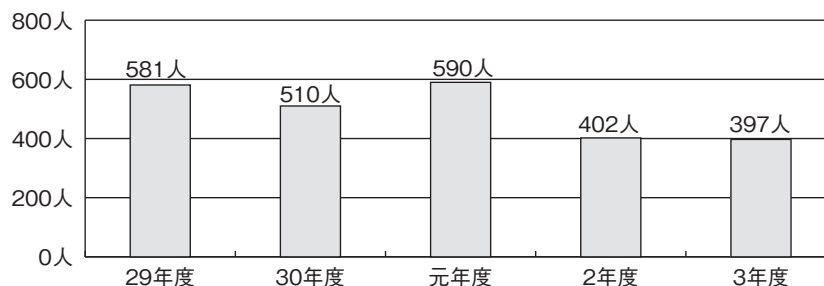
※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 921,420 円

区分	令和2年度	令和3年度
歴史資料	稲田文笠「雉子芍薬図・ 孔雀牡丹図」等 18件	「三河掌果図」等 9件

[指標]

指標名：美術博物館1日当たりの利用者数
指標説明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,742,588 円（美術博物館）

[総括]

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に木造校舎として建てられ、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、平成 28 年には収蔵室本棟、西棟が国登録有形文化財に登録された。建設当時の趣を残す市内に唯一の木造校舎として魅力の発信、建物の有効活用に努めており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少した団体利用者が令和元年度と同数程度に増加し、ロケーションや特色を生かした宣伝活動等により、個人利用も引き続き広がりを見せている。今後も、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

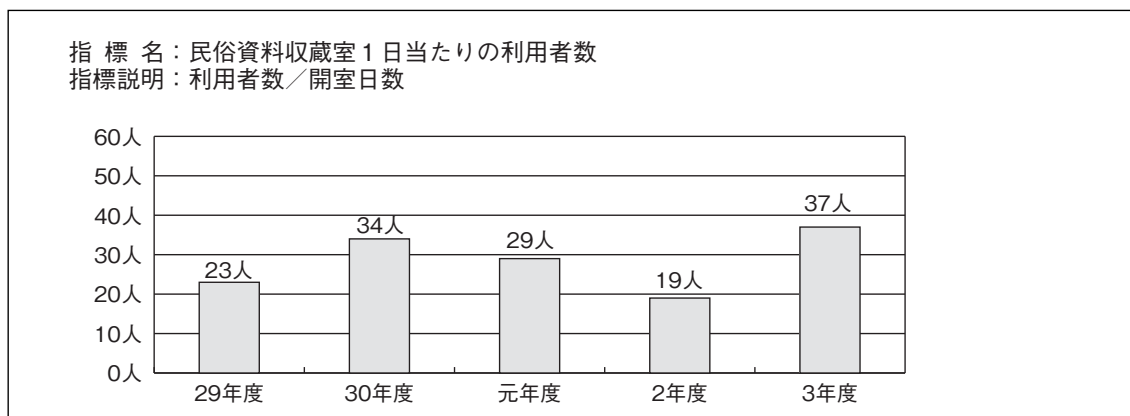
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,742,588 円

[利用状況]

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	比較
開室日数	118日	146日	23.7%
延入室者数	2,264人	5,391人	2.4倍

[指標]



3 美術博物館整備事業費 608,317,480 円（美術博物館）

[総括]

施設の長寿命化を図り、美術館・博物館資料の展示・保管に最適な施設として利用者が快適に施設利用できるよう、設計施工一括発注方式を採用した大規模改修整備工事に取りかかった。今後は、改修工事を計画的に進め、資料の保存環境、来館者の鑑賞環境及び利便性の向上に努める。

[実績及び成果]

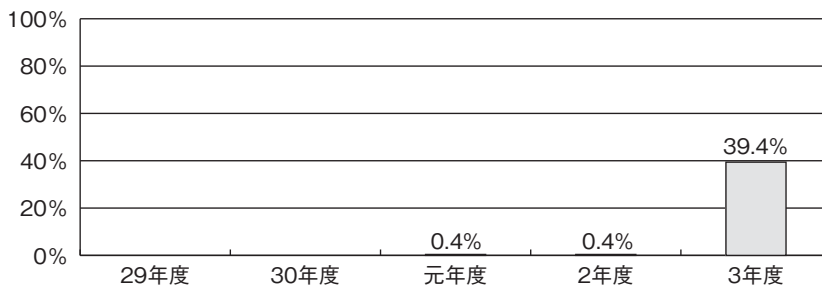
(1) 美術博物館整備事業費 608,317,480 円

内容	令和 2 年度	令和 3 年度
	改修事業者選定支援業務委託	改修事業者選定支援業務委託 改修整備工事（詳細設計付）

[指 標]

指 標 名：美術博物館整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(令和元年度～令和4年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 歴史資源保存活用費 <文化財の保護と次世代への継承>	90,664,372	0	0	6,504,440	84,159,932

1 二川宿本陣資料館事業費 69,563,485 円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、開館 30 周年記念「竹久夢二展」、軍都豊橋を代表する陸軍十五師団の演習場を紹介する「高師原・天白原演習場とその時代」、知られざる名画を展示した鳥田市博物館所蔵「海野光弘展」などの企画展、毎年恒例の「ひなまつり」などを開催したほか、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。

今後、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、集客を見込める魅力的かつ画期的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 24,957,680 円

[利用状況]

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
延 入 館 者 数	14,000人	21,417人	53.0

(2) 展覧会事業費 8,018,265 円

(ア) 展覧会開催事業費 6,570,364 円

令 和 2 年 度		令 和 3 年 度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
竹久夢二展	—	開館30周年記念「竹久夢二展」	4,854人
街の移ろい～地図と絵葉書に みる豊橋の明治・大正・昭和～	2,154人	高師原・天白原演習場とその 時代	1,665
十二支と新春の風景展	1,456	鳥田市博物館所蔵「海野光弘展」	2,514
常設企画展 2回 (旅人は伊勢をめざす～お伊勢 まいるの歴史～ 1回)	3,138	常設企画展 2回	3,095
記念講演会等 0回	—	記念講演会等 2回	45
計	6,748	計	12,173

(イ) 五節句行事開催等事業費 900,744 円

令和2年度		令和3年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 186人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 1,415人
琴のしらべ・本陣茶会	—	琴 の し ら べ	参加者 11
ほんじん講座	—	ほんじん講座	受講者 6
七夕の節句	会期中入館者 372	七夕の節句	会期中入館者 770
夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 44	夏休み本陣体験 「本陣のお化け屋敷」	参加者 81
本陣体験講座 「和本を作ろう」	12	本陣体験講座 「和本を作ろう」	9
菊の節句－重陽－	会期中入館者 342	菊の節句－重陽－	会期中入館者 482
本陣古文書講座	参加者 53	本陣古文書講座 (初級・中級)	参加者 138
本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	—	本陣体験講座 「つるし飾り作り講座」	10
本陣体験講座 「春の七草の寄せ植えをしよう」	—	本陣体験講座 「風呂敷ラッピング講座」	20
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 407	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 725
ひなまつり	5,337	ひなまつり	6,025
本陣句会	応募者 57	本陣句会	応募者 56

(3) 資料収集事業費 836,130 円

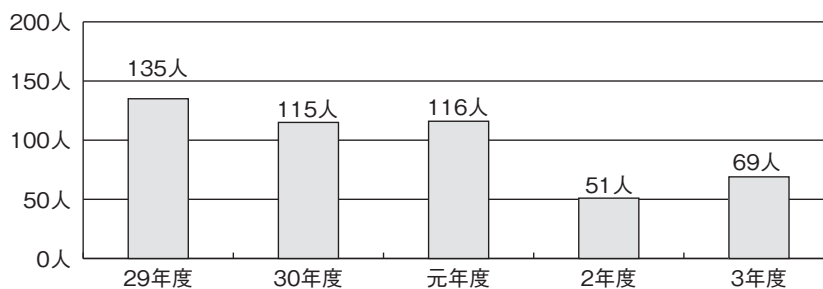
内 容	令和2年度	令和3年度
	日本三景之内紀州和歌之浦之勝景等20点	

(4) 二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金 0円

補 助 金	令和2年度	令和3年度
	0円	0円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 商家「駒屋」事業費

21,100,887 円（美術博物館）

〔総括〕

地域の交流、生涯学習、観光の拠点となる体験型施設として、駒屋横丁「駒屋であそびん」や和創作、二川宿本陣資料館と連携した五節句などの各種イベントを定期的に開催した。また、カフェでの飲食提供や、ショップでの手作り小物や駄菓子、土産物などの物品販売を行い、地域住民や観光客の集客に努めた。

今後も、地域資源を活用し、住民と行政が協働して魅力ある施設として入館者増に努める。

〔実績及び成果〕

(1) 施設管理事業費 21,100,887 円

〔利用状況〕

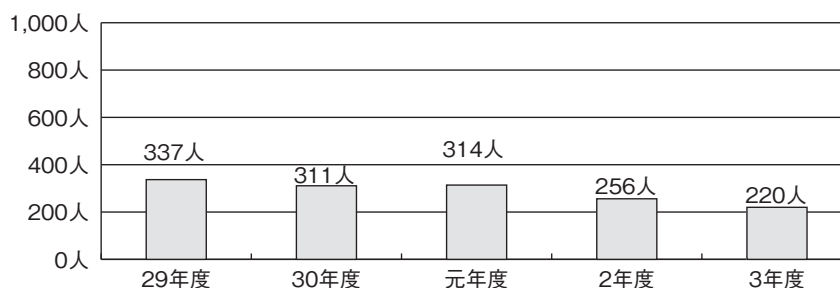
区 分	令和2年度	令和3年度	比 較
開 館 日 数	274日	310日	13.1%
延 入 館 者 数	70,162人	68,343人	△ 2.6

〔主なイベント開催状況〕

令和2年度		令和3年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
こまやふえす	—	オーディオで遊ぼう	500人
お盆でナイト	—	駒屋横丁	2,837
ひなまつり	会期中入館者 17,259人	ひなまつり	会期中入館者 14,095

〔指 標〕

指 標 名：商家「駒屋」1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 文化財保護活動費 <文化財の保護と次世代への継承>	156,022,448	35,534,000	5,500,000	49,859,773	65,128,675
1 文化財保護事業費		156,022,448 円 (美術博物館)			
[総括]					
<p>市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や、指定文化財の修理費等に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、指定・登録文化財に関する各種調査や保護活動を行い、このうち県指定天然記念物葦毛湿原については国指定に昇格した。そのほか、文化財を活用した展示や講座の開催、国史跡・馬越長火塚古墳群の活用整備に向けた確認調査、国史跡・瓜郷遺跡の用地購入を行った。</p> <p>今後も、発掘調査事業や指定文化財の修理等に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。</p>					
[実績及び成果]					
(1) 文化財調査事業費		143,874,098 円			
(ア) 市内遺跡発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	牛川焼窯址の確認調査および大西遺跡・飽海遺跡の発掘調査		三ツ山古墳の確認調査		
(イ) 牛川西部地区緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	東側遺跡・西側古墓・西側北遺跡の発掘調査		西側古墓・西側北遺跡の発掘調査		
(ウ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	境松遺跡の発掘調査		境松遺跡の発掘調査		
(エ) 吉田城址確認緊急調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	吉田城址の確認緊急調査および石垣測量調査		吉田城址の確認緊急調査		
(オ) 馬越長火塚古墳群確認調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	馬越長火塚古墳・大塚南古墳の確認調査		口明塚南古墳の確認調査		
(カ) 報告書作成業務					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	埋蔵文化財調査報告書第155集の作成		埋蔵文化財調査報告書第156・157集の作成		
(キ) 埋蔵文化財緊急発掘調査					
内 容	令和2年度		令和3年度		
	西上遺跡・大西遺跡ほかの試掘確認調査		大蚊里貝塚・吉田城址ほかの試掘確認調査		

(ク) 指定天然記念物植生調査

内 容	令和2年度	令和3年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自 生地の植生調査や回復作業

(ケ) 史跡瓜郷遺跡公園整備用地購入費

内 容	令和2年度	令和3年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入に係る事業	史跡瓜郷遺跡の指定地内の用地の購 入

(2) 文化財保存事業補助金 3,738,000 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	お葉付公孫樹環境整備 正圓寺木造 地藏菩薩立像および普門寺釈迦如来 坐像の修理	豊橋ハリストス正教会聖堂保存修理 赤岩寺重要文化財等防災施設整備 正圓寺木造地藏菩薩立像の修理

(3) 文化財活用事業費 8,410,350 円

(ア) 文化財展示公開等事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	「飽海遺跡展」を開催	「渡来人の墓・積石塚展」を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

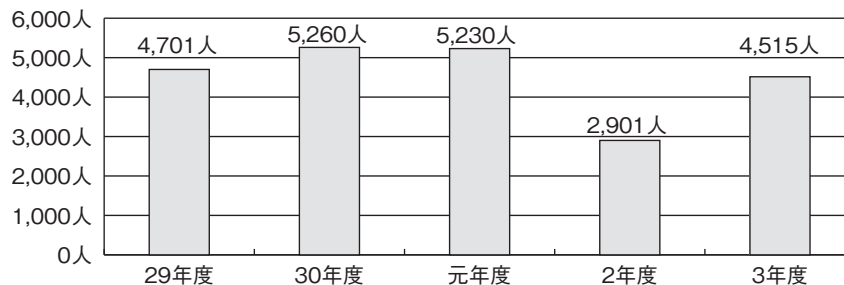
内 容	令和2年度	令和3年度
	現地見学（歴史的建造物めぐり・戦 争遺跡めぐり）、勾玉づくりなど体 験講座を開催	現地見学（戦争遺跡めぐり・文化財 めぐり）、勾玉づくりなど体験講座 を開催

(ウ) 埋蔵文化財活用事業費

内 容	令和2年度	令和3年度
	企画展「歴史を守れ!丸地古城の挑戦」 を開催 埋蔵文化財説明看板の設置	とよはしシンポジウム「縄文時代の 魅力を探る」を開催 埋蔵文化財説 明看板の設置

[指 標]

指 標 名：文化財保護事業参加者数
 指標説明：文化財調査事業（発掘調査現地説明会等）参加者＋文化財保存活用事業
 （とよはし歴史探訪・講座・シンポジウム等）参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 項 保 健 給 食 費	7,612,788,395	1,006,025,500	3,187,900,000	1,560,549,382	1,858,313,513
2 目 子 ども の 心 と ち から だ の 育 成 費 < 健 や か な 心 と ち から だ の 育 成 >	7,515,446,959	1,006,025,500	3,187,900,000	1,560,549,382	1,760,972,077

1 学校保健事業費 179,842,459 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境衛生検査の基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 142,544,106 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 101,443,682 円

区 分		人 員	
		令和2年度	令和3年度
学 校 医	内 科	81人	81人
	耳 鼻 科	13	12
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		84	84
学 校 薬 剤 師		39	39
計		230	229

(イ) 健康診断費 41,100,424 円

区 分	対 象	令和2年度	令和3年度	比 較
検 尿	児 童 生 徒	33,105人	33,144人	0.1%
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	7,101	10,398	46.4
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,211	3,180	△ 1.0
教 職 員 健 診	全 員	5,476	6,063	10.7

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は小学4年生の心電図検査を中止した。

(2) 学校保健推進事業費 4,190,268 円

(ア) 学校保健会補助金 779,279 円

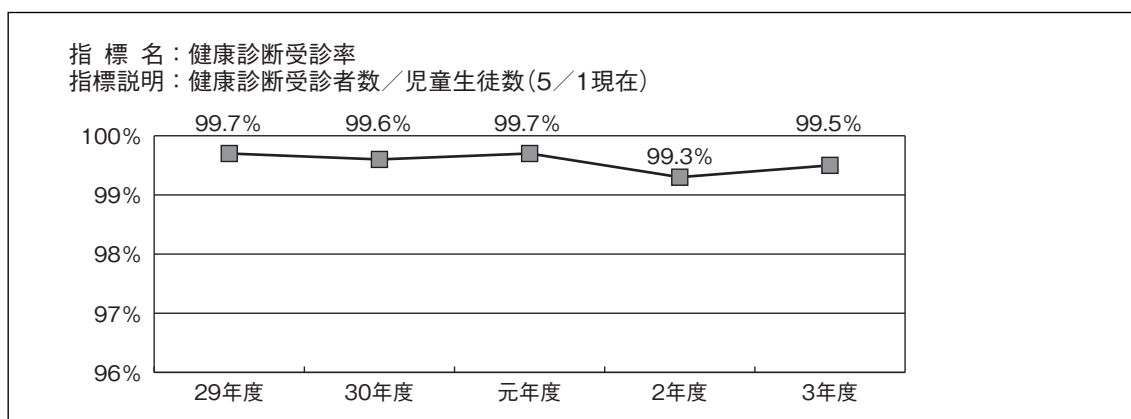
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 30,749,465 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 30,027,370 円

(4) 学校結核予防事業費 2,358,620 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	令和2年度	令和3年度	比 較	令和2年度	令和3年度	比 較
胸部エックス線撮影	428人	367人	△14.3%	1,926人	1,927人	0.1%
事 後 措 置	0	1	皆増	0	0	—

[指標]



2 共同調理場運営事業費 1,358,814,405 円（保健給食課）

[総括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食を提供するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 306,079,013 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	13校	5,280人	延1,457,451食	小学校	13校	5,116人	延1,485,957食	
中学校	5	2,858		中学校	5	2,841		
特別支援学校	1	401		特別支援学校	1	401		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 520,510,128 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	13校	5,090人	延1,346,992食	小学校	13校	5,050人	延1,393,904食	
中学校	6	2,801		中学校	6	2,830		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 139,858,940 円

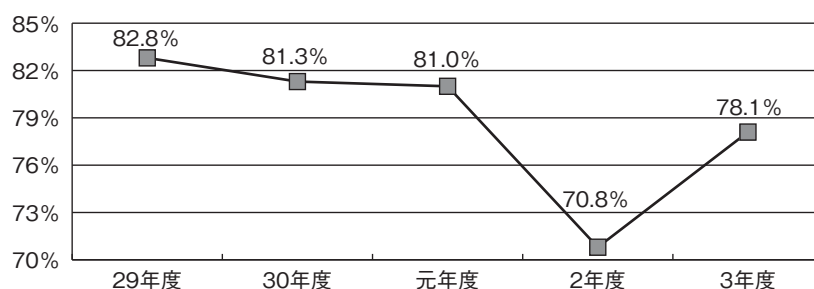
令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	11校	5,533人	延1,340,171食	小学校	11校	5,472人	延1,374,948食	
中学校	5	2,220		中学校	5	2,244		

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 223,325,284 円

令和 2 年 度				令和 3 年 度				食数比較
小学校	15校	6,367人	延1,630,806食	小学校	15校	6,372人	延1,714,353食	
中学校	6	3,181		中学校	6	3,215		

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率
 指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



3 共同調理場再整備事業費 4,157,246,111 円（保健給食課）

[総 括]

PFI手法により曙学校給食センターを建設し、令和4年4月より供用を開始する。今後も引き続き、児童生徒に安全で安心な給食を提供できるよう運営・維持管理の充実を図っていく。

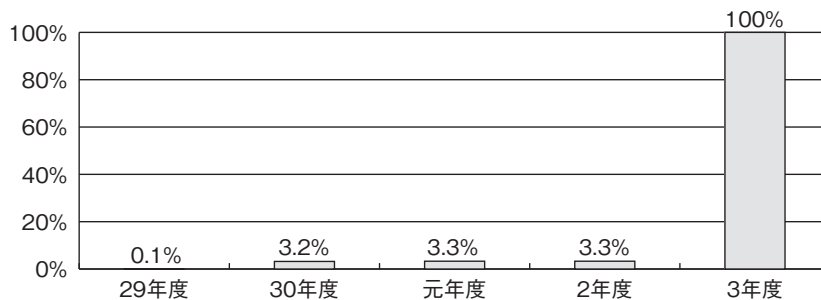
[実績及び成果]

(1) 共同調理場再整備事業費 4,157,246,111 円

内 容	令和2年度	令和3年度
	金融機関との直接協定締結支援業務	建設工事完了

[指 標]

指 標 名：共同調理場再整備事業進捗率(供用開始まで)
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成29年度～令和3年度)



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	6,776,000	0	0	0	6,776,000
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	6,380,000	0	0	0	6,380,000
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	6,380,000	0	0	0	6,380,000

1 道路橋梁災害応急復旧費 6,380,000 円 (道路維持課)

[総括]

令和3年7月の大雨により、細谷町において道路法面崩れが発生したため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 6,380,000 円

内 容	令和2年度		令和3年度	
		—		道路損壊復旧

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	396,000	0	0	0	396,000
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	396,000	0	0	0	396,000

1 諸施設災害応急復旧費 396,000 円 (教育政策課)

[総括]

令和3年7月の大雨により、学校の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 396,000 円

内 容	令和2年度			令和3年度		
		「スポーツのまち」づくり課 教育政策課	公共施設等復旧	万場調整池庭球場 大崎小学校ほか	教育政策課	公共施設等復旧